

# 山梨県子ども計画策定に係るアンケート調査の概況

## 調査の概要

区分	内容
調査目的	令和5年4月1日から施行された「こども基本法」に基づき山梨県子ども計画を策定するにあたり、県内の子育て世帯が抱える困りごとや希望する支援策を把握し、今後の子育て支援策を展開するための調査を行う。
調査地域	山梨県全域(全27市町村対象)
調査対象	①山梨県在住の18歳以下の子のいる世帯の保護者 4,500人 ②山梨県在住の6歳以上18歳以下の子ども本人 4,173人
抽出方法	住民基本台帳から令和5年12月1日基準日に18歳以下の者を無作為抽出
調査方法	郵送調査(インターネット回答)
調査期間	令和5年12月25日(月)～令和6年1月15日(月)
有効回答数	①2,369(回答率52.6%) ②1,968(回答率47.2%)

### ※市町村別の発送数・回答数

	①保護者				②子本人			
	発送数		有効回答数		発送数		有効回答数	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
甲府市	838	18.6%	446	18.8%	770	18.5%	375	19.1%
富士吉田市	210	4.7%	107	4.5%	207	5.0%	99	5.0%
都留市	134	3.0%	66	2.8%	132	3.2%	59	3.0%
山梨市	147	3.3%	88	3.7%	126	3.0%	65	3.3%
大月市	106	2.4%	51	2.2%	99	2.4%	38	1.9%
韮崎市	120	2.7%	57	2.4%	117	2.8%	48	2.4%
南アルプス市	361	8.0%	218	9.2%	341	8.2%	189	9.6%
北杜市	170	3.8%	84	3.5%	156	3.7%	69	3.5%
甲斐市	408	9.1%	239	10.1%	373	8.9%	192	9.8%
笛吹市	307	6.8%	162	6.8%	284	6.8%	136	6.9%
上野原市	100	2.2%	46	1.9%	96	2.3%	38	1.9%
甲州市	123	2.7%	69	2.9%	116	2.8%	47	2.4%
中央市	147	3.3%	67	2.8%	135	3.2%	53	2.7%
市川三郷町	105	2.3%	53	2.2%	101	2.4%	41	2.1%
早川町	72	1.6%	21	0.9%	57	1.4%	25	1.3%
身延町	106	2.4%	62	2.6%	100	2.4%	54	2.7%
南部町	100	2.2%	49	2.1%	98	2.3%	43	2.2%
富士川町	105	2.3%	52	2.2%	102	2.4%	44	2.2%
昭和町	126	2.8%	63	2.7%	115	2.8%	54	2.7%
道志村	100	2.2%	37	1.6%	92	2.2%	28	1.4%
西桂町	107	2.4%	48	2.0%	97	2.3%	38	1.9%
忍野村	100	2.2%	54	2.3%	90	2.2%	50	2.5%
山中湖村	103	2.3%	59	2.5%	92	2.2%	46	2.3%
鳴沢村	108	2.4%	66	2.8%	99	2.4%	50	2.5%
富士河口湖町	106	2.4%	70	3.0%	105	2.5%	56	2.8%
小菅村	48	1.1%	20	0.8%	47	1.1%	24	1.2%
丹波山村	43	1.0%	11	0.5%	26	0.6%	6	0.3%
無回答	-	-	4	0.2%	-	-	1	0.1%
合計	4,500	100.0%	2,369	100.0%	4,173	100.0%	1,968	100.0%

## 保護者を対象とした調査結果の概要

### 第1 子育て世帯の状況

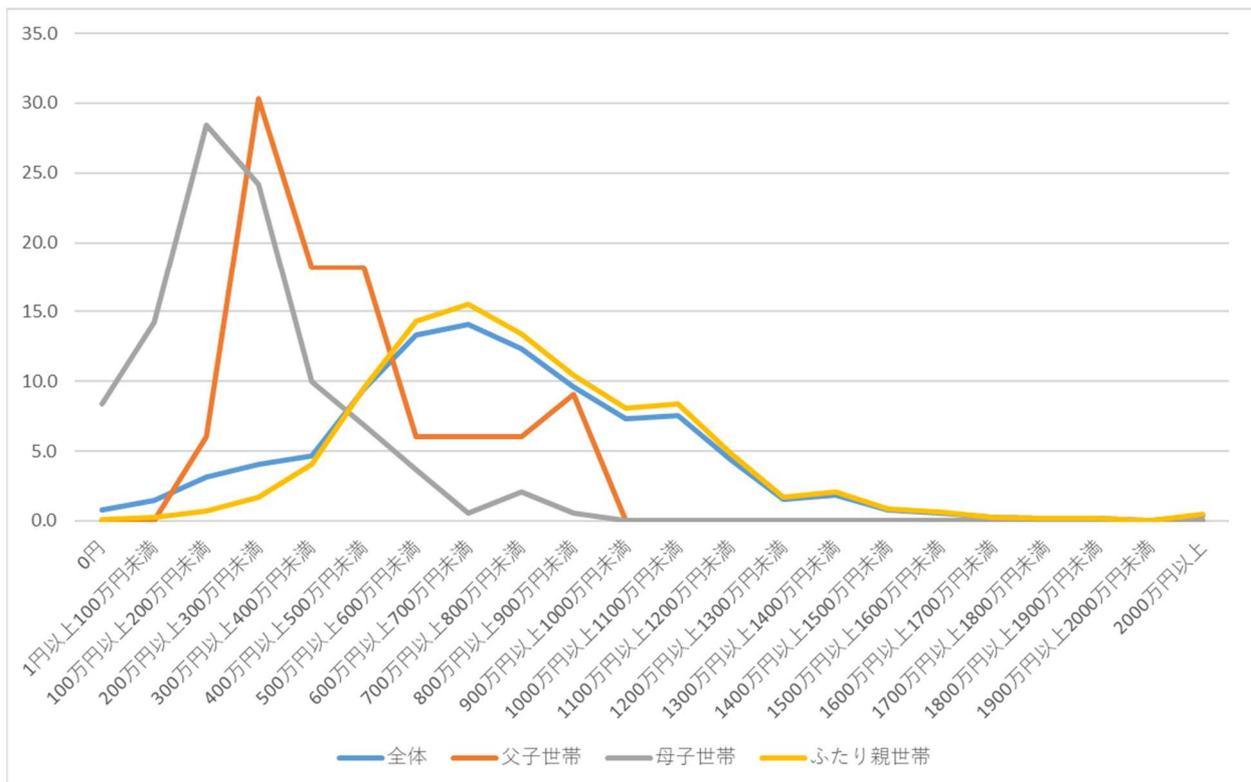
#### 1-1.世帯構成

調査数	父子世帯	母子世帯	ふたり親世帯	その他	無回答
全体(n=2369)	1.4%	8.0%	90.0%	0.4%	0.1%

#### 1-2.子どもの人数

調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	無回答
全体(n=2369)	14.2%	50.4%	28.7%	4.7%	1.1%	0.3%	0.4%	0.0%	0.1%

#### 1-3.世帯の年間所得額



- ・ふたり親世帯では、「400 万円以上 500 万円未満」から「800 万円以上 900 万円未満」に集中しており、「600 万円以上 700 万円未満」が 15.5%と最も高くなっている。
- ・父子世帯では、「200 万円以上 300 万円未満」から「400 万円以上 500 万円未満」に集中しており、そのピークは「200 万円以上 300 万円未満」の 30.3%となっている。
- ・母子世帯では「1 円以上 100 万円未満」から「300 万円以上 400 万円未満」に集中し、そのピークは「100 万円以上 200 万円未満」の 28.4%となっている。

※「回答者の年間所得」と「配偶者の年間所得」からそれぞれ階級値をとり、それを合計し算出。  
このとき、回答が「1000 万円以上」であった回答は、「1000 万円」として計算している。

#### 1-4.土日祝日の仕事状況

・全体として、母親より父親のほうが土日祝日に仕事があることが多い。

		父親の土日祝日の仕事							
		総計	(ほ ぼ 0 % い 未 満 )	(あ ま 0 % り な い 以 上 4 0 % 未 満 )	(時 々 0 % あ る 以 上 6 0 % 未 満 )	(か な り あ る 以 上 9 0 % 未 満 )	(ほ ぼ 0 % あ る 以 上 )	無 回 答	(該 当 し な い )
母親 の 土 日 祝 日 の 仕 事	総計	2369	22.1%	13.2%	18.9%	15.3%	16.9%	0.1%	13.5%
	ほぼない(10%未満)	40.7%	11.3%	5.5%	7.6%	5.7%	6.5%	0.1%	4.1%
	あまりない(10%以上40%未満)	9.5%	2.0%	1.8%	1.9%	1.6%	1.5%	0.0%	0.8%
	時々ある(40%以上60%未満)	18.0%	3.1%	2.4%	4.1%	3.2%	2.7%	0.0%	2.5%
	かなりある(60%以上90%未満)	9.2%	1.6%	1.0%	1.6%	2.0%	1.6%	0.0%	1.4%
	ほぼある(90%以上)	9.8%	1.5%	1.0%	1.5%	1.3%	3.1%	0.0%	1.5%
	無回答	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(該当しない)	12.5%	2.6%	1.4%	2.3%	1.4%	1.6%	0.0%	3.3%

#### 1-5.18時以降の仕事状況

・土日祝日の仕事と同様に、全体として母親より父親のほうが18時以降の仕事を多くしている。

		父親の18時以降の仕事							
		総計	(ほ ぼ 0 % い 未 満 )	(あ ま 0 % り な い 以 上 4 0 % 未 満 )	(時 々 0 % あ る 以 上 6 0 % 未 満 )	(か な り あ る 以 上 9 0 % 未 満 )	(ほ ぼ 0 % あ る 以 上 )	無 回 答	(該 当 し な い )
母親 の 1 8 時 以 降 の 仕 事	総計	2369	11.9%	9.8%	18.2%	15.8%	30.4%	0.3%	13.5%
	ほぼない(10%未満)	52.8%	7.5%	5.7%	9.5%	8.7%	15.4%	0.2%	5.7%
	あまりない(10%以上40%未満)	8.8%	0.9%	1.4%	1.9%	1.3%	2.4%	0.0%	0.8%
	時々ある(40%以上60%未満)	11.8%	0.9%	1.0%	2.9%	1.9%	3.6%	0.0%	1.6%
	かなりある(60%以上90%未満)	7.3%	0.8%	0.6%	1.3%	1.6%	1.9%	0.0%	1.1%
	ほぼある(90%以上)	6.6%	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	3.6%	0.0%	1.0%
	無回答	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	(該当しない)	12.5%	1.4%	0.8%	1.9%	1.6%	3.5%	0.0%	3.3%

## 1-6.親の仕事状況

・母親の仕事では「パートタイマー、派遣」の割合が43.3%となっている。

		父親の仕事											
		総計	自営 (農林漁業)	自営 (商工サービス業)	(従業員 50人未満) 正社員	(従業員 50人以上) 正社員	公務員	パート タイマー、 派遣	家内 労働	学生、 無職、 失業中	その他	無 回答	(該 当し ない)
母親 の 仕事	総計	2369	2.4%	11.2%	20.5%	38.4%	12.3%	1.5%	0.1%	1.0%	2.1%	1.9%	8.6%
	自営(農林漁業)	1.1%	0.7%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自営(商工サービス業)	5.5%	0.0%	3.4%	0.5%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.5%
	正社員(従業員50人未満)	9.0%	0.2%	1.1%	2.7%	2.7%	0.6%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	1.2%
	正社員(従業員50人以上)	14.0%	0.3%	1.0%	2.4%	7.0%	0.9%	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	1.6%
	公務員	8.0%	0.0%	0.4%	0.9%	2.1%	3.8%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.4%
	パートタイマー、派遣	43.3%	0.5%	3.3%	10.7%	18.7%	4.7%	0.8%	0.0%	0.3%	0.4%	0.5%	3.3%
	家内労働	6.5%	0.3%	1.0%	1.0%	2.7%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%
	学生、無職、失業中	4.5%	0.1%	0.2%	0.8%	1.9%	0.7%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.6%
	その他	3.8%	0.2%	0.3%	0.6%	1.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.1%
	無回答	2.3%	0.0%	0.1%	0.5%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%
(該当しない)	1.8%	0.0%	0.3%	0.3%	0.5%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	

## 1-7.家事・育児の分担状況

・家事、育児ともに「父親と母親と半々」と回答したのは9.2%

・一方で、家事、育児ともに「専ら母親がやる」の回答が40.0%

・また、家事、育児それぞれで「専ら母親がやる」または「主に母親がやる」とした回答の割合の合計は72.8%であった。

		育児の分担状況							
		総計	専ら 母親が やる	主に 母親が やる	父親 と母親 と半々	主に 父親が やる	専ら 父親が やる	その他	無 回答
家事 の 分 担 状 況	総計	2369	47.1%	32.2%	15.8%	1.0%	1.9%	1.0%	1.0%
	専ら母親がやる	50.0%	40.0%	8.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
	主に母親がやる	29.5%	5.7%	18.6%	4.9%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
	父親と母親で半々	14.3%	0.7%	4.1%	9.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%
	主に父親がやる	1.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
	専ら父親がやる	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.6%	0.0%	0.0%
	その他	1.9%	0.3%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
	無回答	1.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%

## 第2 主観的評価

### 2-1.子育て環境に対する主観的評価の平均点

項目	平均点
住んでいる地域における「子育てしやすさ」に対する評価	6.1点
「結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援の実現」に対する評価	5.2点
「子ども・子育てについて社会全体から支えられている感覚」に対する評価	5.2点
「子どもが十分に能力を伸ばせる環境の実現」に対する評価	5.1点
「子育ての中で感じる楽しさ」に対する評価	7.4点
「子育ての中で感じる負担、辛さ」に対する評価	5.4点

#### ※評価点の分布

##### ・住んでいる地域に対する子育てのしやすさの評価

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
2.9%	2.4%	6.3%	5.1%	20.9%	13.2%	19.0%	21.3%	3.5%	4.0%	1.4%

##### ・「結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援の実現」に対する評価

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
5.3%	4.3%	9.7%	8.9%	28.1%	15.0%	14.7%	10.0%	1.7%	1.4%	0.9%

##### ・「子ども・子育てについて社会全体から支えられている感覚」に対する評価

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
4.7%	5.0%	11.2%	9.7%	26.1%	14.2%	13.5%	10.8%	2.0%	1.7%	1.1%

##### ・「子どもが十分に能力を伸ばせる環境の実現」に対する評価

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
6.1%	4.4%	10.5%	10.3%	26.9%	15.0%	14.1%	8.9%	1.3%	1.5%	1.1%

##### ・「子育ての中で感じる楽しさ」に対する評価

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
0.8%	0.8%	1.7%	2.4%	13.2%	7.9%	18.4%	24.4%	10.3%	19.4%	0.8%

##### ・「子育ての中で感じる負担、辛さ」に対する評価

1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
4.1%	6.6%	12.2%	6.8%	24.9%	11.1%	13.1%	12.4%	2.9%	5.0%	0.9%

※相関係数とは、二つの変量の関係を表す係数。相関係数の絶対値が1に近いほど、相関関係が強くなりますが、以下のように解釈される場合が多い。

0.0～0.2 → ほとんど相関関係がない  
 0.2～0.4 → やや相関関係がある  
 0.4～0.7 → かなり相関関係がある  
 0.7～1.0 → 強い相関関係がある

## 2-2.子育て環境に対して、今後期待される点

### ○子育てのしやすさで足りないところ

	選択率	相対係数
使えるサービス等に関する情報の得やすさ	28.3%	-0.18
子育てについて気軽に相談できる窓口	12.8%	-0.19
子育てを直接的に手助けしてくれる人的サービス	22.2%	-0.18
発達障害や医療的ケアなど要配慮児童等に対する適切な支援	11.6%	-0.16
買い物や通勤・通学などの普段の生活の利便性	40.3%	-0.19
出産や病気の時に困らないだけの受診・通院先	25.7%	-0.15
公園など、子どもの遊び場	40.2%	-0.14
同世代の子どもを持つ親と交流できる場・機会	10.2%	-0.11
保育所、放課後児童クラブなど子どもの預け先	17.0%	-0.08
子どもが望む習い事ができる場（塾やスポーツクラブなど）	33.0%	-0.13
同世代の子ども・若者が交流できる場・機会	12.0%	-0.11
子育てに対する経済的支援	41.0%	-0.25
妊娠するための経済的支援	11.6%	-0.17
出産に対する経済的支援	13.7%	-0.17
住んでいる地域の治安や安全性	14.5%	-0.09

- ・子育てのしやすさの足りないところとして選択された割合は「子育てに対する経済的支援」が41.0%と最も高く、次いで「買い物や通勤・通学などの普段の生活の利便性」40.3%、「公園など、子どもの遊び場」40.2%と続いている。
- ・一方で各項目と「子育てのしやすさに対する評価点数」との相対係数は「子育てに対する経済的支援」が-0.25であり、やや相関関係が確認された。

### ○子育てについて社会全体から支えられていると感じられるために必要なこと

	選択率	相対係数
行政からの十分な支援が感じられる	62.3%	-0.15
困ったときに、すぐに助けが得られる	39.6%	-0.01
定期的に気にかけてくれる人や存在がいる	19.7%	0.11
子どもや子育てについて、周りから非難するような視線を感じない	19.1%	0.00
子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくて済む	52.5%	-0.07
子どもの存在を理由に利用できない施設やサービスがなくなる	8.3%	-0.02
子どもの存在を理由に特典を得られる施設やサービスが増える	22.4%	-0.02

- ・子育てについて社会全体から支えられていると感じるために必要なこととして選択された割合は「行政からの十分な支援が感じられる」62.3%、「子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくてよい」52.5%の順に高くなっている。
- ・一方で、各項目と「社会全体から支えられていると感じる」ことに関する評価との相対係数は、絶対値が0.2を超えるものはなく、明確な相関関係は確認できない。

○子どもが十分に能力を伸ばせる環境だと感じるために必要なこと

	選択率	相関係数
子どもが思いきり遊べる公園や広場が充実する	39.6%	0.01
子どもが通える塾や習い事が充実する	36.1%	-0.15
保育園や幼稚園、認定こども園などでより良いサービスが行われるようになる	17.1%	-0.02
小学校、中学校でより良い教育が行われるようになる	54.5%	-0.06
県内の高校でより良い教育が行われるようになる	28.6%	-0.01
県内により多くの進学の実績が用意される	40.7%	-0.02
要配慮児童などについて、それぞれに合わせた支援がされるようになる	15.6%	-0.01
地域において子どもが参加できるイベントなどの機会が増える	12.9%	0.06

- ・子どもが十分に能力を伸ばせる環境だと感じるために必要なこととして選択された割合は「小学校、中学校でより良い教育が行われるようになる」54.5%、「県内により多くの進学の実績が用意される」40.7%の順に高くなっている。
- ・一方で、各項目と「子どもが十分に能力を伸ばせる環境」に対する評価との相対係数は、絶対値が0.2を超えるものはなく、明確な相関関係は確認できない。

○子育ての中で感じる負担・辛さの理由

	選択率	相対係数
子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある	38.6%	0.14
子育てで出費がかさみ、自分のやりたいことをする余裕がない	30.7%	0.10
自分の自由な時間がとれない	42.6%	0.16
仕事が十分にできない	15.5%	0.07
子どもの看護などを理由に急なスケジュール変更が発生する	25.1%	0.07
子どもの生活上の世話をする必要はある	7.8%	0.07
子どもの学業に対する面倒をみる必要がある	16.0%	0.05
子どもの社会生活への適応（不登校や友達つきあいなど）に気を配る必要がある	14.8%	0.14
子育てに関して配偶者の協力が少ない	9.2%	0.08
配偶者と子育てに関して意見が合わない	4.8%	0.04
自分の子育てに対する、まわりの見方や評価	2.9%	0.02
配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	4.4%	0.08
子育てに対する自分の負担や辛さを理解してもらえない	5.9%	0.15
子どもの他に面倒をみなければならない人がいる	2.0%	0.03
子どもにマルトリートメント（不適切な養育）をしてしまう	0.6%	0.01

- ・子育ての中で感じる負担・辛さの理由として選択された割合は「自分の自由な時間がとれない」42.6%、「子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある」38.6%の順に高くなっている。
- ・一方で、各項目と「子育ての中で感じる負担・辛さ」の評価との相対係数は、絶対値が0.2を超えるものはなく、明確な相関関係は確認できない。

### 第3 子育て施策の認知度・利用実績・満足度

	知っている 制度 a		使ったことのある 制度 b		不満を感じた 制度 c		不満を感じた 割合 c/b
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
就学援助制度	1387	58.5%	224	9.5%	33	9.7%	14.7%
高等学校等奨学給付金	1223	51.6%	268	11.3%	34	10.0%	12.7%
高等学校等入学準備サポート	608	25.7%	72	3.0%	12	3.5%	16.7%
生活保護	1697	71.6%	18	0.8%	12	3.5%	66.7%
生活福祉資金貸付金	239	10.1%	15	0.6%	4	1.2%	26.7%
母子父子寡婦福祉資金貸付金	369	15.6%	8	0.3%	4	1.2%	50.0%
スクールソーシャルワーカー活用事業	207	8.7%	23	1.0%	5	1.5%	21.7%
放課後子ども教室	618	26.1%	101	4.3%	8	2.4%	7.9%
放課後児童クラブ	1709	72.1%	909	38.4%	208	61.4%	22.9%
地域子育て支援拠点	269	11.4%	68	2.9%	4	1.2%	5.9%
一時預かり	673	28.4%	122	5.1%	24	7.1%	19.7%
ファミリーサポートセンター	1049	44.3%	152	6.4%	33	9.7%	21.7%
産前産後ケアセンター	1078	45.5%	32	1.4%	1	0.3%	3.1%
ひとり親家庭等日常生活支援事業	327	13.8%	16	0.7%	3	0.9%	18.8%
ひとり親家庭医療費助成事業	613	25.9%	125	5.3%	15	4.4%	12.0%
母子父子家庭自立支援給付金	253	10.7%	13	0.5%	4	1.2%	30.8%
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	152	6.4%	11	0.5%	2	0.6%	18.2%
母子家庭等就業・自立支援センター事業	132	5.6%	7	0.3%	2	0.6%	28.6%
チャレンジマザー就職支援事業	49	2.1%	4	0.2%	1	0.3%	25.0%
自立支援員によるひとり親家庭等の相談	90	3.8%	6	0.3%	1	0.3%	16.7%
自立相談支援事業	131	5.5%	10	0.4%	2	0.6%	20.0%
その他	9	0.4%	16	0.7%	1	0.3%	6.3%
無回答	123	5.2%	982	41.5%	11	3.2%	
調査数	2369		2369		339		

- ・制度の認知度は「放課後児童クラブ」72.1%、「生活保護」71.6%、「就学援助制度」58.5%の順に高くなっている。
- ・実際に使ったことのある制度は「放課後児童クラブ」38.4%、「高等学校等奨学給付金」11.3%、「就学援助制度」9.5%の順に高くなっている。
- ・不満を感じた制度として選択された割合は「放課後児童クラブ」61.4%、「高等学校等奨学給付金」10.0%、「就学援助制度」9.7%の順に高くなっている。
- ・各制度について使ったことがある人数を分母とし、不満を感じたことがある人数を分子とした場合の不満を感じた割合は「生活保護」66.7%、「母子父子寡婦福祉資金貸付金」50.0%、「母子父子家庭自立支援給付」30.8%の順に高くなっている。

## 子ども本人を対象とした調査結果の概要

### 第1 現在の生活に対する満足度

子ども本人からの評価項目	平均点
「現在の生活」に対する評価	7.7点

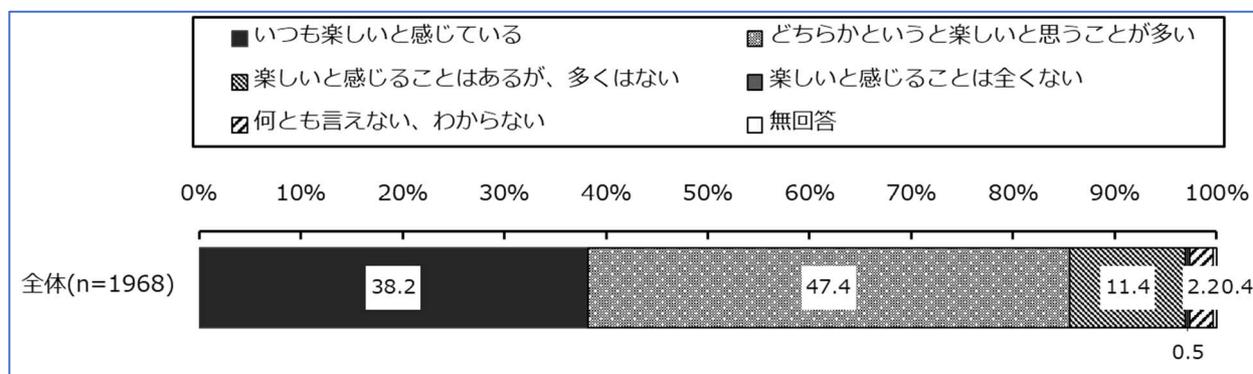
1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
0.5%	0.5%	1.1%	2.3%	9.1%	8.0%	18.8%	23.4%	14.1%	20.9%	1.3%

### 第2 現在の生活に対する満足度と周辺環境に対する評価の関係

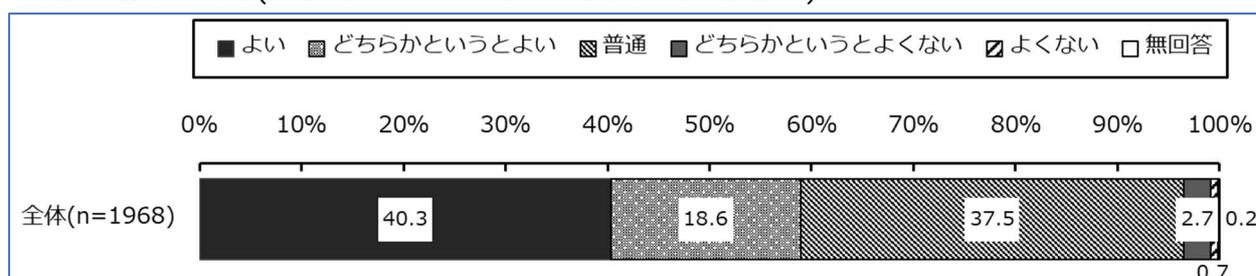
	相関係数
楽しいと感じる頻度との関係	0.4762
現在の暮らし向きとの関係	0.3365
地域の生活のしやすさとの関係	0.3349
普段の健康状態との関係	0.3103
大人になることへの期待との関係	0.282
やりたいことができる環境との関係	0.2762
地域を安全安心と感じているかどうかとの関係	0.2479
考えを押し付けられていると感じる頻度との関係	0.2213
将来のやりたい仕事の決定状況との関係	0.1596

### 第3 周辺環境に対する評価の状況

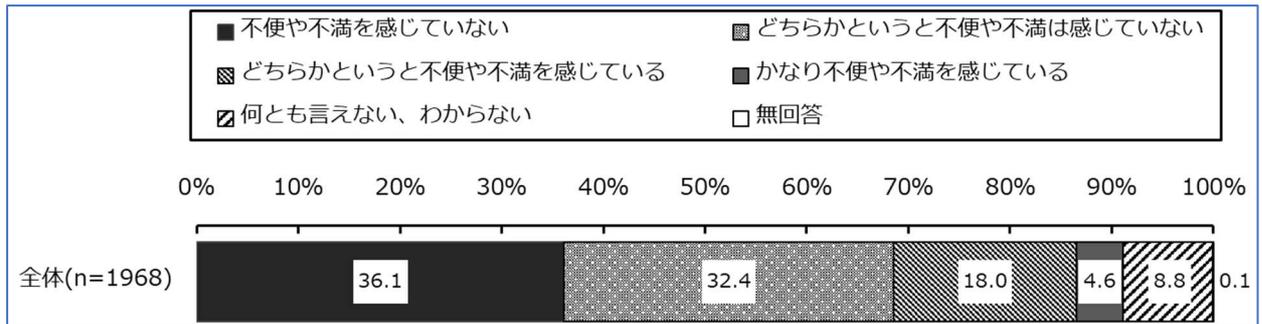
#### ○ 楽しいと感じる頻度



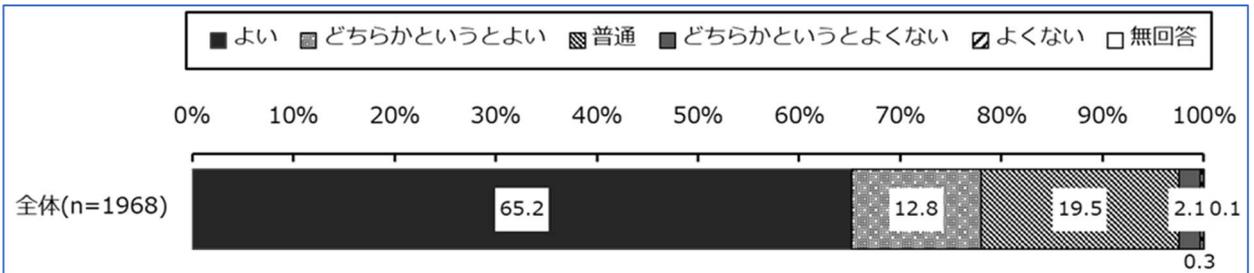
#### ○ 現在の暮らし向き(衣食住・レジャー等の物質的な生活基準)



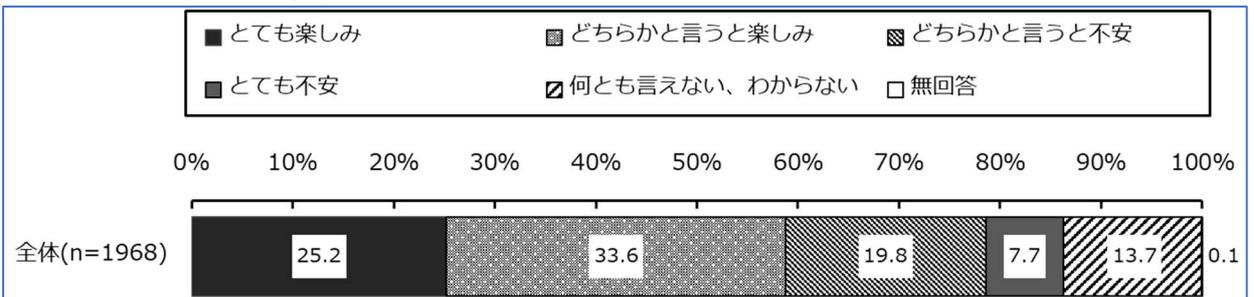
○ 地域の生活のしやすさ



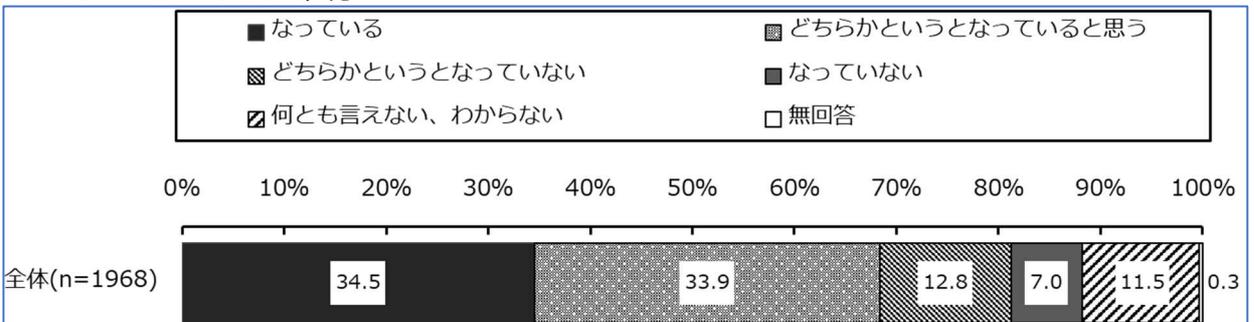
○ 普段の健康状態



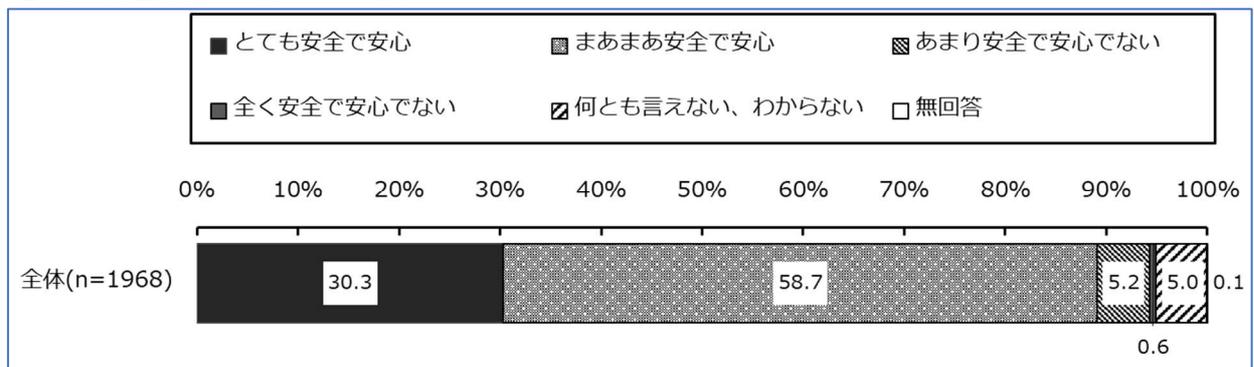
○ 大人になることへの期待



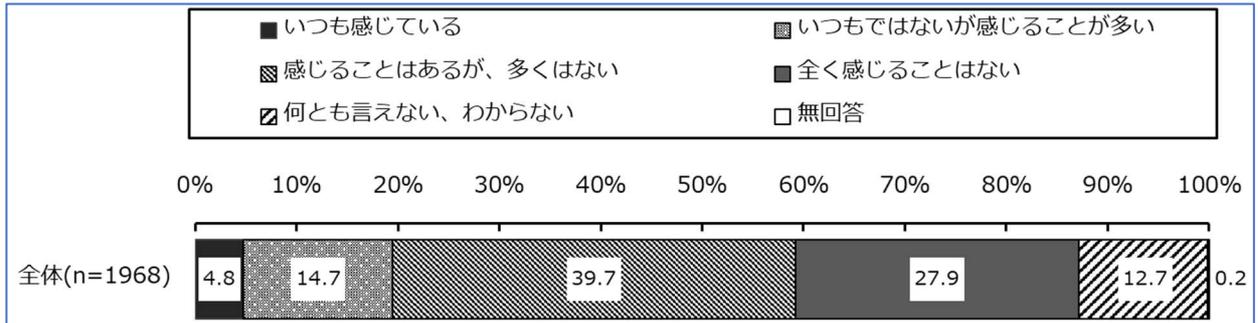
○ やりたいことができる環境



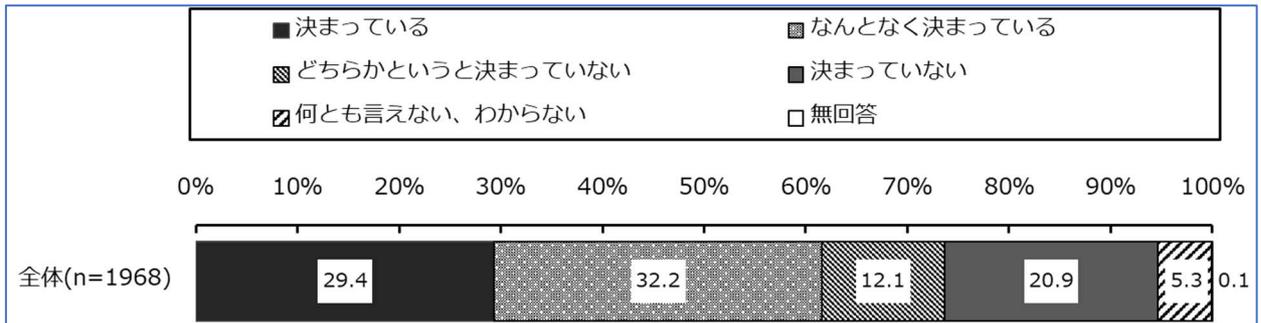
○ 地域を安全安心と感じているか



○ 考えを押しつけられていると感じる頻度



○ 将来のやりたい仕事は決まっているか



**【ご家族様】**  
**山梨県子ども計画策定に係るアンケート調査**  
**報告書**

**株式会社ベルキャリアール**

**令和6年3月8日**



## 目次

I. 調査概要	6
1. 調査目的	6
2. 調査設計	6
3. 回収結果	6
II. 調査結果	7
01～03. 発送数・回答数・有効回答数	7
04. この調査にご回答いただく方	8
05. お住いの市町村	8
06. お住いの市町村の在住年数	8
07. 配偶関係	9
08. 世帯構成	9
09. 父親の年齢	9
10. 母親の年齢	10
11. 世帯の年間所得額	10
12. 世帯構成×世帯の年間所得額	11
13. 子どもの人数	13
14. 18歳未満の子どもの人数	13
15. 子どもの年齢	13
16. 多胎児の有無	13
17. 等価可処分所得	14
18. 相対的貧困状況	14
19. 相対的貧困状況×世帯構成	15
20. 相対的貧困状況×子どもの人数	15
21. 子どもの相対的貧困率	16
22. 父親の仕事	16
23. 母親の仕事	16
24. 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事	17
25. 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況	18
26. 父親の育休状況×父親の仕事	19
27. 母親の育休状況×母親の仕事	20

28. 母親の仕事（回答別3項目） 母親の育休状況×子どもの人数	21
29. 子どもの人数の希望実現状況	23
30. 子どもの人数が希望の人数になっていない理由	24
31. 男性の育休取得について×父親の仕事	24
32. 男性の育休取得に期待していない理由×父親の仕事	25
33. 育児の分担状況	25
34. 家事の分担状況	26
35. 育児の分担状況×家事の分担状況	26
36. 父親の育休状況×育児の分担状況	27
37. 父親の育休状況×家事の分担状況	27
38. 配偶者以外からの子育て支援	28
39. 配偶者以外からの子育て支援の内容	28
40. 1か月あたりの食費	29
41. 1か月あたりの食費×世帯人数	29
42. 要看護・介護者の有無	30
43. 子育てのしやすさの評価	30
44. 子育てのしやすさの足りないところ	30
45. 結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援の評価	30
46. 子ども・子育てについて社会全体から支えられているかの評価	31
47. 子ども・子育てについて社会全体から支えられるために必要なこと	31
48. 子どもが十分能力を伸ばせる環境かの評価	32
49. 子どもが十分能力を伸ばせる環境に必要なこと	32
50. 子育ての中で感じる楽しさの評価	33
51. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価	33
52. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×多胎児の有無	33
53. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×要看護・介護者の有無	34
54. 子育ての中で感じる負担・辛さの理由	34
55. 希望時期からの保育園利用状況	35
56. 利用した保育園の希望状況と満足度	35
57. 第一希望以外への入所についての不満	36

58. レスパイトの利用希望×お住いの市町村	36
59. レスパイトの利用希望×末子の年齢	37
60. レスパイトの利用希望（回答別） 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況	38
61. レスパイトの利用希望年齢	41
62. レスパイトの利用を希望しない理由	42
63. ベビーシッターの利用希望	43
64. ベビーシッターの利用希望×末子の年齢	43
65. ベビーシッターの利用希望（回答別） 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況	44
66. ベビーシッターの利用希望年齢	47
67. ベビーシッターの利用を希望しない理由	48
68. 子育てについて気軽に相談できる相手の有無	49
69. 子育てについて気軽に相談できる相手	49
70. 子どもに体験させてきたもの×世帯の年間所得額	50
71. 子どもに体験させてきたもの×世帯構成	51
72. 子どもに体験させてきたもの×子どもの人数	52
73. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯の年間所得額	53
74. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯構成	54
75. 実現が難しいと思っている体験の有無×子どもの人数	54
76. 実現が難しいと思っている体験の有無（回答別） 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事	55
77. 実現が難しいと思っている体験×世帯の年間所得額	57
78. 実現が難しいと思っている体験×世帯構成	58
79. 実現が難しいと思っている体験×子どもの人数	59
80. 実現が難しいと思っている理由×世帯の年間所得額	60
81. 体験の実現が難しいと思っている理由×お住まいの市町村	61
82. 希望する子供の最終学歴×世帯の年間所得額	62
83. 希望する子供の最終学歴×子どもの人数	63
84. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×世帯の年間所得額	64
85. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×子どもの人数	65
86. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×世帯の年間所得額	66

87. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×子どもの人数 .....	67
88. 知っている公的支援制度.....	68
89. 使ったことのある公的支援制度.....	69
90. 使ったことのある公的支援制度の満足度.....	70
91. 不満を感じた公的支援制度.....	70

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

令和5年4月1日から施行された「こども基本法」に基づき山梨県子ども計画を策定するにあたり、県内の子育て世帯が抱える困りごとや希望する支援策を把握し、今後の子育て支援策を展開するための調査を行う。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域 山梨県全域(全27市町村対象)
- (2) 調査対象 山梨県在住の18歳以下(令和5年12月1日時点)のお子様をお持ちの保護者様
- (3) 標本数 4,500人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査(インターネット回答)
- (6) 調査期間 令和5年12月25日(月)～令和5年1月15日(月)

## 3. 回収結果

- (1) 発送数 4,500人 (100.0%)
- (2) 回収数 2,376人 (52.8%)
- (3) 有効回答数 2,369人 (52.6%)

(報告書を読む際の注意事項)

- ・結果は百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入している。このため百分率の合計が100%にならないことがある。
- ・数値やグラフ中の「n」は回答者総数を示し、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・複数回答をしてもよい設問では、百分率の合計が100%を超える場合がある。
- ・回答数が10件未満の場合は参考値とする。

## Ⅱ. 調査結果

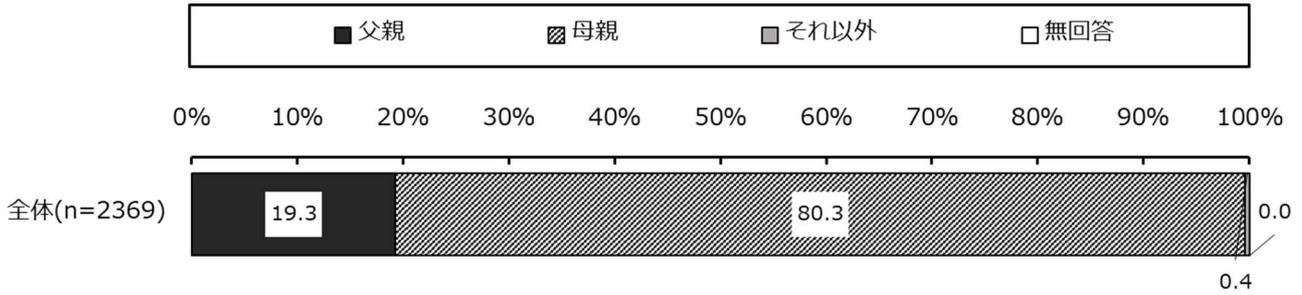
### 01～03. 発送数・回答数・有効回答数

	発送数	
	実数	構成比
甲府市	838	18.6%
富士吉田市	210	4.7%
都留市	134	3.0%
山梨市	147	3.3%
大月市	106	2.4%
韮崎市	120	2.7%
南アルプス市	361	8.0%
北杜市	170	3.8%
甲斐市	408	9.1%
笛吹市	307	6.8%
上野原市	100	2.2%
甲州市	123	2.7%
中央市	147	3.3%
市川三郷町	105	2.3%
早川町	72	1.6%
身延町	106	2.4%
南部町	100	2.2%
富士川町	105	2.3%
昭和町	126	2.8%
道志村	100	2.2%
西桂町	107	2.4%
忍野村	100	2.2%
山中湖村	103	2.3%
鳴沢村	108	2.4%
富士河口湖町	106	2.4%
小菅村	48	1.1%
丹波山村	43	1.0%
無回答	-	-
合計	4,500	100.0%

	回収数	
	実数	回収率
	446	9.9%
	107	2.4%
	66	1.5%
	88	2.0%
	51	1.1%
	57	1.3%
	218	4.8%
	84	1.9%
	240	5.3%
	162	3.6%
	46	1.0%
	69	1.5%
	67	1.5%
	53	1.2%
	21	0.5%
	62	1.4%
	49	1.1%
	52	1.2%
	63	1.4%
	37	0.8%
	48	1.1%
	54	1.2%
	59	1.3%
	66	1.5%
	70	1.6%
	20	0.4%
	11	0.2%
	10	0.2%
	2,376	52.8%

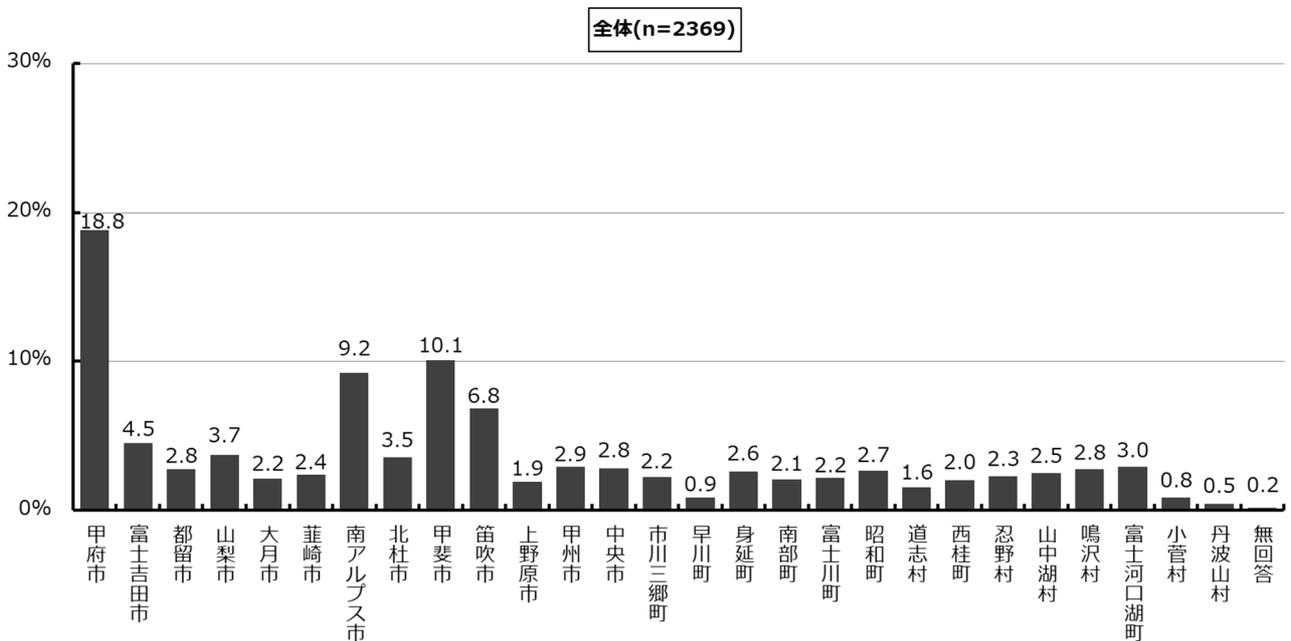
	有効回答数	
	実数	構成比
	446	18.8%
	107	4.5%
	66	2.8%
	88	3.7%
	51	2.2%
	57	2.4%
	218	9.2%
	84	3.5%
	239	10.1%
	162	6.8%
	46	1.9%
	69	2.9%
	67	2.8%
	53	2.2%
	21	0.9%
	62	2.6%
	49	2.1%
	52	2.2%
	63	2.7%
	37	1.6%
	48	2.0%
	54	2.3%
	59	2.5%
	66	2.8%
	70	3.0%
	20	0.8%
	11	0.5%
	4	0.2%
	2,369	100.0%

#### 04. この調査にご回答いただく方



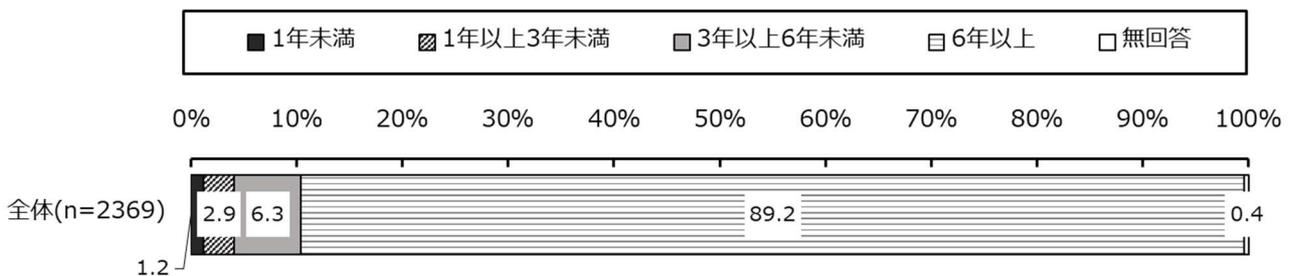
回答者は、「母親」が80.3%であり、「父親」が19.3%である。

#### 05. お住いの市町村



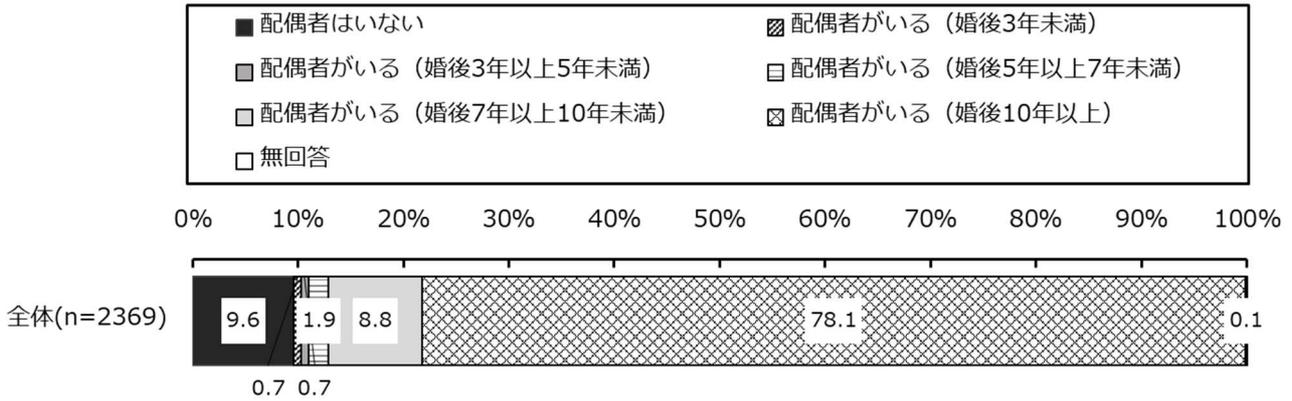
お住まいの市町村は、「甲府市」が18.8%と最も高く、次いで「甲斐市」10.1%、「南アルプス市」9.2%と続いている。

#### 06. お住いの市町村の在住年数



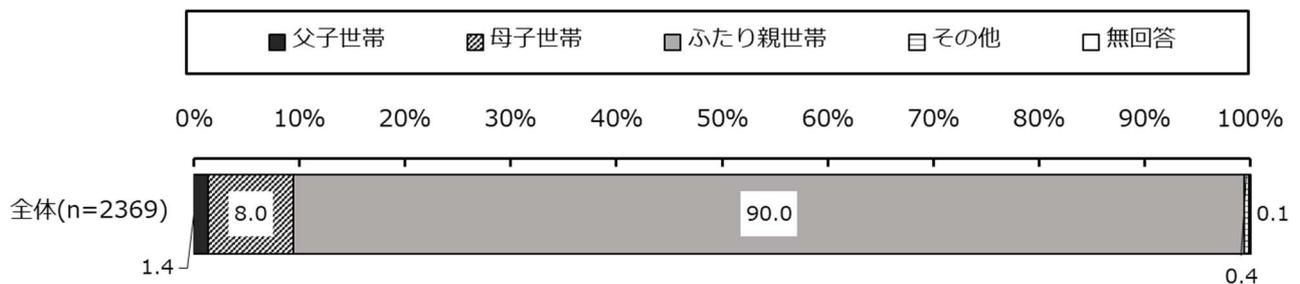
お住まいの市町村での在住期間は、「6年以上」が89.2%と最も高く、次いで「3年以上6年未満」6.3%、「1年以上3年未満」2.9%と続いている。

## 07. 配偶関係



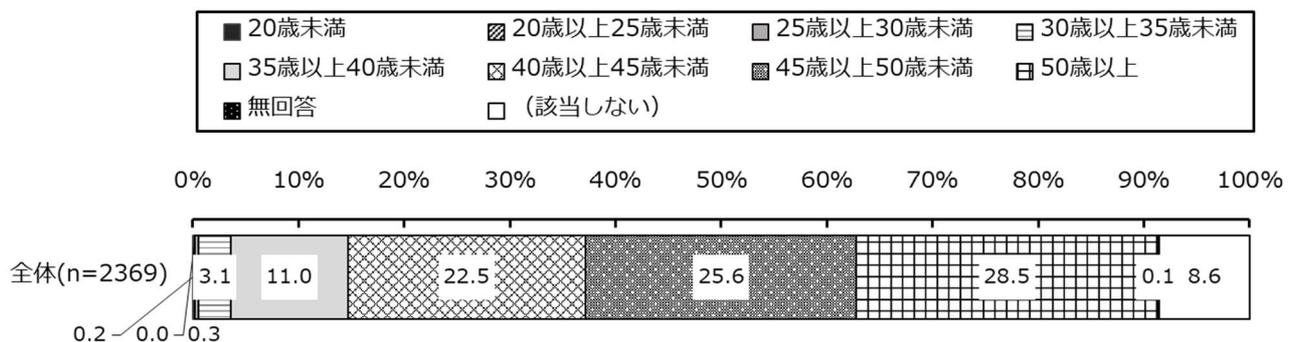
配偶者の有無、またその婚姻期間は、「配偶者がいる（婚後10年以上）」が78.1%と最も高く、次いで「配偶者はいない」9.6%、「配偶者がいる（婚後7年以上10年未満）」8.8%と続いている。

## 08. 世帯構成



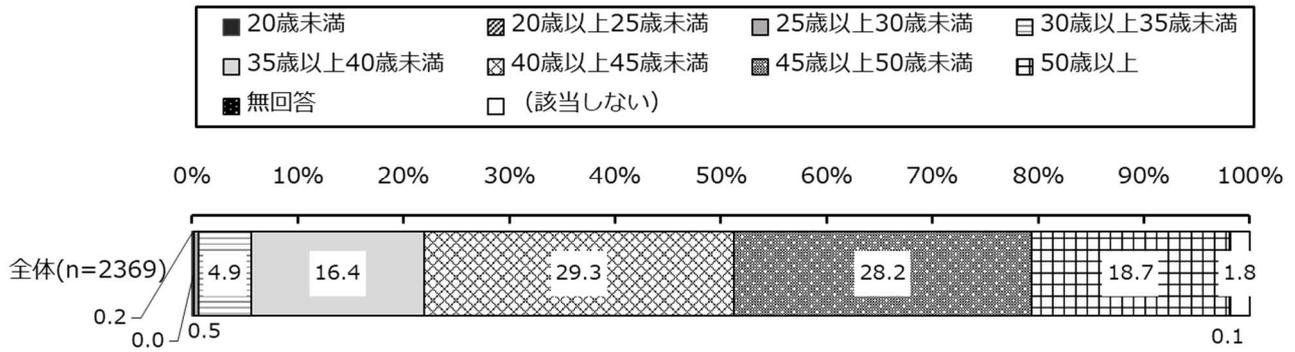
世帯構成は、「ふたり親世帯」が90.0%と最も高く、次いで「母子世帯」8.0%、「父子世帯」1.4%と続いている。

## 09. 父親の年齢



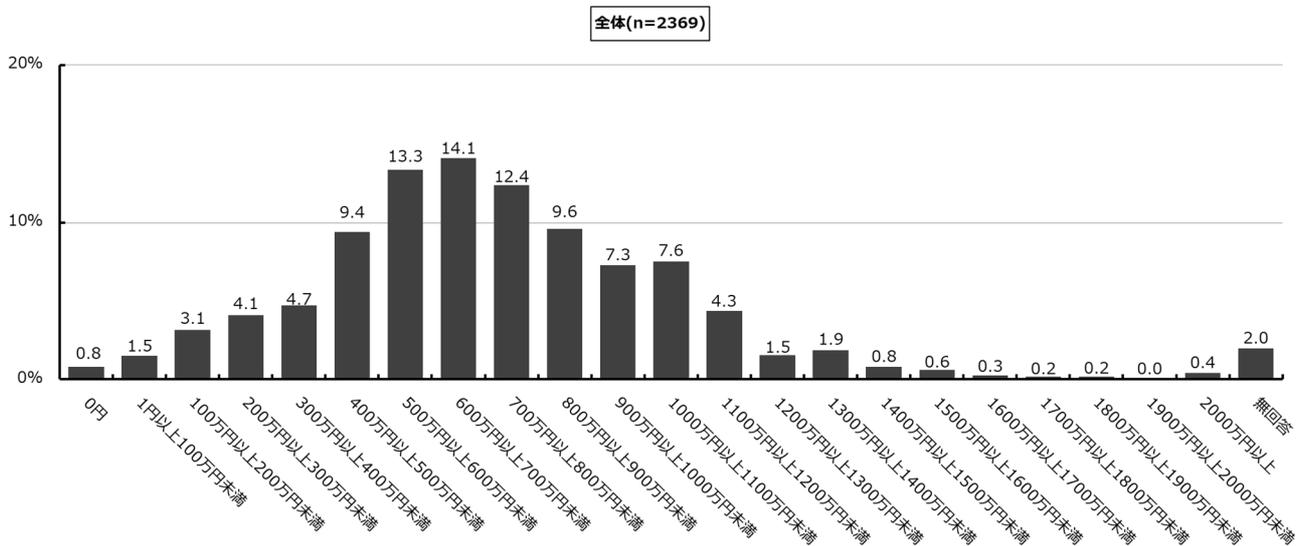
父親の年齢は、「50歳以上」が28.5%と最も高く、次いで「45歳以上50歳未満」25.6%、「40歳以上45歳未満」22.5%と続いている。

## 10. 母親の年齢



母親の年齢は、「40歳以上45歳未満」が29.3%と最も高く、次いで「45歳以上50歳未満」28.2%、「50歳以上」18.7%と続いている。

## 11. 世帯の年間所得額



世帯の年間所得額は、「600万円以上700万円未満」が14.1%と最も高く、次いで「500万円以上600万円未満」13.3%、「700万円以上800万円未満」12.4%と続いている。

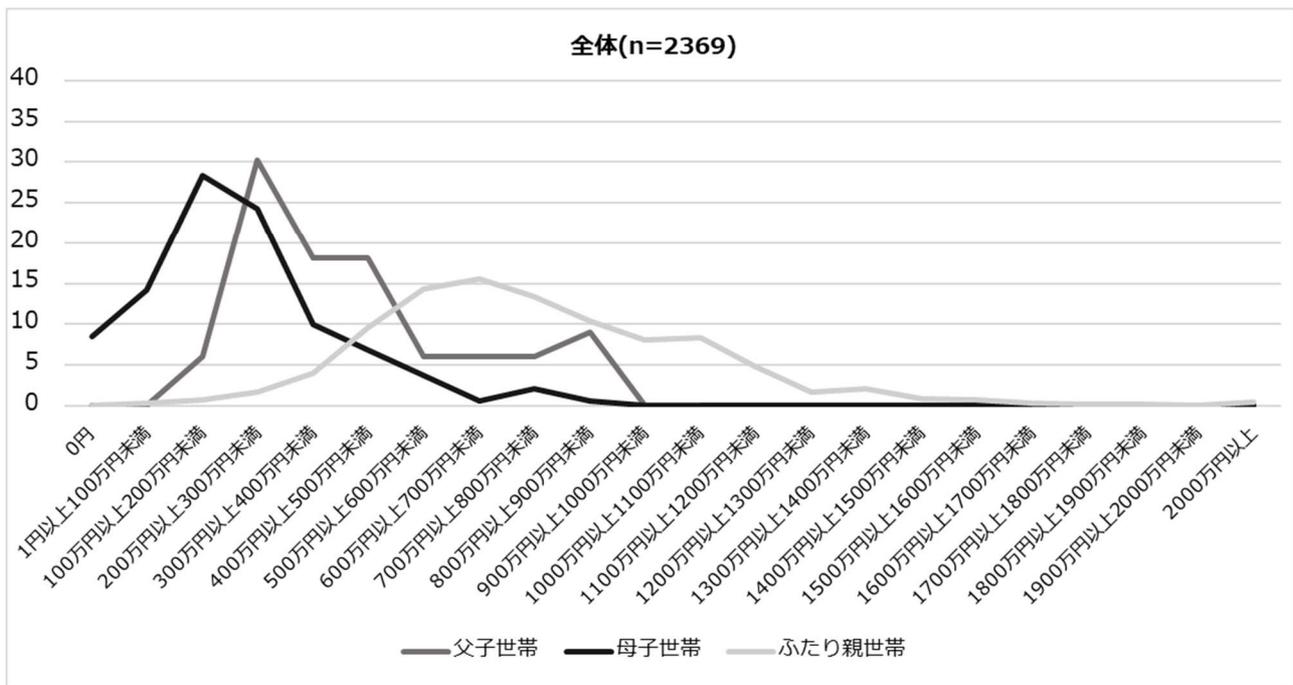
※「回答者の年間所得」と「配偶者の年間所得」からそれぞれ階級値をとり、それを合計し算出。

このとき、回答が「1000万円以上」であった回答は、「1000万円」として計算している。

## 12. 世帯構成×世帯の年間所得額

		調査数	0円	1円以上100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1000万円未満
全体		2369	0.8	1.5	3.1	4.1	4.7	9.4	13.3	14.1	12.4	9.6	7.3
世帯構成	父子世帯	33	0.0	0.0	6.1	30.3	18.2	18.2	6.1	6.1	6.1	9.1	0.0
	母子世帯	190	8.4	14.2	28.4	24.2	10.0	6.8	3.7	0.5	2.1	0.5	0.0
	ふたり親世帯	2133	0.1	0.3	0.8	1.7	4.0	9.5	14.3	15.5	13.4	10.5	8.1
	その他	10	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

		調査数	1000万円以上1100万円未満	1100万円以上1200万円未満	1200万円以上1300万円未満	1300万円以上1400万円未満	1400万円以上1500万円未満	1500万円以上1600万円未満	1600万円以上1700万円未満	1700万円以上1800万円未満	1800万円以上1900万円未満	1900万円以上2000万円未満	2000万円以上	無回答
全体		2369	7.6	4.3	1.5	1.9	0.8	0.6	0.3	0.2	0.2	0.0	0.4	2.0
世帯構成	父子世帯	33	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	母子世帯	190	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	ふたり親世帯	2133	8.4	4.8	1.7	2.1	0.9	0.7	0.3	0.2	0.2	0.0	0.5	2.1
	その他	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



父子世帯では、「200 万円以上 300 万円未満」から「400 万円以上 500 万円未満」に集中しており、そのピークは「200 万円以上 300 万円未満」の 30.3%となっている。

母子世帯では「1 円以上 100 万円未満」から「300 万円以上 400 万円未満」に集中し、そのピークは「100 万円以上 200 万円未満」の 28.4%となっている。

ふたり親世帯では、「400 万円以上 500 万円未満」から「800 万円以上 900 万円未満」に集中しており、「600 万円以上 700 万円未満」が 15.5%と最も高くなっているが、大きな差は見られない。

※個人の年間所得額の最高額は「1000 万円」であるので、「1000 万円」から「2000 万円以上」に該当するのはすべて「ふたり親世帯」である。

### 13. 子どもの人数

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	無回答
全体	2369	14.2	50.4	28.7	4.7	1.1	0.3	0.4	0.0	0.1

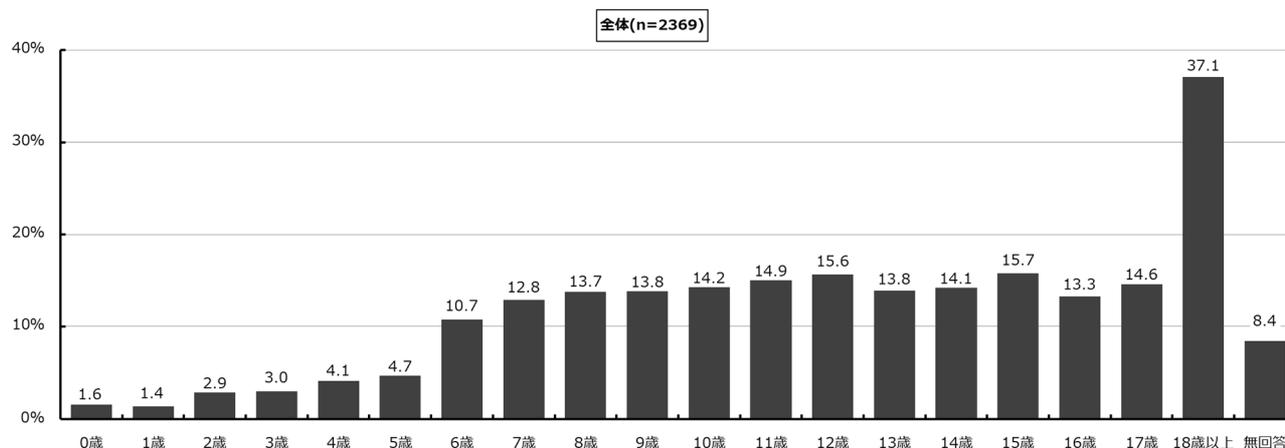
子どもの人数は、「2人」が50.4%と最も高く、次いで「3人」28.7%、「1人」14.2%と続いている。

### 14. 18歳未満の子どもの人数

	調査数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	無回答
全体	2369	5.0	27.8	45.4	18.1	2.5	0.4	0.8

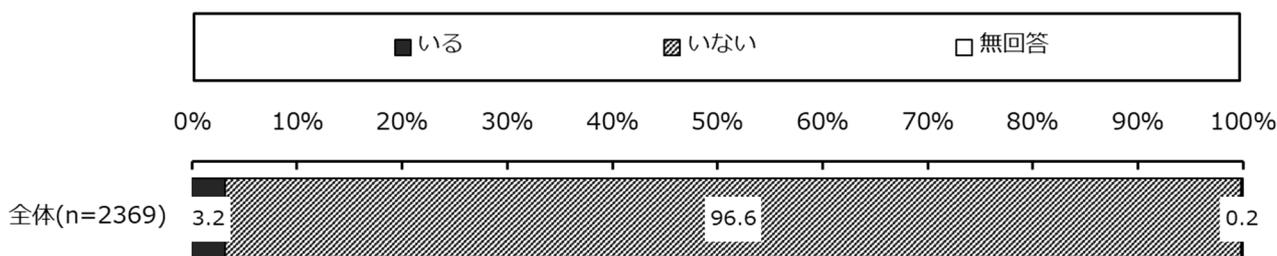
18歳未満の子どもの人数は、「2人」が45.4%と最も高く、次いで「1人」27.8%、「3人」18.1%と続いている。

### 15. 子どもの年齢



子どもの年齢は、「18歳以上」が37.1%と最も高く、次いで「15歳」15.7%、「12歳」15.6%と続いている。

### 16. 多胎児の有無



多胎児の有無については、「いない」が96.6%、「いる」が3.2%である。

## 17. 等価可処分所得

※等価可処分所得：世帯の年間可処分所得（いわゆる手取り収入）を世帯人員で調整したものである。

（「世帯の年間所得額」を「世帯人数」の平方根で割ったもの）

	調査数	0円	1円以上 10万円未満	10万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 40万円未満	40万円以上 50万円未満	50万円以上 60万円未満	60万円以上 70万円未満	70万円以上 80万円未満	80万円以上 90万円未満	90万円以上 100万円未満	100万円以上	無回答
全体	2369	0.8	3.2	9.8	24.4	21.7	18.7	10.5	4.3	2.0	1.1	0.1	0.3	3.2

等価可処分所得は、「200万円以上300万円未満」が24.4%と最も高く、次いで「300万円以上400万円未満」21.7%、「400万円以上500万円未満」18.7%と続いている。

## 18. 相対的貧困状況

	調査数	貧困線に満たない世帯	貧困線以上の世帯	その他	無回答
全体	2369	10.7	86.7	2.5	0.0

相対的貧困状況は、「貧困線以上の世帯」が86.7%、「貧困線に満たない世帯」が10.7%である。

相対的貧困状況は、今回の調査結果から導いた「等価可処分所得」の中央値の半分である156.5万円を判断基準（貧困線）として判断している。

※参考：「2022(令和4)年 国民生活基礎調査の結果」では、2021(令和3)年の貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）は127万円を判断基準（貧困線）としている。

## 19. 相対的貧困状況×世帯構成

		調査数	貧困線に満たない世帯	貧困線以上の世帯	その他	無回答
全 体		2369	10.7	86.7	2.5	0.0
世帯構成	父子世帯	33	27.3	72.7	0.0	0.0
	母子世帯	190	67.9	31.1	1.1	0.0
	ふたり親世帯	2133	5.4	92.5	2.2	0.0
	その他	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0

世帯構成別では、「貧困線に満たない世帯」に絞ると、母子世帯の67.9%が最も高く、次いで父子世帯27.3%、ふたり親世帯5.4%である。

## 20. 相対的貧困状況×子どもの人数

		調査数	貧困線に満たない世帯	貧困線以上の世帯	その他	無回答
全 体		2369	10.7	86.7	2.5	0.0
子どもの人数	1人	337	15.1	81.9	3.0	0.0
	2人	1193	10.6	87.1	2.3	0.0
	3人	681	7.2	90.7	2.1	0.0
	4人	111	11.7	82.0	6.3	0.0
	5人	27	29.6	70.4	0.0	0.0
	6人	7	28.6	71.4	0.0	0.0
	7人	9	33.3	66.7	0.0	0.0
	8人	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	3	33.3	0.0	66.7	0.0

子どもの人数別では、「貧困線に満たない世帯」に絞ると、5人の29.6%が最も高く、次いで1人の15.1%、4人の11.7%、2人の10.6%と続いている。

## 2 1. 子どもの相対的貧困率

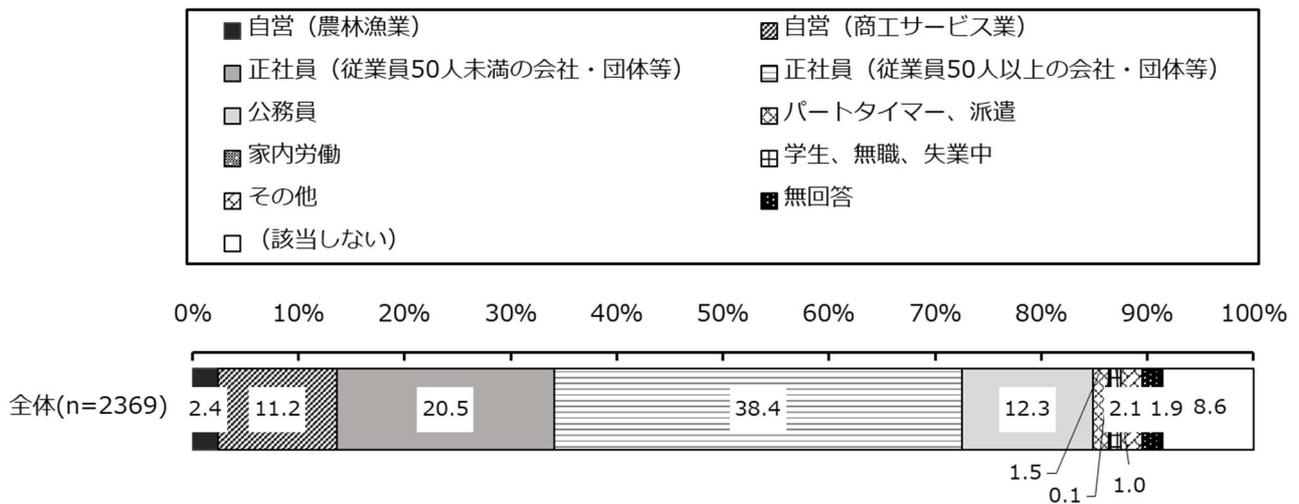
※子どもの相対的貧困率：相対的貧困（一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合。）の状態にある18歳未満の子どもの割合を指す。

（「貧困世帯の子ども数」を「18歳未満の子ども数」で割り、パーセントに直したもの）

18歳未満の子ども数	4383
貧困世帯の子ども数	436
こどもの相対的貧困率	9.95

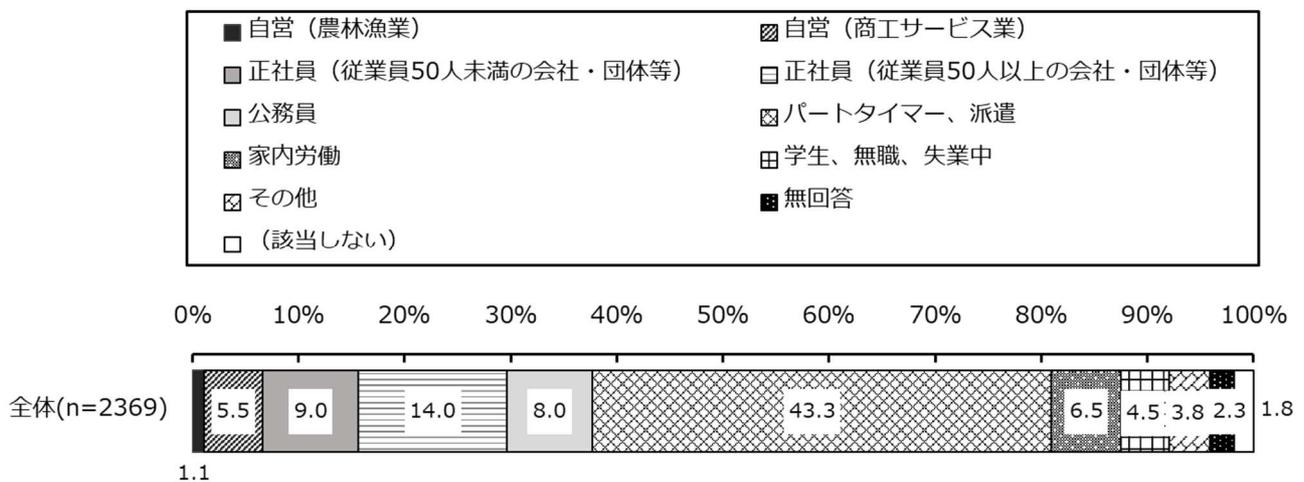
子どもの相対的貧困率は、18歳未満の子ども数4,383人と貧困線に満たない世帯の子ども数436人から、9.95%となった。

## 2 2. 父親の仕事



父親の仕事は、「正社員（従業員50人以上の会社・団体等）」が38.4%と最も高く、次いで「正社員（従業員50人未満の会社・団体等）」20.5%、「公務員」12.3%と続いている。

## 2 3. 母親の仕事



母親の仕事は、「パートタイマー、派遣」が43.3%と最も高く、次いで「正社員（従業員50人以上の会社・団体等）」14.0%、「正社員（従業員50人未満の会社・団体等）」9.0%と続いている。

## 24. 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事

(分布表記)

		父親の土日祝日の仕事							
		全体	ほぼない (10%未満)	(あまりない 10%以上 40%未満)	(時々ある 40%以上 60%未満)	(かなりある 60%以上 90%未満)	ほぼある (90%以上)	無回答	(該当しない)
母親の 土日祝日の 仕事	全体	100.0	523	312	448	362	401	3	320
	ほぼない (10%未満)	965	11.3	5.5	7.6	5.7	6.5	0.1	4.1
	あまりない (10%以上40%未満)	226	2.0	1.8	1.9	1.6	1.5	0.0	0.8
	時々ある (40%以上60%未満)	426	3.1	2.4	4.1	3.2	2.7	0.0	2.5
	かなりある (60%以上90%未満)	218	1.6	1.0	1.6	2.0	1.6	0.0	1.4
	ほぼある (90%以上)	232	1.5	1.0	1.5	1.3	3.1	0.0	1.5
	無回答	6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(該当しない)	296	2.6	1.4	2.3	1.4	1.6	0.0	3.3

父親と母親の土日祝日の出勤状況を掛け合わせたところ、父親の「ほぼない (10%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」が11.3%と最も高く、次いで父親の「時々ある (40%以上60%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」7.6%、父親の「ほぼある (90%以上)」×母親の「ほぼない (10%未満)」6.5%と続いている。

## 25. 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況

(分布表記)

		父親の18時以降の仕事状況							
		全体	ほぼない (10%未満)	(あまりない 以上40%未満)	(時々ある 以上60%未満)	(かなりある 以上90%未満)	ほぼある (90%以上)	無回答	(該当しない)
母親の 18時 以降の 仕事	全体	100.0	283	233	431	375	721	6	320
	ほぼない (10%未満)	1250	7.5	5.7	9.5	8.7	15.4	0.2	5.7
	あまりない (10%以上40%未満)	208	0.9	1.4	1.9	1.3	2.4	0.0	0.8
	時々ある (40%以上60%未満)	280	0.9	1.0	2.9	1.9	3.6	0.0	1.6
	かなりある (60%以上90%未満)	172	0.8	0.6	1.3	1.6	1.9	0.0	1.1
	ほぼある (90%以上)	156	0.5	0.4	0.6	0.5	3.6	0.0	1.0
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	(該当しない)	296	1.4	0.8	1.9	1.6	3.5	0.0	3.3

父親と母親の18時以降の出勤状況を掛け合わせたところ、父親の「ほぼある (90%以上)」×母親の「ほぼない (10%未満)」が15.4%と最も高く、次いで父親の「時々ある (40%以上60%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」9.5%、父親の「かなりある (60%以上90%未満)」×母親の「ほぼない (10%未満)」8.7%と続いている。

## 26. 父親の育休状況×父親の仕事

		調査数	なし	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	無回答
全体		2166	92.5	5.0	0.9	0.4	0.1	0.4	0.0	0.1	0.5
父親の仕事	自営（農林漁業）	57	98.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営（商工サービス業）	265	96.2	3.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	486	96.5	1.6	0.4	0.6	0.2	0.4	0.0	0.2	0.0
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	910	92.3	5.6	1.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0
	公務員	292	84.6	12.0	1.4	1.0	0.0	0.7	0.0	0.3	0.0
	パートタイマー、派遣	36	94.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家内労働	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生、無職、失業中	23	87.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	その他	49	93.9	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
	無回答	45	75.6	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	17.8

父親の育休状況は、「なし」が92.5%と最も高く、次いで「1か月未満」5.0%と続いている。「1か月未満」から「3年以上」を合算すると7.0%である。

父親の仕事別では、「なし」を除き、「1か月未満」から「3年以上」を合算すると、公務員が15.4%と最も高く、次いで学生、無職、失業中の8.7%、正社員（従業員50人以上の会社・団体等）の7.7%と続いている。正社員（従業員50人未満の会社・団体等）3.5%と正社員（従業員50人以上の会社・団体等）7.7%であり、その差は4.2ポイントである。

## 27. 母親の育休状況×母親の仕事

	調査数	なし	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	無回答	
全体	2326	48.0	2.2	2.9	2.6	9.7	13.5	8.5	10.2	2.5	
母親の仕事	自営（農林漁業）	26	61.5	3.8	7.7	0.0	7.7	3.8	0.0	15.4	0.0
	自営（商工サービス業）	131	50.4	6.9	7.6	9.2	6.1	8.4	2.3	8.4	0.8
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	214	36.0	2.8	5.6	4.7	18.7	23.4	4.2	4.2	0.5
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	332	22.0	0.9	2.4	2.7	19.9	27.4	15.7	8.4	0.6
	公務員	190	13.2	1.1	0.5	2.1	8.4	21.6	21.1	32.1	0.0
	パートタイマー、派遣	1025	57.5	2.1	2.9	2.3	7.8	9.6	7.0	9.7	1.1
	家内労働	155	74.2	3.9	1.9	0.6	3.2	3.2	5.2	5.8	1.9
	学生、無職、失業中	107	82.2	0.0	0.0	0.0	0.9	6.5	6.5	2.8	0.9
	その他	91	60.4	2.2	0.0	1.1	7.7	8.8	7.7	12.1	0.0
	無回答	55	21.8	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	5.5	69.1

母親の育休状況は、「なし」が48.0%と最も高く、次いで「1年以上2年未満」13.5%、「3年以上」10.2%と続いている。「1か月未満」から「3年以上」を合算すると49.6%である。

母親の仕事別で、「なし」に絞ると、最も高いのが学生、無職、失業中の82.2%、最も低いのが公務員の13.2%であり、その差は69.0ポイントと大きく差が開いた。

「なし」を除くと、パートタイマー、派遣の「3年以上」が32.1%と最も高く、次いで正社員（従業員50人以上の会社・団体等）の「1年以上2年未満」27.4%、正社員（従業員50人未満の会社・団体等）の「1年以上2年未満」23.4%であり、職業によって制度の利用状況に差が出る結果となっている。

## 28. 母親の仕事（回答別3項目）

### 母親の育休状況×子どもの人数

#### ●母親の仕事（正社員（従業員50人未満の会社・団体等））

の（母親の仕事 会社・社員 ・団体等） （従業員50人未満）		調査数	なし	1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	無回答
全 体		214	36.0	2.8	5.6	4.7	18.7	23.4	4.2	4.2	0.5
子どもの人数	1人	31	48.4	3.2	0.0	3.2	16.1	22.6	0.0	6.5	0.0
	2人	102	33.3	2.0	4.9	6.9	23.5	22.5	3.9	2.0	1.0
	3人	62	37.1	4.8	9.7	1.6	16.1	17.7	6.5	6.5	0.0
	4人	13	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	61.5	7.7	0.0	0.0
	5人	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	6人	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7人	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親の育休状況と子どもの人数の掛け合わせを正社員（従業員50人未満の会社・団体等）として働く方に絞ると、「なし」が36.0%と最も高く、次いで「1年以上2年未満」23.4%、「6か月以上1年未満」18.7%と続いている。

子どもの人数別では、「なし」に絞ると、1人が48.4%と最も高く、次いで3人の37.1%、2人の33.3%と続いている。

「なし」を除くと、4人の「1年以上2年未満」が61.5%と最も高く、次いで2人の「6か月以上1年未満」23.5%、1人の「1年以上2年未満」22.6%、2人の「1年以上2年未満」22.5%と続いている。子どもの人数にかかわらず2年以上の育休を取得した人は大きく減っている。

●母親の仕事（正社員（従業員50人以上の会社・団体等））

の（母 会社正親 ・社員 ・団の 体等事 ）（ 従業員 50 人 以上	調 査 数	な し	1 か 月 未 満	1 か 月 以 上 3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 2 年 未 満	2 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上	無 回 答	
											全 体
全 体	332	22.0	0.9	2.4	2.7	19.9	27.4	15.7	8.4	0.6	
子 ど も の 人 数	1人	57	28.1	1.8	3.5	3.5	29.8	26.3	5.3	1.8	0.0
	2人	184	18.5	0.5	2.2	3.8	17.4	35.3	17.9	3.8	0.5
	3人	81	24.7	0.0	1.2	0.0	21.0	12.3	17.3	22.2	1.2
	4人	10	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0
	5人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親の育休状況と子どもの人数の掛け合わせを正社員（従業員50人以上の会社・団体等）として働く方に絞ると、「1年以上2年未満」が27.4%と最も高く、次いで「なし」22.0%、「6か月以上1年未満」19.9%と続いている。

子どもの人数別では、「なし」に絞ると、4人が30.0%と最も高く、次いで1人の28.1%、3人の24.7%と続いている。

「なし」を除くと、1人では「6か月以上1年未満」29.8%、2人では「1年以上2年未満」35.3%、3人では「3年以上」22.2%、4人では「2年以上3年未満」および「3年以上」が20.0%と最も高い。

正社員（従業員50人未満の会社・団体等）と比べると、2年以上の育休取得の割合が高く、より取得しやすい環境にあるとうかがえる。よって、育児休暇取得の要因は、子どもの人数より会社の整備によるものが大きいと考えられる。

●母親の仕事（公務員）

の（母 会正親 社社 ・員 団の 体等） （従 業 員 5 0 人 以 上	調 査 数	な し	1 か 月 未 満	1 か 月 以 上 3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 年 以 上 2 年 未 満	2 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上	無 回 答	
											全 体
全 体	190	13.2	1.1	0.5	2.1	8.4	21.6	21.1	32.1	0.0	
子 ど も の 人 数	1人	20	25.0	0.0	5.0	0.0	10.0	30.0	25.0	5.0	0.0
	2人	100	14.0	2.0	0.0	3.0	6.0	23.0	27.0	25.0	0.0
	3人	58	10.3	0.0	0.0	1.7	10.3	19.0	8.6	50.0	0.0
	4人	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0
	5人	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	6人	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	7人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親の育休状況と子どもの人数の掛け合わせを公務員として働く方に絞ると、「3年以上」が32.1%と最も高く、次いで「1年以上2年未満」21.6%、「2年以上3年未満」21.1%と続いている。「1年以上2年未満」から「3年以上」を合算すると、74.7%となり、公務員として働く女性の7割以上が育休を1年以上取得していることがうかがえる。

子どもの人数別で、それぞれ割合が最も高かったものは、1人では「1年以上2年未満」30.0%、2人では「2年以上3年未満」27.0%、3人では「3年以上」50.0%となっている。

29. 子どもの人数の希望実現状況

	調 査 数	な っ て い る	な っ て い な い	無 回 答
全 体	2369	80.0	19.5	0.5

子どもの人数の希望実現状況は、「なっている」が80.0%、「なっていない」19.5%である。

### 30. 子どもの人数が希望の人数になっていない理由

	調査数	これから妊娠・出産予定のため	希望しているができないため（不妊のため）	身体的な負担に不安があるため	精神的な負担に不安があるため	経済的な負担に不安があるため	年齢的な不安があるため	健康上の理由があるため	仕事上の理由があるため	住宅事情があるため	看護、介護などの家庭事情があるため	配偶者が家事や育児に協力してくれないため	その他	無回答
全体	462	2.8	17.7	18.8	13.0	53.7	42.9	7.1	16.0	3.2	2.8	10.4	7.1	5.2

子どもの人数が希望の人数になっていない理由は、「経済的な負担に不安があるため」が53.7%と最も高く、次いで「年齢的な不安があるため」42.9%、「身体的な負担に不安があるため」18.8%と続いている。

### 31. 男性の育休取得について×父親の仕事

		調査数	とても期待している	どちらかと言うと期待している	どちらとも言えない	どちらかと言うと期待していない	全く期待していない	無回答
全体		2166	20.9	26.5	29.3	10.7	12.0	0.6
父親の仕事	自営（農林漁業）	57	21.1	22.8	24.6	14.0	14.0	3.5
	自営（商工サービス業）	265	18.9	22.6	29.8	10.9	17.4	0.4
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	486	18.3	28.0	29.6	11.5	12.1	0.4
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	910	22.3	26.5	29.5	10.4	10.9	0.4
	公務員	292	22.3	29.8	29.8	9.2	8.9	0.0
	パートタイマー、派遣	36	25.0	27.8	13.9	16.7	13.9	2.8
	家内労働	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	学生、無職、失業中	23	17.4	34.8	43.5	4.3	0.0	0.0
	その他	49	28.6	14.3	32.7	8.2	14.3	2.0
無回答	45	13.3	28.9	22.2	11.1	22.2	2.2	

男性の育休取得については、「どちらとも言えない」が29.3%と最も高く、次いで「どちらかと言うと期待している」26.5%、「とても期待している」20.9%と続いている。

父親の仕事別では、学生、無職、失業中の「どちらとも言えない」が43.5%と最も高く、次いで学生、無職、失業中の「どちらかと言うと期待している」34.8%と続いている。

### 3 2. 男性の育休取得に期待していない理由×父親の仕事

	調査数	や男性に気がないため	知識・技術がないため	男性が家事・育児のため	男性の職場の制度的に	男性の職場の人員的に	男性の職場の雰囲気的に	収入的に生活が厳しくなるため	その他	無回答
全体	492	31.3	26.8	38.6	38.2	31.9	45.7	7.9	3.3	
父親の仕事	自営（農林漁業）	16	50.0	25.0	25.0	18.8	6.3	25.0	6.3	6.3
	自営（商工サービス業）	75	26.7	22.7	29.3	29.3	14.7	54.7	13.3	4.0
	正社員（従業員50人未満の会社・団体等）	115	23.5	18.3	42.6	40.9	33.0	41.7	6.1	5.2
	正社員（従業員50人以上の会社・団体等）	194	32.5	28.4	37.1	40.2	37.1	46.9	4.1	0.5
	公務員	53	18.9	24.5	30.2	39.6	35.8	13.2	7.5	1.9
	パートタイマー、派遣	11	18.2	9.1	54.5	27.3	18.2	45.5	0.0	0.0
	家内労働	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	学生、無職、失業中	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	11	36.4	18.2	27.3	27.3	0.0	45.5	18.2	9.1
	無回答	15	20.0	33.3	26.7	26.7	6.7	40.0	6.7	6.7

男性の育休取得に期待していない理由は、「収入的に生活が厳しくなるため」が45.7%と最も高く、次いで「男性の職場の制度的に実現が難しいため」38.6%、「男性の職場の人員的に実現が難しいため」38.2%と続いている。

父親の仕事別では、自営（商工サービス業）の「収入的に生活が厳しくなるため」が54.7%と最も高く、次いでパートタイマー、派遣の「男性の職場の制度的に実現が難しいため」54.5%、自営（農林漁業）50.0%と続いている。

### 3 3. 育児の分担状況

	調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体	2369	47.1	32.2	15.8	1.0	1.9	1.0	1.0

育児の分担状況は、「専ら母親がやる」が47.1%と最も高く、次いで「主に母親がやる」32.2%、「父親と母親で半々」15.8%と続いている。

### 34. 家事の分担状況

	調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体	2369	50.0	29.5	14.3	1.0	2.0	1.9	1.3

家事の分担状況は、「専ら母親がやる」が50.0%と最も高く、次いで「主に母親がやる」29.5%、「父親と母親で半々」14.3%と続いている。

### 35. 育児の分担状況×家事の分担状況

(分布表記)

		育児の分担状況							
		全体	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
家事の分担	全体	100.0	1115	763	375	23	45	24	24
	専ら母親がやる	1184	40.0	8.5	1.1	0.0	0.0	0.1	0.1
	主に母親がやる	698	5.7	18.6	4.9	0.0	0.0	0.1	0.1
	父親と母親で半々	339	0.7	4.1	9.2	0.2	0.1	0.0	0.0
	主に父親がやる	24	0.0	0.3	0.3	0.4	0.1	0.0	0.0
	専ら父親がやる	48	0.0	0.0	0.0	0.3	1.6	0.0	0.0
	その他	45	0.3	0.5	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0
	無回答	31	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8

育児の分担状況と家事の分担状況を掛け合わせたところ、育児の分担状況「専ら母親がやる」×家事の分担状況「専ら母親がやる」が40.0%と最も高く、次いで育児の分担状況「主に母親がやる」×家事の分担状況「主に母親がやる」18.6%、育児の分担状況「父親と母親で半々」×家事の分担状況「父親と母親で半々」が9.2%であり、母親が主体となって育児も家事も担っていることがうかがえる。

育児と家事それぞれの「専ら母親がやる」と「主に母親がやる」を合算すると72.8%となり、基本的に母親が担っていることがわかるが、「父親と母親で半々」をみると9.2%であり、約1割が父親も担っていることがうかがえる。

※集計には「父子世帯」「母子世帯」のひとり親家庭も含まれている。

### 36. 父親の育休状況×育児の分担状況

		調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体		2166	44.8	34.3	17.2	1.1	2.0	0.3	0.4
父親の育休状況	なし	2004	46.2	34.0	16.4	0.9	1.8	0.2	0.4
	1か月未満	108	28.7	39.8	25.0	0.9	4.6	0.9	0.0
	1か月以上3か月未満	20	20.0	50.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	3か月以上6か月未満	8	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	6か月以上1年未満	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	8	12.5	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	11	27.3	18.2	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0

父親の育休状況を育児の分担状況別で見ると、「主に母親がやる」×「1か月以上3か月未満」が50.0%と最も高く、次いで「専ら母親がやる」×「なし」が46.2%、「主に母親がやる」×「1か月未満」が39.8%と続いている。

「専ら母親がやる」と「主に母親がやる」を合算すると、「なし」では80.2%、1か月未満では68.5%となり、父親が育児休暇を取得することで母親の担当割合が減っている様子がうかがえる。

### 37. 父親の育休状況×家事の分担状況

		調査数	専ら母親がやる	主に母親がやる	父親と母親で半々	主に父親がやる	専ら父親がやる	その他	無回答
全体		2166	48.6	31.1	15.6	1.1	2.2	0.9	0.6
父親の育休状況	なし	2004	49.7	30.9	15.0	0.8	2.0	0.9	0.6
	1か月未満	108	34.3	35.2	22.2	3.7	3.7	0.9	0.0
	1か月以上3か月未満	20	50.0	15.0	25.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	3か月以上6か月未満	8	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	6か月以上1年未満	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年以上2年未満	8	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0
	2年以上3年未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年以上	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	無回答	11	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0

父親の育休状況を家事の分担状況別で見ると、「専ら母親がやる」×「1か月以上3か月未満」が50.0%と最も高く、次いで「専ら母親がやる」×「なし」49.7%、「主に母親がやる」×「1か月未満」35.2%と続いている。

「専ら母親がやる」と「主に母親がやる」を合算すると、なしでは79.7%、1か月未満では69.5%、1か月以上3か月未満では65.0%となり、母親が主体の家事の割合が減っている様子がうかがえる。

### 38. 配偶者以外からの子育て支援

	調査数	定期的に受けている	ときどき受けている	ほとんど受けていない	全く受けていない	無回答
全体	2369	25.2	31.4	18.7	24.2	0.5

配偶者以外からの子育て支援は、「ときどき受けている」が31.4%と最も高く、次いで「定期的に受けている」25.2%、「全く受けていない」24.2%、「ほとんど受けていない」18.7%と続いている。

### 39. 配偶者以外からの子育て支援の内容

	調査数	子どもの相手、預かり	子どもの送り迎え	食料の支援	家事の支援	金銭的なお祝い（誕生日や進級など）	物資のお祝い（誕生日や進級など）	その他	無回答
全体	1785	57.1	44.9	28.7	21.6	15.2	12.2	1.3	5.9

配偶者以外からの子育て支援の内容は、「子どもの相手、預かり」が57.1%と最も高く、次いで「子どもの送り迎え」44.9%、「食料の支援」28.7%と続いている。

市町村別では、富士河口湖町の「子どもの相手、預かり」が70.9%と最も高く、次いで山梨市の「子どもの相手、預かり」70.1%、大月市の「子どもの相手、預かり」64.3%と続いている。

#### 40. 1か月あたりの食費

	調査数	0円	1円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上4万円未満	4万円以上5万円未満	5万円以上6万円未満	6万円以上7万円未満	7万円以上8万円未満	8万円以上9万円未満	9万円以上10万円未満	10万円以上	無回答
全体	2369	0.0	0.1	0.8	5.1	11.3	18.7	17.1	11.9	10.3	8.2	5.1	10.4	0.8

1か月あたりの食費は、「4万円以上5万円未満」が18.7%と最も高く、次いで「5万円以上6万円未満」17.1%、「6万円以上7万円未満」11.9%、「3万円以上4万円未満」11.3%と続いている。

#### 41. 1か月あたりの食費×世帯人数

	調査数	0円	1円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上4万円未満	4万円以上5万円未満	5万円以上6万円未満	6万円以上7万円未満	7万円以上8万円未満	8万円以上9万円未満	9万円以上10万円未満	10万円以上	無回答	
全体	2369	0.0	0.1	0.8	5.1	11.3	18.7	17.1	11.9	10.3	8.2	5.1	10.4	0.8	
世帯人数	2人	71	0.0	1.4	8.5	21.1	19.7	19.7	14.1	5.6	5.6	0.0	1.4	2.8	0.0
	3人	367	0.0	0.3	1.1	10.4	17.7	25.1	14.4	7.1	8.7	6.3	3.8	3.8	1.4
	4人	1123	0.0	0.1	0.5	4.5	12.6	19.9	18.3	12.7	10.2	8.1	4.4	8.0	0.7
	5人	644	0.0	0.0	0.3	2.3	5.9	15.4	18.0	14.4	11.6	9.3	6.4	16.0	0.3
	6人	109	0.0	0.0	1.8	0.0	3.7	7.3	14.7	11.0	8.3	12.8	11.9	24.8	3.7
	7人	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	13.0	4.3	21.7	4.3	17.4	26.1	0.0
	8人	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	9人	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0
	10人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	15	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	20.0	13.3	0.0	20.0	6.7
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

1か月あたりの食費を世帯人数別で見ると、2人世帯では「2万円以上3万円未満」21.1%、3人世帯では「4万円以上5万円未満」25.1%、4人世帯では「4万円以上5万円未満」19.9%、5人世帯では「5万円以上6万円未満」18.0%、6人世帯では「10万円以上」24.8%、7人世帯では「10万円以上」26.1%がそれぞれのピークとなった。

#### 4 2. 要看護・介護者の有無

	調査数	いる	いない	無回答
全体	2369	12.1	87.0	1.0

要看護・介護者の有無は、「いない」が87.0%、「いる」が12.1%である。

#### 4 3. 子育てのしやすさの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	2.9	2.4	6.3	5.1	20.9	13.2	19.0	21.3	3.5	4.0	1.4	6.1

子育てのしやすさの評価は、「8点」が21.3%と最も高く、次いで「5点」20.9%、「7点」19.0%と続いており、平均点は6.1点である。

#### 4 4. 子育てのしやすさの足りないところ

	調査数	得やすさ	使えるサービス等に関する情報の窓口	子育てに対して気軽に相談できる	子育てを直接的に手助けしてくれる人的サービス	児童等に対する適切な支援	発達障害や医療的ケアなど要配慮の生活の利便性	買い物や通勤・通学などの普段の受診・通院先	公園など、子どもの遊び場	同世代の子どもの預け先	同世代の子どもの遊び場	保育所、放課後児童クラブなど	子どもが望む習い事ができる場（塾やスポーツクラブなど）	同世代の子ども・若者が交流できる場・機会	子育てに対する経済的支援	妊娠するための経済的支援	出産に対する経済的支援	住んでいる地域の治安や安全性	その他	無回答
全体	2241	28.3	12.8	22.2	11.6	40.3	25.7	40.2	10.2	17.0	33.0	12.0	41.0	11.6	13.7	14.5	3.7	3.1		

子育てのしやすさの足りないところは、「子育てに対する経済的支援」が41.0%と最も高く、次いで「買い物や通勤・通学などの普段の生活の利便性」40.3%、「公園など、子どもの遊び場」40.2%と続いている。

#### 4 5. 結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援の評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	5.3	4.3	9.7	8.9	28.1	15.0	14.7	10.0	1.7	1.4	0.9	5.2

結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援の評価は、「5点」が28.1%と最も高く、次いで「6点」15.0%、「7点」14.7%と続いており、平均点は5.2点である。

#### 46. 子ども・子育てについて社会全体から支えられているかの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	4.7	5.0	11.2	9.7	26.1	14.2	13.5	10.8	2.0	1.7	1.1	5.2

子ども・子育てについて社会全体から支えられているかの評価は、「5点」が26.1%と最も高く、次いで「6点」14.2%、「7点」13.5%、「3点」11.2%と続いており、平均点は5.2点である。

#### 47. 子ども・子育てについて社会全体から支えられるために必要なこと

	調査数	行政からの十分な支援が感じられる	困ったときに、すぐに助けが得られる	定期的な気にかけてくれる人や存在が	子どもや子育てについて、周りから非難するようない視線を感じない	子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくて済む	子どもの存在が利用できない	子どもの存在が理由に特典を得られない	その他	無回答
全体	2303	62.3	39.6	19.7	19.1	52.5	8.3	22.4	2.9	2.8

子ども・子育てについて社会全体から支えられるために必要なことは、「行政からの十分な支援が感じられる」が62.3%と最も高く、次いで「子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくて済む」52.5%、「困ったときに、すぐに助けが得られる」39.6%と続いている。

#### 48. 子どもが十分能力を伸ばせる環境かの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	6.1	4.4	10.5	10.3	26.9	15.0	14.1	8.9	1.3	1.5	1.1	5.1

子どもが十分能力を伸ばせる環境かの評価は、「5点」が26.9%と最も高く、次いで「6点」15.0%、「7点」14.1%と続いており、平均点は5.1点である。

#### 49. 子どもが十分能力を伸ばせる環境に必要なこと

	調査数	子どもが思いきり遊べる公園や広場が充実する	子どもが通える塾や習い事が充実する	行われるようになり、サービスクラスが	保育園や幼稚園、認定こども園などより良い	小学校、中学校でより良い教育が行われるようになり	県内の高校でより良い教育が行われるようになる	県内により多くの進学の選択肢が用意される	それにより、合わせた支援が	要配慮児童などについて、増える	地域において子どもが参加できるイベントなどの機会が	その他	無回答
全体	2308	39.6	36.1	17.1	54.5	28.6	40.7	15.6	12.9	3.1	2.1		

子どもが十分能力を伸ばせる環境に必要なことは、「小学校、中学校でより良い教育が行われるようになる」が54.5%と最も高く、次いで「県内により多くの進学の選択肢が用意される」40.7%、「子どもが思いきり遊べる公園や広場が充実する」39.6%、「子どもが通える塾や習い事が充実する」36.1%と続いている。

## 50. 子育ての中で感じる楽しさの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	0.8	0.8	1.7	2.4	13.2	7.9	18.4	24.4	10.3	19.4	0.8	7.4

子育ての中で感じる楽しさの評価は、「8点」が24.4%と最も高く、次いで「10点」19.4%、「7点」18.4%と続いており、平均点は7.4点である。

## 51. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2369	4.1	6.6	12.2	6.8	24.9	11.1	13.1	12.4	2.9	5.0	0.9	5.4

子育ての中で感じる負担・辛さの評価は、「5点」が24.9%と最も高く、次いで「7点」13.1%、「8点」12.4%、「3点」12.2%と続いており、平均点は5.4点である。

市町村別に平均点をみると、小菅村と丹波山村で6.0点と最も高いが、最も低い点数でも山中湖村の5.0点であり、市町村ごとに大きな差は見られない。

## 52. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×多胎児の有無

	調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点	
全体	2369	4.1	6.6	12.2	6.8	24.9	11.1	13.1	12.4	2.9	5.0	0.9	5.4	
多胎児の有無	いる	75	0.0	6.7	17.3	6.7	24.0	6.7	12.0	12.0	6.7	8.0	0.0	5.7
	いない	2289	4.2	6.6	12.1	6.9	24.9	11.3	13.1	12.4	2.7	4.9	1.0	5.4
	無回答	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	6.8

子育ての中で感じる負担・辛さの評価を多胎児の有無別にみると、いないの「5点」が24.9%と最も高く、次いで、いるの「5点」24.0%、いるの「3点」が17.3%と続いており、平均点は「いる」5.7点、「いない」5.4点であり、大きな差はみられなかった。

一方で、10点、9点をつけた割合は「いる」が8.0%、6.7%に対して、「いない」が4.9%、2.7%であり、多胎児がいる場合の方が子育ての中で感じる負担・辛さについて強く感じている割合が高くなっている。

### 5 3. 子育ての中で感じる負担・辛さの評価×要看護・介護者の有無

		調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体		2369	4.1	6.6	12.2	6.8	24.9	11.1	13.1	12.4	2.9	5.0	0.9	5.4
看護・介護者の有無 必要とする方	いる	286	4.5	5.9	12.6	9.8	19.2	11.2	11.9	13.6	3.5	5.9	1.7	5.4
	いない	2060	4.0	6.7	12.2	6.5	25.6	11.1	13.3	12.3	2.8	4.9	0.7	5.4
	無回答	23	4.3	8.7	8.7	0.0	34.8	13.0	8.7	4.3	0.0	4.3	13.0	4.4

子育ての中で感じる負担・辛さの評価を要看護・介護者の有無別にみると、いないの「5点」が25.6%と最も高く、次いでいるの「5点」19.2%、いるの「8点」13.6%、いないの「7点」13.3%と続いており、平均点は「いる」、「いない」共に5.4点である。

### 5 4. 子育ての中で感じる負担・辛さの理由

	調査数	子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある	子育てで出費がかさみ、自分のやりたいことをする余裕がない	自分の自由な時間がとれない	仕事が十分にできない	子どもの看護など理由に急なスケジュール変更が発生する	子どもの生活上の世話をする必要があり	子どもの学業に対する面倒をみる必要がある	子どもの社会生活への適応（不登校や友達づきあいなど）に気を配る必要がある	子育てに関して配偶者の協力が少ない	配偶者と子育てに関して意見が合わない	評価	自分の子育てに対する、まわりの見る目や配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	理解してもらえない	子育てに対する自分の負担や辛さを感じる	子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる	子どもにマルトリートメント（不適切な養育）をしてしまう	その他	無回答
全体	2251	38.6	30.7	42.6	15.5	25.1	7.8	16.0	14.8	9.2	4.8	2.9	4.4	5.9	2.0	0.6	3.5	3.9	

子育ての中で感じる負担・辛さの理由は、「自分の自由な時間がとれない」が42.6%と最も高く、次いで「子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある」38.6%、「子育てで出費がかさみ、自分のやりたいことをする余裕がない」30.7%と続いている。

### 55. 希望時期からの保育園利用状況

	調査数	(希望した時期から利用できた 4月からの利用開始)	(希望した時期から利用できた 4月以外からの利用開始)	利用できなかった	希望して利用を 希望していない	その他	無回答
全体	2369	66.7	14.3	7.3	8.0	1.4	2.3

希望時期からの保育園利用状況は、「希望した時期から利用できた（4月からの利用開始）」が66.7%と最も高く、次いで「希望した時期から利用できた（4月以外からの利用開始）」14.3%、「保育園等の利用を希望していない」8.0%、「希望した時期からは利用できなかった」7.3%である。

### 56. 利用した保育園の希望状況と満足度

	調査数	第1希望に入所できた	第1希望以外 の入所だったが 不満はない	第1希望以外 の入所だった ため不満があつた	その他	無回答
全体	1918	91.7	5.6	1.1	1.1	0.4

利用した保育園の希望状況と満足度は、「第1希望に入所できた」が91.7%と最も高く、次いで「第1希望以外の入所だったが不満はない」5.6%と続いている。

## 57. 第一希望以外への入所についての不満

	調査数	第1希望より送迎に不便	第1希望より受け入れ時間が短い	第1希望より保育の内容が劣る	第1希望より保育に係る経費が高い	その他	無回答
全体	22	50.0	4.5	63.6	0.0	13.6	0.0

第一希望以外への入所についての不満は、「第1希望より保育の内容が劣る」が63.6%と最も高く、次いで「第1希望より送迎に不便」50.0%と続いている。

## 58. レスパイトの利用希望×お住いの市町村

	調査数	ぜひ利用したい	利用したいが実際には利用するかわからない	利用したいと思わない	その他	無回答
全体	2369	7.8	24.8	60.1	2.2	5.0

レスパイトの利用希望は、「利用したいと思わない」が60.1%と最も高く、次いで「利用したいが実際に利用するかわからない」24.8%、「ぜひ利用したい」7.8%である。

## 59. レスパイトの利用希望×末子の年齢

		調査数	ぜひ利用したい	利用したいが実際にかからない	利用したいと思わない	その他	無回答
全 体		2369	7.8	24.8	60.1	2.2	5.0
末子の年齢	0歳	36	19.4	27.8	50.0	0.0	2.8
	1歳	32	12.5	31.3	53.1	3.1	0.0
	2歳	59	6.8	35.6	57.6	0.0	0.0
	3歳	65	9.2	21.5	69.2	0.0	0.0
	4歳	77	13.0	23.4	61.0	1.3	1.3
	5歳	87	11.5	29.9	52.9	4.6	1.1
	6歳	170	11.2	25.9	60.6	1.8	0.6
	7歳	183	8.2	25.7	61.7	2.7	1.6
	8歳	174	9.8	24.1	60.9	2.9	2.3
	9歳	162	6.2	30.9	59.3	0.6	3.1
	10歳	172	5.8	22.1	63.4	4.1	4.7
	11歳	156	4.5	16.0	76.3	1.3	1.9
	12歳	164	8.5	28.0	54.9	2.4	6.1
	13歳	153	3.9	23.5	62.1	3.9	6.5
	14歳	158	5.7	23.4	60.1	1.9	8.9
	15歳	158	7.0	17.7	64.6	1.9	8.9
	16歳	118	5.9	28.0	55.1	3.4	7.6
	17歳	106	8.5	26.4	51.9	1.9	11.3
	18歳以上	120	7.5	25.0	50.8	1.7	15.0
	無回答	19	5.3	26.3	42.1	0.0	26.3

レスパイトの利用希望を末子の年齢別に見ても、どの層でも「利用したいと思わない」の割合が最も高くなっているが、末子の年齢が0歳・1歳の世帯では、それ以外の年齢層に比べて利用を希望する割合が高くなっている。

## 60. レスパイトの利用希望（回答別）

### 父親の18時以降の仕事状況×母親の18時以降の仕事状況

#### ●レスパイトの利用希望（利用したい）

（分布表記）

（おあか取て夜 利答れつるか間 用えばてこら勤 しく利くと）務 ただ用れ）時や い。いた保たにス い育め離パ とサ、れイ 思―夜てト うビ間休（ かスも息子 、が預を育		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない （10%未満）	（あ ま り な い ） （10%以上 40%未満）	（時 々 あ る ） （40%以上 60%未満）	（か な り あ る ） （60%以上 90%未満）	ほぼある （90%以上）	その他	無回答	（該 当 し な い ）
母親の18時以降の仕事	全体	100.0	16	20	26	28	63	0	1	31
	ほぼない（10%未満）	83	4.3	7.0	4.9	5.9	17.8	0.0	0.5	4.3
	あまりない（10%以上40%未満）	26	2.2	2.7	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	2.7
	時々ある（40%以上60%未満）	15	0.0	0.5	2.7	0.5	1.1	0.0	0.0	3.2
	かなりある（60%以上90%未満）	24	0.5	0.0	2.7	3.8	4.9	0.0	0.0	1.1
	ほぼある（90%以上）	18	0.0	0.0	0.5	0.5	6.5	0.0	0.0	2.2
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
（該当しない）	19	1.6	0.5	1.1	2.2	1.6	0.0	0.0	3.2	

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをレスパイトの利用希望（利用したい）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼない（10%未満）」が17.8%と最も高く、次いで父親の「あまりない（10%以上40%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」7.0%、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼある（90%以上）」6.5%と続いている。

●レスパイトの利用希望（利用したいが実際に利用するかわからない）

（分布表記）

夜間勤務やレパイト（子育て） 取らざる（おつかい） つかうか 利用する		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない（10%未満）	あまりない（10%以上40%未満）	時々ある（40%以上60%未満）	かなりある（60%以上90%未満）	ほぼある（90%以上）	その他	無回答	（該当しない）
母親の18時以降の仕事	全体	100.0	58	56	109	105	191	0	2	67
	ほぼない（10%未満）	286	4.9	4.8	9.7	8.8	15.1	0.0	0.2	5.1
	あまりない（10%以上40%未満）	67	1.4	1.7	2.2	1.4	3.6	0.0	0.0	1.2
	時々ある（40%以上60%未満）	72	1.2	1.0	2.7	2.7	3.7	0.0	0.0	0.9
	かなりある（60%以上90%未満）	50	1.4	0.9	1.4	1.9	2.0	0.0	0.0	1.0
	ほぼある（90%以上）	45	0.2	0.7	1.2	1.0	3.4	0.0	0.0	1.2
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答（該当しない）	3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをレスパイトの利用希望（利用したいが実際に利用するかわからない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼない（10%未満）」が15.1%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」9.7%、父親の「かなりある（60%以上90%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」8.8%と続いている。

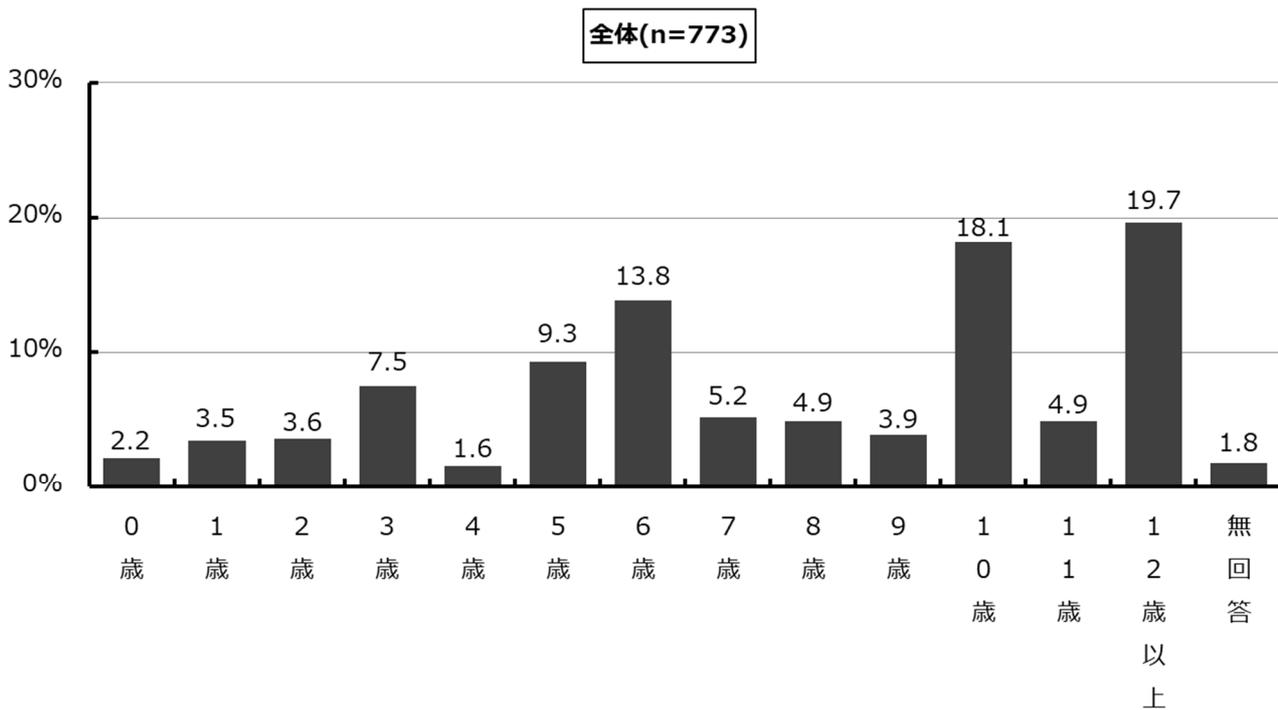
●レスパイトの利用希望（利用したいと思わない）

（分布表記）

（かが預を育 利、あか取て夜 用おれつるか間 し答ばてこら勤 たえ利くと）時や いく用れ）的レ とだしるのにス 思さい保たに離 わいと育め、れイ 。とサ―夜、ト 思―サ―夜、ト うビ間休（へ スも息子		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない （10%未 満）	（あ ま り な い ） （10% 以上 40% 未 満）	（時 々 あ る ） （40% 以上 60% 未 満）	（か な り あ る ） （60% 以上 90% 未 満）	ほ ぼ あ る （ 9 0 % 以 上 ）	そ の 他	無 回 答	（該 当 し な い ）
母 親 の 1 8 時 以 降 の 仕 事	全体	100.0	193	144	251	222	424	0	3	187
	ほぼない（10%未満）	805	9.2	6.3	9.8	9.5	15.3	0.0	0.2	6.2
	あまりない（10%以上40%未満）	100	0.7	1.1	1.5	1.2	2.1	0.0	0.0	0.5
	時々ある（40%以上60%未満）	170	0.8	0.8	2.9	1.8	4.1	0.0	0.0	1.5
	かなりある（60%以上90%未満）	81	0.5	0.6	1.0	1.2	1.5	0.0	0.0	0.9
	ほぼある（90%以上）	81	0.6	0.4	0.4	0.3	3.3	0.0	0.0	0.7
	その他	4	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	183	1.7	0.8	2.0	1.5	3.5	0.0	0.0	3.4	

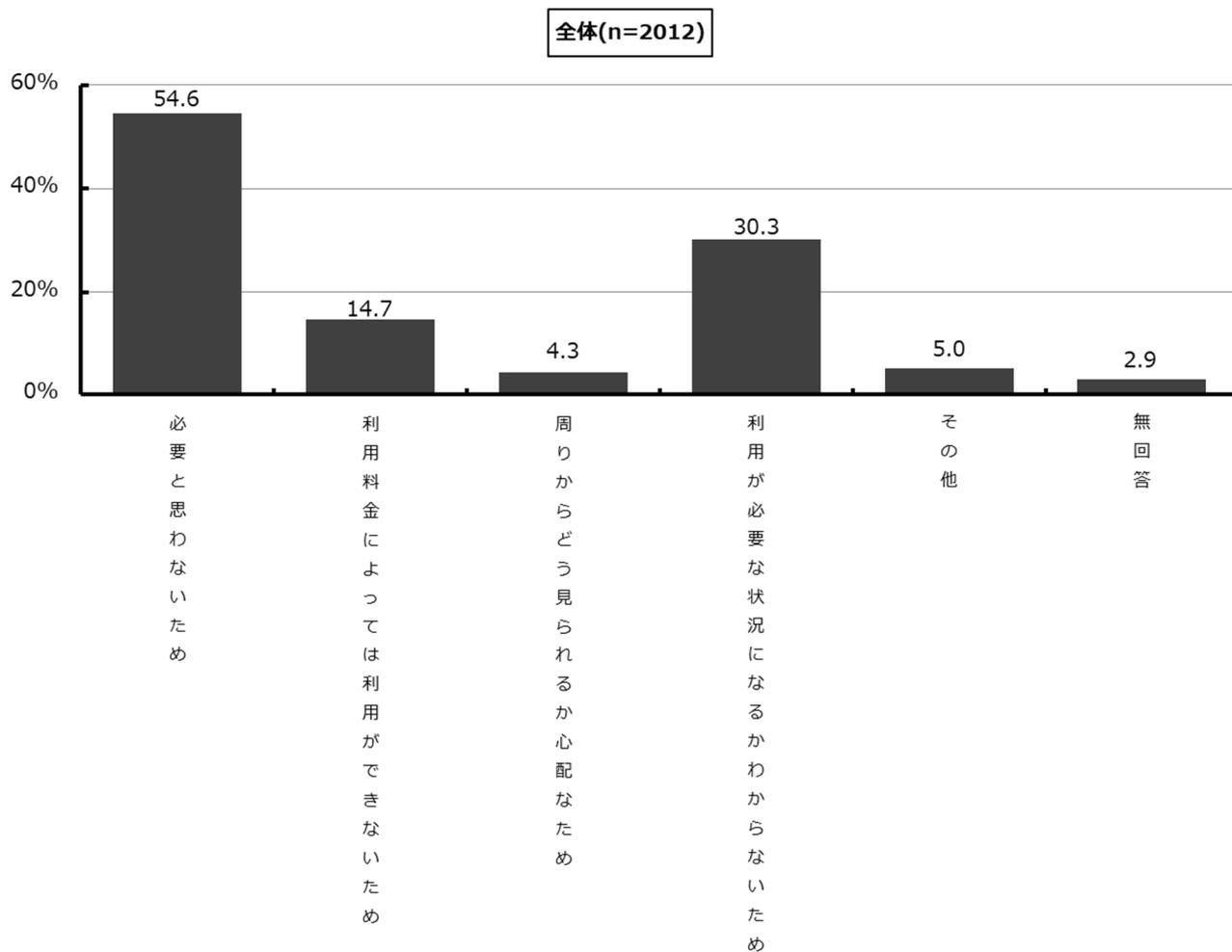
父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをレスパイトの利用希望（利用したいと思わない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」×母親の「ほぼない（10%未満）」が15.3%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」9.8%、父親の「かなりある（60%以上90%未満）」×母親の「ほぼない（10%未満）」9.5%と続いている。

## 6 1. レスパイトの利用希望年齢



レスパイトの利用希望年齢は、「12 歳以上」が 19.7%と最も高く、次いで「10 歳」18.1%、「6 歳」13.8%と続いている。

## 6 2 . レスパイトの利用を希望しない理由



レスパイトの利用を希望しない理由は、「必要と思わないため」が 54.6%と最も高く、次いで「利用が必要な状況になるかわからないため」30.3%、「利用料金によっては利用ができないため」14.7%と続いている。

### 63. ベビーシッターの利用希望

	調査数	（ぜひ利用したい）	わからない（利用するかかわからない）	利用したい（実際に利用したい）	利用したいと思わない	その他	無回答
全体	2369	17.5	27.4	50.5	1.3	3.4	

ベビーシッターの利用希望は、「利用したいと思わない」が50.5%と最も高く、次いで「利用したい（しなかった）が実際に利用するかかわからない」27.4%、「ぜひ利用したい（しなかった）」17.5%と続いている。

### 64. ベビーシッターの利用希望×末子の年齢

	調査数	（ぜひ利用したい）	わからない（実際に利用するかかわからない）	利用したい（実際に利用したい）	利用したいと思わない	その他	無回答
	2369	17.5	27.4	50.5	1.3	3.4	
末子の年齢	0歳	36	33.3	41.7	22.2	2.8	0.0
	1歳	32	25.0	53.1	21.9	0.0	0.0
	2歳	59	20.3	37.3	40.7	0.0	1.7
	3歳	65	23.1	26.2	47.7	1.5	1.5
	4歳	77	18.2	27.3	54.5	0.0	0.0
	5歳	87	20.7	28.7	47.1	2.3	1.1
	6歳	170	19.4	27.1	52.9	0.6	0.0
	7歳	183	24.0	25.1	49.7	1.1	0.0
	8歳	174	17.2	32.2	47.7	1.1	1.7
	9歳	162	11.7	25.9	58.0	1.2	3.1
	10歳	172	19.2	28.5	47.1	2.3	2.9
	11歳	156	12.2	25.6	60.3	0.6	1.3
	12歳	164	20.7	26.2	48.2	1.8	3.0
	13歳	153	15.0	26.8	54.2	0.7	3.3
	14歳	158	15.8	27.8	48.1	1.9	6.3
	15歳	158	17.1	20.9	55.7	0.6	5.7
	16歳	118	13.6	28.0	51.7	2.5	4.2
	17歳	106	13.2	22.6	48.1	2.8	13.2
	18歳以上	120	12.5	24.2	55.8	0.0	7.5
無回答	19	15.8	26.3	31.6	0.0	26.3	

ベビーシッターの利用希望を末子の年齢別で見たところ、2歳以上の年齢においては全体で見たときと同様に「利用したいと思わない」の割合が最も高くなっているが、末子の年齢が0歳・1歳の世帯では、それ以外の年齢層に比べて利用を希望する割合が高くなっている。



●レスパイトの利用希望（利用したい（したかった）が実際に利用するかわからない）

（分布表記）

い（が） （実利 際） に 利 用 す か た わ か ら な い		父親の18時以降の仕事								
		全 体	ほ ぼ な い （ 1 0 % 未 満 ）	あ ま り な い （ 1 0 % 以 上 4 0 % 未 満 ）	時 々 あ る （ 4 0 % 以 上 6 0 % 未 満 ）	か な り あ る （ 6 0 % 以 上 9 0 % 未 満 ）	ほ ぼ あ る （ 9 0 % 以 上 ）	そ の 他	無 回 答	（ 該 当 し な い ）
母 親 の 1 8 時 以 降 の 仕 事	全体	100.0	66	62	107	128	204	0	3	78
	ほぼない（10%未満）	333	6.0	4.8	8.2	10.6	17.7	0.0	0.3	3.7
	あまりない（10%以上40%未満）	68	0.8	1.9	2.0	1.9	3.1	0.0	0.0	0.9
	時々ある（40%以上60%未満）	77	0.8	1.1	3.1	2.3	2.8	0.0	0.0	1.9
	かなりある（60%以上90%未満）	45	0.8	0.8	1.1	1.4	1.7	0.0	0.0	1.2
	ほぼある（90%以上）	40	0.5	0.5	0.5	1.2	2.5	0.0	0.0	1.1
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	2 83	0.0 1.4	0.0 0.6	0.0 1.7	0.3 2.0	0.0 3.7	0.0 0.0	0.0 0.2	0.0 3.2

父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをベビーシッターの利用希望（利用したい（したかった）が実際に利用するかわからない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が17.7%と最も高く、次いで父親の「かなりある（60%以上90%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」10.6%、父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」8.2%と続いている。父親の18時以降の出勤が多い人に偏り、「利用したい」とした分布表と似ている。

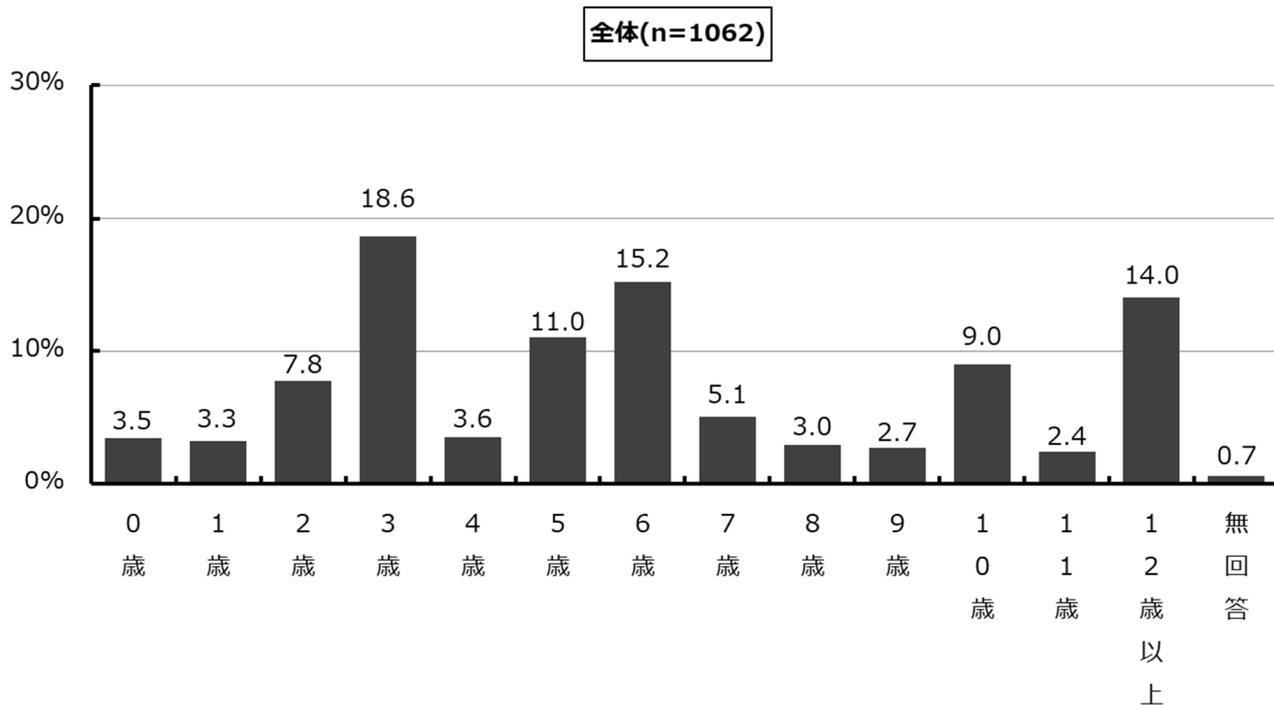
●レスパイトの利用希望（利用したいと思わない）

（分布表記）

（利用したいと思わない） （利用したいと思わない）		父親の18時以降の仕事								
		全体	ほぼない （10%未満）	あまりない （10%以上40%未満）	時々ある （40%以上60%未満）	かなりある （60%以上90%未満）	ほぼある （90%以上）	その他	無回答	（該当しない）
母親の18時以降の仕事	全体	100.0	165	123	221	180	347	0	3	158
	ほぼない（10%未満）	668	9.3	6.5	10.5	8.4	14.4	0.0	0.3	6.4
	あまりない（10%以上40%未満）	90	0.8	0.8	1.3	1.3	2.4	0.0	0.0	0.8
	時々ある（40%以上60%未満）	145	1.0	1.1	3.0	1.7	3.9	0.0	0.0	1.4
	かなりある（60%以上90%未満）	79	0.6	0.7	0.9	1.8	1.7	0.0	0.0	0.9
	ほぼある（90%以上）	76	0.5	0.2	0.7	0.4	3.6	0.0	0.0	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 （該当しない）	3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	136	1.6	0.9	2.0	1.2	3.0	0.0	0.0	2.7	

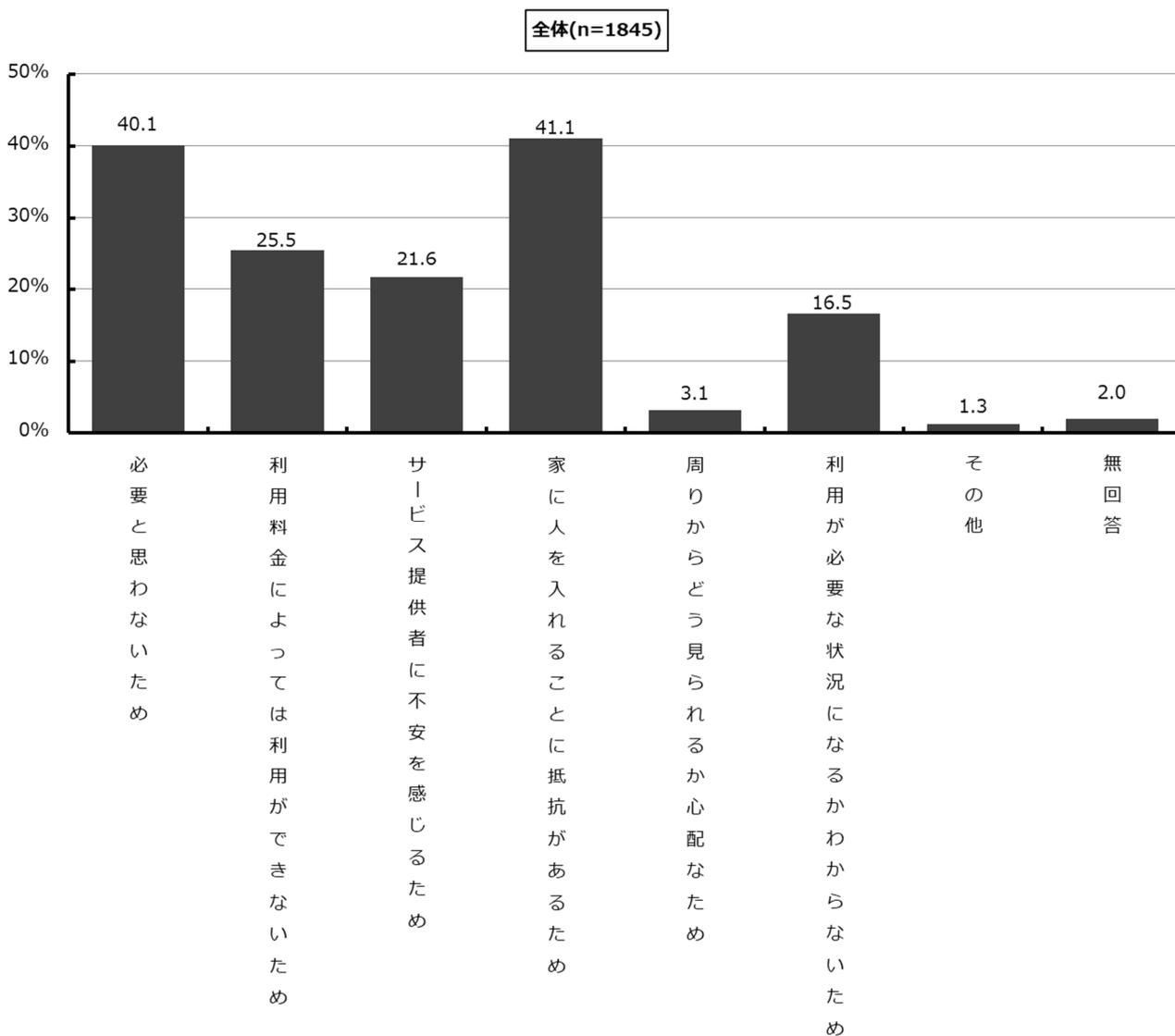
父親と母親の18時以降の出勤状況の掛け合わせをベビーシッターの利用希望（利用したいと思わない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が14.4%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」10.5%、父親の「ほぼない（10%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」9.3%と続いている。「利用したい」「わからない」と比べると、母親の18時以降の出勤が「ほぼない」は同じであるが、「利用したいと思わない」人では父親の18時以降の出勤が「ほぼない」から「ほぼある」まで分散している。レスパイトの希望は、父親の18時以降の出勤状況によりその有無が決まると言える。

## 66. ベビーシッターの利用希望年齢



ベビーシッターの利用希望年齢は、「3歳」が18.6%と最も高く、次いで「6歳」15.2%、「12歳以上」14.0%と続いている。

## 67. ベビーシッターの利用を希望しない理由



ベビーシッターの利用を希望しない理由は、「家に人を入れることに抵抗があるため」が41.1%と最も高く、次いで「必要と思わないため」40.1%、「利用料金によっては利用ができないため」25.5%と続いている。

## 68. 子育てについて気軽に相談できる相手の有無

	調査数	いる	いない	その他	無回答
全体	2369	84.4	13.2	0.5	1.9

子育てについて気軽に相談できる相手の有無は、「いる」が84.4%、「いない」が13.2%である。

## 69. 子育てについて気軽に相談できる相手

	調査数	配偶者	親	友人	保育園・幼稚園の先生	学校の先生	親族	職場の人	医療機関の人	市町村保健師	子育て支援センター等の人	近所の人	その他	無回答
全体	1999	68.4	67.3	66.6	9.6	19.7	21.1	28.2	4.8	2.6	3.7	4.1	1.6	0.1

子育てについて気軽に相談できる相手は、「配偶者」が68.4%と最も高く、次いで「親」67.3%、「友人」66.6%と続いている。

「市町村保健師」は全体的には低い割合となっているが、早川町、南部町、鳴沢村、小菅村、丹波山村では10%を超える割合から気軽に相談できる相手として認識されている。

## 70. 子どもに体験させてきたもの×世帯の年間所得額

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の習い事	定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）	定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）	単発で行う自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）	単発で行う社会体験活動（ボランティア、職業体験など）	単発で行う文化体験活動（旅行、観劇、地域のお祭りなど）	その他	無回答	
全体	2369	77.6	56.7	54.8	39.5	18.9	52.8	0.8	2.8	
世帯の年間所得額	0円	19	47.4	36.8	42.1	15.8	21.1	31.6	5.3	15.8
	1円以上100万円未満	35	65.7	31.4	45.7	28.6	25.7	42.9	2.9	5.7
	100万円以上200万円未満	74	67.6	31.1	41.9	31.1	16.2	39.2	5.4	4.1
	200万円以上300万円未満	96	65.6	42.7	41.7	31.3	19.8	43.8	2.1	4.2
	300万円以上400万円未満	111	65.8	49.5	32.4	30.6	16.2	55.9	0.9	7.2
	400万円以上500万円未満	223	69.1	49.8	51.6	33.6	16.1	48.0	0.4	4.0
	500万円以上600万円未満	316	75.3	48.4	49.7	35.8	15.8	47.5	0.3	4.4
	600万円以上700万円未満	334	75.1	56.9	48.2	40.4	15.3	53.9	0.6	2.4
	700万円以上800万円未満	293	83.6	62.5	54.6	39.9	20.8	56.0	0.0	1.7
	800万円以上900万円未満	228	80.7	53.9	58.8	34.2	16.7	49.6	0.4	0.4
	900万円以上1000万円未満	173	83.2	64.2	65.9	43.4	19.7	62.4	0.6	1.7
	1000万円以上1100万円未満	179	88.8	74.3	69.3	50.3	22.9	55.9	1.1	0.6
	1100万円以上1200万円未満	103	84.5	67.0	73.8	47.6	26.2	56.3	0.0	0.0
	1200万円以上1300万円未満	36	77.8	75.0	80.6	61.1	16.7	66.7	0.0	0.0
	1300万円以上1400万円未満	44	88.6	72.7	68.2	61.4	29.5	56.8	0.0	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	100.0	89.5	73.7	68.4	36.8	84.2	0.0	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	92.9	100.0	85.7	50.0	35.7	78.6	0.0	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	83.3	50.0	83.3	66.7	33.3	83.3	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	100.0	75.0	50.0	75.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	4	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	75.0	0.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
2000万円以上	10	100.0	80.0	100.0	80.0	60.0	60.0	10.0	0.0	
無回答	47	74.5	53.2	46.8	38.3	12.8	46.8	2.1	12.8	

子どもに体験させてきたものは、「定期的なスポーツ、運動系の習い事」が77.6%と最も高く、次いで「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」56.7%、「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」54.8%と続いている。

世帯の年間所得額別では、「1400万円以上1500万円未満」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」と「1500万円以上1600万円未満」の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」が100.0%と最も高く、次いで「1500万円以上1600万円未満」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」92.9%、「1400万円以上1500万円未満」の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」89.5%と続いている。

上位3位の選択肢「定期的なスポーツ、運動系の習い事」「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」の割合の平均値を算出すると、「600万円以上700万円未満」では60.1%、「900万円以上1000万円未満」では71.1%、「1400万円以上1500万円未満」87.7%となり、所得額が上がるにつれて子どもに体験させた経験が増える傾向にある。

## 7 1. 子どもに体験させてきたもの×世帯構成

		調査数	定期的なスポーツ、運動系の 習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、 通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴 など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験 など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭り など)	その他	無回答
全体		2369	77.6	56.7	54.8	39.5	18.9	52.8	0.8	2.8
世帯 構成	父子世帯	33	66.7	24.2	48.5	21.2	9.1	30.3	0.0	9.1
	母子世帯	190	68.9	41.6	47.4	28.9	18.4	43.7	2.1	4.7
	ふたり親世帯	2133	78.5	58.8	55.7	40.9	19.1	54.2	0.7	2.5
	その他	10	70.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0
	無回答	3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

子どもに体験させてきたものを世帯構成別でみると、いずれの世帯も「定期的なスポーツ、運動系の習い事」が最も高く、ふたり親世帯では78.5%である。

上位3位の選択肢「定期的なスポーツ、運動系の習い事」「定期的な文化的な習い事(音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど)」「定期的な学習活動(塾、通信教育、そろばんなど)」の割合の平均値を算出すると、父子世帯では46.5%、母子世帯では52.6%、ふたり親世帯では64.3%となる。

## 72. 子どもに体験させてきたもの×子ども的人数

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭りなど)	その他	無回答	
全体	2369	77.6	56.7	54.8	39.5	18.9	52.8	0.8	2.8	
子ども的人数	1人	337	70.0	54.6	52.8	40.4	18.4	57.3	1.8	4.2
	2人	1193	76.3	57.3	55.7	38.7	18.6	52.1	0.7	3.2
	3人	681	82.7	57.9	55.7	40.4	19.5	52.4	0.7	1.6
	4人	111	82.0	55.9	46.8	38.7	18.9	48.6	0.0	2.7
	5人	27	81.5	40.7	48.1	40.7	22.2	48.1	0.0	0.0
	6人	7	100.0	14.3	57.1	42.9	0.0	42.9	0.0	0.0
	7人	9	77.8	77.8	77.8	44.4	33.3	77.8	0.0	0.0
	8人	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	3	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3

子どもに体験させてきたものについては、子ども的人数により大きな差は見えてこない。

### 73. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯の年間所得額

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	59.3	38.3	2.3
世帯の年間所得額	0円	19	52.6	36.8	10.5
	1円以上100万円未満	35	62.9	28.6	8.6
	100万円以上200万円未満	74	60.8	36.5	2.7
	200万円以上300万円未満	96	63.5	32.3	4.2
	300万円以上400万円未満	111	69.4	27.9	2.7
	400万円以上500万円未満	223	61.4	37.7	0.9
	500万円以上600万円未満	316	62.0	35.8	2.2
	600万円以上700万円未満	334	64.7	33.2	2.1
	700万円以上800万円未満	293	50.5	47.1	2.4
	800万円以上900万円未満	228	62.7	36.0	1.3
	900万円以上1000万円未満	173	59.0	39.9	1.2
	1000万円以上1100万円未満	179	53.6	42.5	3.9
	1100万円以上1200万円未満	103	55.3	43.7	1.0
	1200万円以上1300万円未満	36	52.8	47.2	0.0
	1300万円以上1400万円未満	44	47.7	52.3	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	47.4	52.6	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	64.3	35.7	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	66.7	33.3	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	50.0	50.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	4	50.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	100.0	0.0	0.0	
2000万円以上	10	60.0	40.0	0.0	
無回答	47	48.9	40.4	10.6	

実現が難しいと思っている体験の有無は、「ある」が59.3%、「ない」が38.3%である。

世帯の年間所得額別では、「300万円以上400万円未満」の「ある」が69.4%と最も高く、次いで「600万円以上700万円未満」の「ある」64.7%、「1500万円以上1600万円未満」の「ある」64.3%と続いている。

#### 74. 実現が難しいと思っている体験の有無×世帯構成

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	59.3	38.3	2.3
世帯構成	父子世帯	33	57.6	39.4	3.0
	母子世帯	190	59.5	36.8	3.7
	ふたり親世帯	2133	59.5	38.4	2.1
	その他	10	30.0	50.0	20.0
	無回答	3	66.7	33.3	0.0

実現が難しいと思っている体験の有無を世帯構成別で見ると、いずれの世帯も「ある」が最も高く、ふたり親世帯と母子世帯では59.5%である。

#### 75. 実現が難しいと思っている体験の有無×子どもの人数

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	59.3	38.3	2.3
子どもの人数	1人	337	56.7	41.2	2.1
	2人	1193	58.4	38.9	2.7
	3人	681	61.5	36.9	1.6
	4人	111	64.0	34.2	1.8
	5人	27	63.0	33.3	3.7
	6人	7	57.1	42.9	0.0
	7人	9	66.7	33.3	0.0
	8人	1	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	33.3	33.3	33.3

実現が難しいと思っている体験の有無を子どもの人数別で見ると、4人「ある」が64.0%と最も高く、次いで5人の「ある」63.0%、3人の「ある」と続いている。

76. 実現が難しいと思っている体験の有無（回答別）  
 父親の土日祝日の仕事×母親の土日祝日の仕事

●実現が難しいと思っている体験の有無（ある）

(分布表記)

(ある) が子どもに体験させたいと思う ことがありませうか。		父親の土日祝日の仕事								
		全体	ほぼない (10%未満)	あまりない (10%以上40%未満)	時々ある (40%以上60%未満)	かなりある (60%以上90%未満)	ほぼある (90%以上)	その他	無回答	(該当しない)
母親の 土日祝日の 仕事	全体	100.0	173	140	243	230	433	0	5	182
	ほぼない (10%未満)	722	7.0	5.4	8.7	9.2	15.1	0.0	0.3	5.5
	あまりない (10%以上40%未満)	128	0.8	1.6	1.6	1.6	2.6	0.0	0.0	0.9
	時々ある (40%以上60%未満)	169	1.1	0.8	2.8	1.9	3.9	0.0	0.0	1.4
	かなりある (60%以上90%未満)	113	0.9	0.6	1.6	1.6	2.1	0.0	0.0	1.3
	ほぼある (90%以上)	97	0.7	0.5	0.6	0.6	3.4	0.0	0.0	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答 (該当しない)	4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
	173	1.8	0.9	1.8	1.2	3.7	0.0	0.1	2.8	

父親と母親の土日祝日の出勤状況の掛け合わせを実現が難しいと思っている体験の有無（ある）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が15.1%と最も高く、次いで父親の「かなりある（60%以上90%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」9.2%、父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」8.7%と続いている。母親の土日祝日の出勤状況は「ほぼない」に集中しているが、父親は「時々ある」から「ほぼある」に偏っており、父親の土日祝日の出勤状況に影響される結果となっている。

●実現が難しいと思っている体験の有無（ない）

（分布表記）

（ない） 子どもに体験させたい と思うが、現状が難しい か。		父親の土日祝日の仕事								
		全体	ほぼない （10%未満）	あまりない （10%以上40%未満）	時々ある （40%以上60%未満）	かなりある （60%以上90%未満）	ほぼある （90%以上）	その他	無回答	（該当しない）
母親の 土日祝日の 仕事	全体	100.0	104	91	175	139	273	0	0	126
	ほぼない（10%未満）	498	8.4	6.4	10.7	8.3	15.9	0.0	0.0	5.3
	あまりない（10%以上40%未満）	73	1.1	1.0	2.2	0.8	2.1	0.0	0.0	0.9
	時々ある（40%以上60%未満）	109	0.6	1.3	3.0	2.0	3.3	0.0	0.0	1.9
	かなりある（60%以上90%未満）	57	0.6	0.6	0.9	1.5	1.9	0.0	0.0	0.9
	ほぼある（90%以上）	54	0.1	0.2	0.6	0.4	3.6	0.0	0.0	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	（該当しない）	114	0.8	0.6	2.0	2.0	3.3	0.0	0.0	4.0

父親と母親の土日祝日の出勤状況の掛け合わせを実現が難しいと思っている体験の有無（ない）に絞ると、父親の「ほぼある（90%以上）」に母親の「ほぼない（10%未満）」が15.9%と最も高く、次いで父親の「時々ある（40%以上60%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」10.7%、父親の「ほぼない（10%未満）」に母親の「ほぼない（10%未満）」8.4%と続いている。「あり」と回答した人も「なし」と回答した人も母親の土日祝日の出勤状況は共通して「ほぼない」に集中しているが、「なし」と回答した父親の出勤状況は「あり」と回答したときよりも分散している。このことから、「子どもに体験させたいと思うが実現が難しい」の判断は、父親の土日祝日の仕事の影響を与えているとかがえる。

## 77. 実現が難しいと思っている体験×世帯の年間所得額

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の 習い事	定期的な文化的な習い事 （音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど）	定期的な学習活動（塾、 通信教育、そろばんなど）	単発で行う自然体験活動 （キャンプ、登山、海水浴 など）	単発で行う社会体験活動 （ボランティア、職業体験 など）	単発で行う文化体験活動 （旅行、観劇、地域のお祭り など）	その他	無回答	
全体	1406	38.6	34.1	31.7	31.9	29.9	22.2	5.7	3.4	
世帯の年間所得額	0円	10	40.0	10.0	80.0	40.0	20.0	30.0	0.0	0.0
	1円以上100万円未満	22	27.3	27.3	54.5	27.3	9.1	18.2	4.5	4.5
	100万円以上200万円未満	45	44.4	42.2	40.0	35.6	13.3	28.9	0.0	4.4
	200万円以上300万円未満	61	34.4	39.3	39.3	37.7	37.7	27.9	6.6	6.6
	300万円以上400万円未満	77	39.0	44.2	33.8	28.6	31.2	27.3	7.8	3.9
	400万円以上500万円未満	137	46.7	33.6	32.8	28.5	21.9	22.6	3.6	1.5
	500万円以上600万円未満	196	35.7	37.2	33.7	30.6	27.0	21.4	4.1	4.1
	600万円以上700万円未満	216	40.7	32.4	32.9	26.9	30.1	19.0	4.6	1.9
	700万円以上800万円未満	148	38.5	30.4	25.0	31.8	28.4	20.9	5.4	6.1
	800万円以上900万円未満	143	41.3	37.8	30.8	39.2	35.7	27.3	3.5	2.1
	900万円以上1000万円未満	102	35.3	28.4	26.5	37.3	38.2	20.6	7.8	2.9
	1000万円以上1100万円未満	96	24.0	24.0	22.9	33.3	36.5	21.9	10.4	7.3
	1100万円以上1200万円未満	57	49.1	43.9	31.6	33.3	38.6	21.1	5.3	0.0
	1200万円以上1300万円未満	19	52.6	31.6	21.1	15.8	26.3	15.8	10.5	0.0
	1300万円以上1400万円未満	21	38.1	38.1	33.3	28.6	23.8	14.3	9.5	0.0
	1400万円以上1500万円未満	9	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2	33.3	0.0
	1500万円以上1600万円未満	9	11.1	33.3	22.2	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1
	1600万円以上1700万円未満	4	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	1800万円以上1900万円未満	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2000万円以上	6	50.0	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	
無回答	23	56.5	39.1	39.1	39.1	39.1	26.1	0.0	0.0	

実現が難しいと思っている体験は、「定期的なスポーツ、運動系の習い事」が38.6%と最も高く、次いで「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」34.1%、「単発で行う自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）」31.9%と続いている。

世帯の年間所得額別では、「0円」の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」が80.0%と最も高く、次いで「1円以上100万円未満」の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」54.5%、「1200万円以上1300万円未満」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」52.6%と続いている。

## 78. 実現が難しいと思っている体験×世帯構成

	調査数	定期的なスポーツ、運動系の 習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、 通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴 など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験 など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭り など)	その他	無回答	
全体	1406	38.6	34.1	31.7	31.9	29.9	22.2	5.7	3.4	
世帯構成	父子世帯	19	42.1	47.4	42.1	36.8	31.6	21.1	5.3	5.3
	母子世帯	113	40.7	33.6	45.1	38.9	29.2	30.1	1.8	2.7
	ふたり親世帯	1269	38.4	34.0	30.3	31.1	30.1	21.6	6.1	3.5
	その他	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

実現が難しいと思っている体験を世帯構成別でみると、「父子世帯」の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」が47.4%と最も高く、次いで「母子世帯」の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」45.1%、同率で「父子世帯」の「定期的なスポーツ、運動系の習い事」、「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」が42.1%と続いている。

## 79. 実現が難しいと思っている体験×子どもの人数

	調査数	定期的なスポーツ、 運動系の習い事	定期的な文化的な習い事 (音楽、演芸、語学、習字、 プログラミングなど)	定期的な学習活動(塾、 通信教育、そろばんなど)	単発で行う自然体験活動 (キャンプ、登山、海水浴 など)	単発で行う社会体験活動 (ボランティア、職業体験 など)	単発で行う文化体験活動 (旅行、観劇、地域のお祭り など)	その他	無回答	
全体	1406	38.6	34.1	31.7	31.9	29.9	22.2	5.7	3.4	
子どもの 人数	1人	191	37.2	36.1	30.4	27.7	29.3	18.8	5.8	2.1
	2人	697	39.6	32.1	30.7	32.4	31.0	22.7	5.7	3.6
	3人	419	36.0	33.7	32.7	33.2	27.9	22.0	5.7	3.8
	4人	71	46.5	42.3	35.2	33.8	31.0	23.9	4.2	4.2
	5人	17	41.2	58.8	47.1	11.8	23.5	41.2	0.0	0.0
	6人	4	50.0	75.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	7人	6	33.3	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	33.3	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

子どもに体験させてきたものを子どもの人数別で見ると、5人の「定期的な文化的な習い事（音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど）」が58.8%と最も高く、次いで5人の「定期的な学習活動（塾、通信教育、そろばんなど）」47.1%、4人「定期的なスポーツ、運動系の習い事」46.5%と続いている。

## 80. 実現が難しいと思っている理由×世帯の年間所得額

	調査数	経済的理由	こどもの時間的理由	親の時間的理由	近くにそうした環境がない	その他	無回答
全 体	1406	36.3	8.6	25.1	23.7	4.3	2.1
世帯の年間所得額	0円	10	80.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	1円以上100万円未満	22	63.6	0.0	9.1	18.2	9.1
	100万円以上200万円未満	45	62.2	6.7	11.1	17.8	0.0
	200万円以上300万円未満	61	49.2	3.3	23.0	13.1	8.2
	300万円以上400万円未満	77	49.4	3.9	15.6	26.0	3.9
	400万円以上500万円未満	137	47.4	8.8	19.0	18.2	3.6
	500万円以上600万円未満	196	49.5	6.6	18.4	18.9	4.6
	600万円以上700万円未満	216	34.3	6.0	25.5	26.9	5.1
	700万円以上800万円未満	148	28.4	7.4	30.4	27.7	2.7
	800万円以上900万円未満	143	31.5	12.6	29.4	21.0	4.9
	900万円以上1000万円未満	102	28.4	9.8	35.3	22.5	2.9
	1000万円以上1100万円未満	96	19.8	16.7	29.2	25.0	5.2
	1100万円以上1200万円未満	57	19.3	8.8	33.3	31.6	5.3
	1200万円以上1300万円未満	19	10.5	10.5	47.4	31.6	0.0
	1300万円以上1400万円未満	21	0.0	9.5	23.8	57.1	9.5
	1400万円以上1500万円未満	9	11.1	0.0	55.6	33.3	0.0
	1500万円以上1600万円未満	9	0.0	22.2	22.2	44.4	11.1
	1600万円以上1700万円未満	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
2000万円以上	6	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	
無回答	23	26.1	21.7	21.7	30.4	0.0	

体験の実現が難しいと思っている理由は、「経済的理由」が36.3%と最も高く、次いで「親の時間的理由」25.1%、「近くにそうした環境がない」23.7%と続いている。

世帯所得別では、0円から600万円未満の世帯でおよそ半数が「経済的理由」を挙げており、また700万円以上から1300万円未満の世帯でおよそ3割から4割が「親の時間的理由」を挙げている。

## 8 1. 体験の実現が難しいと思っている理由×お住まいの市町村

	調査数	経済的 理由	こども の時間 的理由	親の 時間 的理由	近く にそ うし た環 境が ない	そ 他	無 回 答	
全 体	1406	36.3	8.6	25.1	23.7	4.3	2.1	
市 町 村	甲府市	252	40.9	11.9	26.6	14.7	4.8	1.2
	富士吉田市	68	42.6	5.9	29.4	20.6	1.5	0.0
	都留市	34	29.4	8.8	17.6	35.3	8.8	0.0
	山梨市	46	45.7	8.7	17.4	19.6	8.7	0.0
	大月市	35	37.1	5.7	20.0	34.3	2.9	0.0
	韮崎市	32	31.3	3.1	31.3	28.1	0.0	6.3
	南アルプス市	139	43.9	5.8	24.5	13.7	6.5	5.8
	北杜市	47	29.8	8.5	19.1	36.2	6.4	0.0
	甲斐市	151	41.1	13.9	27.2	11.3	4.6	2.0
	笛吹市	97	46.4	4.1	25.8	20.6	3.1	0.0
	上野原市	28	28.6	3.6	17.9	46.4	0.0	3.6
	甲州市	43	25.6	11.6	20.9	27.9	7.0	7.0
	中央市	32	43.8	15.6	21.9	9.4	0.0	9.4
	市川三郷町	31	41.9	12.9	25.8	16.1	3.2	0.0
	早川町	11	9.1	0.0	27.3	63.6	0.0	0.0
	身延町	39	17.9	5.1	17.9	56.4	0.0	2.6
	南部町	31	32.3	12.9	16.1	25.8	9.7	3.2
	富士川町	31	32.3	3.2	25.8	29.0	3.2	6.5
	昭和町	39	28.2	15.4	23.1	23.1	10.3	0.0
	道志村	24	12.5	8.3	20.8	54.2	4.2	0.0
	西桂町	24	37.5	0.0	33.3	29.2	0.0	0.0
	忍野村	35	34.3	11.4	20.0	31.4	2.9	0.0
	山中湖村	34	17.6	2.9	38.2	35.3	5.9	0.0
鳴沢村	30	33.3	6.7	30.0	23.3	0.0	6.7	
富士河口湖町	45	28.9	6.7	37.8	24.4	2.2	0.0	
小菅村	15	6.7	0.0	40.0	53.3	0.0	0.0	
丹波山村	10	10.0	0.0	0.0	90.0	0.0	0.0	
無回答	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	

体験の実現が難しいと思っている理由を市町村別で見ると、丹波山村の「近くにそうした環境がない」が90.0%と最も高く、次いで早川町の「近くにそうした環境がない」63.6%、身延町の「近くにそうした環境がない」56.4%、道志村の「近くにそうした環境がない」54.2%と続いている。

## 8 2 . 希望する子供の最終学歴×世帯の年間所得額

	調査数	中学	高校	短大、 専門学校、 高等専門学校	大学	大学院	無回答	
全体	2369	0.4	7.9	14.6	70.5	3.5	3.1	
世帯の 年間所得額	0円	19	0.0	10.5	21.1	57.9	0.0	10.5
	1円以上100万円未満	35	0.0	22.9	22.9	40.0	5.7	8.6
	100万円以上200万円未満	74	1.4	18.9	29.7	43.2	1.4	5.4
	200万円以上300万円未満	96	1.0	14.6	15.6	63.5	1.0	4.2
	300万円以上400万円未満	111	0.9	14.4	15.3	62.2	1.8	5.4
	400万円以上500万円未満	223	1.3	11.2	18.4	67.3	0.9	0.9
	500万円以上600万円未満	316	0.3	7.9	20.3	67.1	1.9	2.5
	600万円以上700万円未満	334	0.0	8.7	16.8	70.4	1.5	2.7
	700万円以上800万円未満	293	0.3	8.5	13.0	72.7	3.1	2.4
	800万円以上900万円未満	228	0.4	4.8	13.6	74.1	4.4	2.6
	900万円以上1000万円未満	173	0.0	2.9	13.3	78.6	3.5	1.7
	1000万円以上1100万円未満	179	0.6	1.7	5.6	77.1	8.9	6.1
	1100万円以上1200万円未満	103	0.0	1.9	10.7	80.6	4.9	1.9
	1200万円以上1300万円未満	36	0.0	0.0	0.0	97.2	0.0	2.8
	1300万円以上1400万円未満	44	0.0	4.5	4.5	77.3	13.6	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	0.0	5.3	0.0	89.5	5.3	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
1800万円以上1900万円未満	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
2000万円以上	10	0.0	0.0	0.0	70.0	30.0	0.0	
無回答	47	0.0	12.8	10.6	61.7	4.3	10.6	

希望する子供の最終学歴は、「大学」が70.5%と最も高く、次いで「短大、専門学校、高等専門学校」14.6%、「高校」7.9%と続いている。

世帯の年間所得額別では、どの所得額でも「大学」が最も高いが、世帯の年間所得額が下がるにつれて「短大、専門学校、高等専門学校」や「高校」とする割合も増えている。

### 83. 希望する子供の最終学歴×子どもの人数

		調査数	中学	高校	短大、 専門学校、 高等専門学校	大学	大学院	無回答
全 体		2369	0.4	7.9	14.6	70.5	3.5	3.1
子 ど も の 人 数	1人	337	0.9	7.7	17.5	67.4	3.9	2.7
	2人	1193	0.4	7.1	13.6	71.4	4.2	3.3
	3人	681	0.1	7.6	14.0	73.6	2.3	2.3
	4人	111	0.9	15.3	20.7	55.0	2.7	5.4
	5人	27	0.0	22.2	25.9	48.1	0.0	3.7
	6人	7	0.0	28.6	0.0	71.4	0.0	0.0
	7人	9	0.0	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0
	8人	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3

希望する子供の最終学歴を子どもの人数別で見ると、どの人数においても「大学」が最も高いが、子どもの人数が4人になると、希望する子どもの学歴を「高校」とする割合が大きく増えている。

#### 84. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×世帯の年間所得額

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	76.5	20.6	3.0
世帯の年間所得額	0円	19	68.4	21.1	10.5
	1円以上100万円未満	35	60.0	31.4	8.6
	100万円以上200万円未満	74	75.7	20.3	4.1
	200万円以上300万円未満	96	76.0	18.8	5.2
	300万円以上400万円未満	111	81.1	14.4	4.5
	400万円以上500万円未満	223	75.8	23.3	0.9
	500万円以上600万円未満	316	79.7	17.7	2.5
	600万円以上700万円未満	334	80.5	17.1	2.4
	700万円以上800万円未満	293	74.1	22.5	3.4
	800万円以上900万円未満	228	84.2	14.5	1.3
	900万円以上1000万円未満	173	79.2	19.1	1.7
	1000万円以上1100万円未満	179	72.1	22.9	5.0
	1100万円以上1200万円未満	103	67.0	31.1	1.9
	1200万円以上1300万円未満	36	83.3	16.7	0.0
	1300万円以上1400万円未満	44	65.9	34.1	0.0
	1400万円以上1500万円未満	19	63.2	36.8	0.0
	1500万円以上1600万円未満	14	50.0	50.0	0.0
	1600万円以上1700万円未満	6	50.0	50.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	4	75.0	25.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	4	50.0	50.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	1	0.0	100.0	0.0	
2000万円以上	10	70.0	30.0	0.0	
無回答	47	68.1	17.0	14.9	

子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無は、「ある」が76.5%、「ない」が20.6%である。世帯の年間所得額別では、「800万円以上900万円未満」の「ある」が84.2%と最も高く、次いで「1200万円以上1300万円未満」の「ある」83.3%、「300万円以上400万円未満」の「ある」81.1%と続いている。

### 85. 子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無×子どもの人数

		調査数	ある	ない	無回答
全 体		2369	76.5	20.6	3.0
子 ど も の 人 数	1人	337	70.0	27.6	2.4
	2人	1193	76.3	20.5	3.3
	3人	681	80.3	17.5	2.2
	4人	111	74.8	20.7	4.5
	5人	27	85.2	11.1	3.7
	6人	7	71.4	28.6	0.0
	7人	9	77.8	22.2	0.0
	8人	1	0.0	0.0	100.0
	無回答	3	33.3	33.3	33.3

子供の希望最終学歴を実現するための課題の有無を子どもの人数別で見ると、どの人数においても「ある」が高く、その中でも、5人の「ある」が85.2%と最も高く、次いで3人の「ある」80.3%、2人の「ある」76.3%と続いている。

## 86. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×世帯の年間所得額

	調査数	受験もしくは入学資金	学費	就学中の生活費	入学するための学力	その他	無回答	
全体	1812	53.0	80.6	52.0	51.3	2.2	0.4	
世帯の年間所得額	0円	13	76.9	84.6	38.5	38.5	0.0	0.0
	1円以上100万円未満	21	57.1	81.0	57.1	47.6	9.5	0.0
	100万円以上200万円未満	56	67.9	87.5	57.1	55.4	1.8	0.0
	200万円以上300万円未満	73	67.1	87.7	58.9	52.1	4.1	0.0
	300万円以上400万円未満	90	63.3	86.7	50.0	41.1	4.4	0.0
	400万円以上500万円未満	169	57.4	85.8	59.8	47.3	2.4	0.6
	500万円以上600万円未満	252	59.1	81.7	51.2	50.4	0.8	0.4
	600万円以上700万円未満	269	56.1	85.5	62.1	49.1	1.5	0.7
	700万円以上800万円未満	217	54.4	83.4	52.1	47.5	2.3	0.5
	800万円以上900万円未満	192	49.5	81.3	49.0	49.5	1.6	0.5
	900万円以上1000万円未満	137	44.5	80.3	44.5	54.0	0.0	0.0
	1000万円以上1100万円未満	129	38.0	69.8	45.7	60.5	3.9	0.0
	1100万円以上1200万円未満	69	42.0	60.9	42.0	66.7	4.3	0.0
	1200万円以上1300万円未満	30	40.0	66.7	36.7	63.3	0.0	0.0
	1300万円以上1400万円未満	29	34.5	65.5	51.7	75.9	0.0	0.0
	1400万円以上1500万円未満	12	33.3	58.3	25.0	41.7	8.3	8.3
	1500万円以上1600万円未満	7	14.3	42.9	28.6	71.4	0.0	14.3
	1600万円以上1700万円未満	3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	1700万円以上1800万円未満	3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	1800万円以上1900万円未満	2	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
1900万円以上2000万円未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2000万円以上	7	28.6	42.9	42.9	71.4	28.6	0.0	
無回答	32	43.8	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	

子供の希望最終学歴を実現するための課題は、「学費」が80.6%と最も高く、次いで「受験もしくは入学資金」53.0%、「就学中の生活費」52.0%、「入学するための学力」51.3%である。

世帯の年間所得額別では、「学費」が上位を占めており、その中でも、「200万円以上300万円未満」が87.7%と最も高く、次いで「100万円以上200万円未満」87.5%、「300万円以上400万円未満」86.7%と続いている。

## 87. 子供の希望最終学歴を実現するための課題×子ども的人数

	調査数	受験もしくは入学資金	学費	就学中の生活費	入学するための学力	その他	無回答	
全体	1812	53.0	80.6	52.0	51.3	2.2	0.4	
子ども的人数	1人	236	46.6	75.0	44.5	52.1	3.8	1.7
	2人	910	51.4	79.3	51.0	53.3	2.0	0.3
	3人	547	55.2	83.7	55.2	48.3	1.6	0.0
	4人	83	65.1	85.5	56.6	45.8	2.4	1.2
	5人	23	82.6	95.7	73.9	60.9	0.0	0.0
	6人	5	20.0	60.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	7人	7	71.4	100.0	71.4	57.1	14.3	0.0
	8人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

子供の希望最終学歴を実現するための課題を子ども的人数別でみると、5人の「学費」が95.7%と最も高く、次いで4人の「学費」85.5%、3人の「学費」83.7%と続いている。

## 88. 知っている公的支援制度

調査数	2369
就学援助制度	58.5
高等学校等奨学給付金	51.6
高等学校等入学準備サポート	25.7
生活保護	71.6
生活福祉資金貸付金	10.1
母子父子寡婦福祉資金貸付金	15.6
スクールソーシャルワーカー活用事業	8.7
放課後子ども教室	26.1
放課後児童クラブ	72.1
地域子育て支援拠点	11.4
一時預かり	28.4
ファミリーサポートセンター	44.3
産前産後ケアセンター	45.5
ひとり親家庭等日常生活支援事業	13.8
ひとり親家庭医療費助成事業	25.9
母子父子家庭自立支援給付金	10.7
ひとり親家庭高等職業訓練	6.4
母子家庭等就業・	5.6
チャレンジマザー就職支援	2.1
自立支援員によるひとり親	3.8
自立相談支援事業	5.5
その他	0.4
無回答	5.2

知っている公的支援制度は、「放課後児童クラブ」が72.1%と最も高く、次いで「生活保護」71.6%、「就学援助制度」58.5%と続いている。

## 89. 使ったことのある公的支援制度

就学援助制度	9.5
高等学校等奨学給付金	11.3
高等学校等入学準備サポート	3.0
生活保護	0.8
生活福祉資金貸付金	0.6
母子父子寡婦福祉資金貸付金	0.3
スクールソーシャルワーカー活用事業	1.0
放課後子ども教室	4.3
放課後児童クラブ	38.4
地域子育て支援拠点	2.9
一時預かり	5.1
ファミリーサポートセンター	6.4
産前産後ケアセンター	1.4
ひとり親家庭等日常生活支援事業	0.7
ひとり親家庭医療費助成事業	5.3
母子父子家庭自立支援給付金	0.5
ひとり親家庭高等職業訓練	0.5
母子家庭等就業・	0.3
チャレンジマザー就職支援	0.2
自立支援員によるひとり親	0.3
自立相談支援事業	0.4
その他	0.7
無回答	41.5

使ったことのある公的支援制度は、「放課後児童クラブ」が38.4%と最も高く、次いで「高等学校等奨学給付金」11.3%、「就学援助制度」9.5%と続いている。

## 90. 使ったことのある公的支援制度の満足度

	調査数	に全 満 足 し た	サ ー ビ ス が あ る	に全 不 満 を 感 じ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1387	68.9	22.7	1.7	1.9	4.8

使ったことのある公的支援制度の満足度は、「全てのサービスに満足した」が68.9%と最も高く、次いで「不満を感じたサービスがある」22.7%と続いている。

## 91. 不満を感じた公的支援制度

調査数	339
就学援助制度	9.7
高等学校等奨学給付金	10.0
高等学校等入学準備サポート	3.5
生活保護	3.5
生活福祉資金貸付金	1.2
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.2
スクールソーシャルワーカー活用事業	1.5
放課後子ども教室	2.4
放課後児童クラブ	61.4
地域子育て支援拠点	1.2
一時預かり	7.1
ファミリーサポートセンター	9.7
産前産後ケアセンター	0.3
ひとり親家庭等日常生活支援事業	0.9
ひとり親家庭医療費助成事業	4.4
母子父子家庭自立支援給付金	1.2
ひとり親家庭高等職業訓練	0.6
母子家庭等就業・	0.6
チャレンジマザー就職支援	0.3
自立支援員によるひとり親	0.3
自立相談支援事業	0.6
その他	0.3
無回答	3.2

不満を感じた公的支援制度は、「放課後児童クラブ」が61.4%と最も高く、次いで「高等学校等奨学給付金」10.0%、「就学援助制度」、「ファミリーサポートセンター」が同率で9.7%と続いている。

市町村別では、「放課後児童クラブ」が上位を占めており、その中でも、南アルプス市の78.4%が最も高く、次いで北杜市の75.0%、甲州市の70.0%続いている。

以上



**【お子様用】**  
**山梨県子ども計画策定に係るアンケート調査**  
**報告書**

株式会社ベルキャリアール

令和6年3月8日



## 目次

I. 調査概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 回収結果	3
II. 回答者属性	4
F-1 年齢	4
F-2 性別	4
F-3 市町村	5
III. 調査結果	6
1. 一緒に住んでいる家族	6
2. 兄弟姉妹の人数	6
3. 自身の普段の健康状態	7
4. 現在の暮らし向き(衣食住・レジャー等の物質的な生活基準)	8
5. 自身のやりたいこと(勉強、習い事、体験など)が十分に実現可能な環境か	9
6. 住んでいる地域の生活のしやすさ	10
7. 住んでいる地域が安全・安心とを感じるか	12
8. 大人から「考えを押し付けられている」と感じるか	14
9. 日常生活が楽しいと感じているか	16
10. 大人になることについて	18
11. 将来のやりたい仕事は決まっているか	20
12. 現在の生活に対する満足度	22

# I. 調査概要

## 1. 調査目的

令和5年4月1日から施行された「こども基本法」に基づき山梨県子ども計画を策定するにあたり、県内の子育て世帯が抱える困りごとや希望する支援策を把握し、今後の子育て支援策を展開するための調査を行う。

## 2. 調査設計

- (1) 調査地域 山梨県全域(全27市町村対象)
- (2) 調査対象 山梨県在住の6歳以上(小学生以上)18歳以下の男女  
(令和5年12月1日時点)
- (3) 標本数 4,173人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査(インターネット回答)
- (6) 調査期間 令和5年12月25日(月)～令和6年1月15日(月)

## 3. 回収結果

- |           |         |          |
|-----------|---------|----------|
| (1) 発送数   | 4,173人* | (100.0%) |
| (2) 回収数   | 1,970人  | (47.2%)  |
| (3) 有効回答数 | 1,968人  | (47.2%)  |

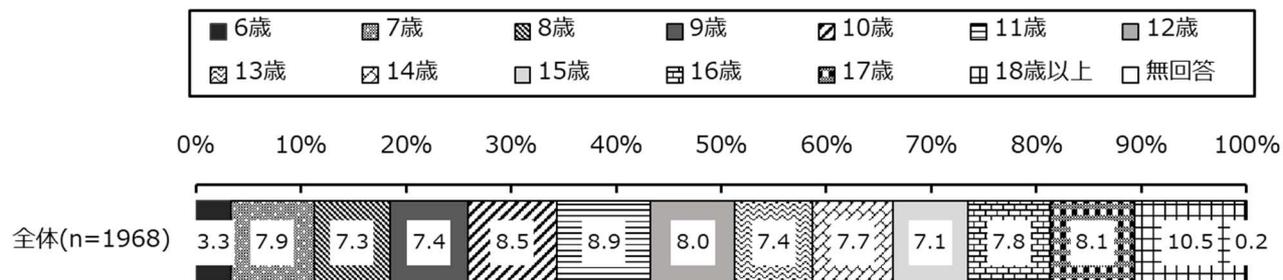
※対象外である6歳未満の男女を外したため、4,500人より327人少ない4,173人となっている。

(報告書を読む際の注意事項)

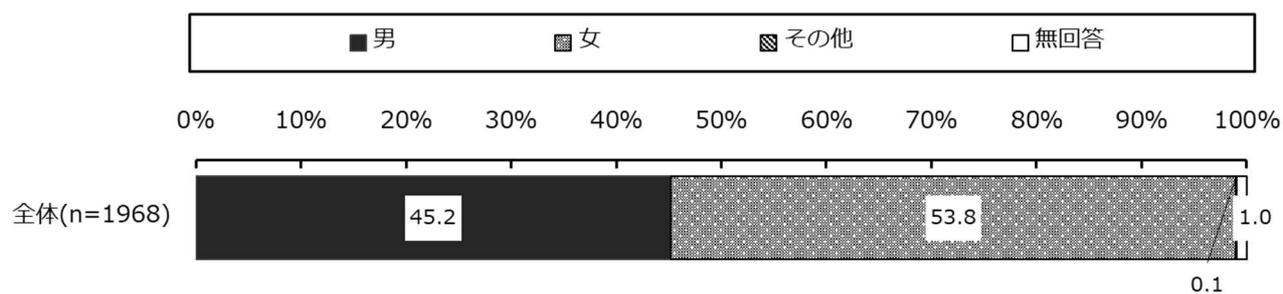
- ・結果は百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入している。このため百分率の合計が100%にならないことがある。
- ・数値やグラフ中の「n」は回答者総数を示し、回答比率はこれを100%として算出している。
- ・複数回答をしてもよい設問では、百分率の合計が100%を超える場合がある。
- ・回答数が10件未満の場合は参考値とする。

## Ⅱ. 回答者属性

### F-1 年齢



### F-2 性別

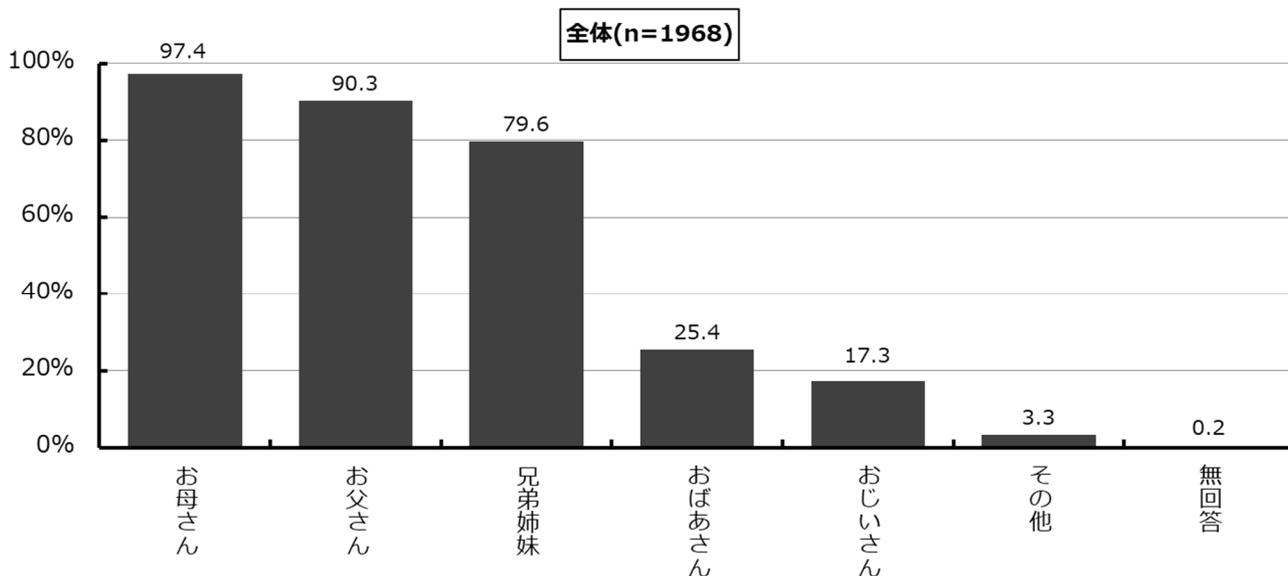


### F-3 市町村

	発送数		回収数		有効回答数	
	実数	構成比	実数	回収率	実数	構成比
甲府市	770	18.5%	375	9.0%	375	19.1%
富士吉田市	207	5.0%	99	2.4%	99	5.0%
都留市	132	3.2%	59	1.4%	59	3.0%
山梨市	126	3.0%	65	1.6%	65	3.3%
大月市	99	2.4%	38	0.9%	38	1.9%
韭崎市	117	2.8%	48	1.2%	48	2.4%
南アルプス市	341	8.2%	189	4.5%	189	9.6%
北杜市	156	3.7%	69	1.7%	69	3.5%
甲斐市	373	8.9%	192	4.6%	192	9.8%
笛吹市	284	6.8%	136	3.3%	136	6.9%
上野原市	96	2.3%	38	0.9%	38	1.9%
甲州市	116	2.8%	47	1.1%	47	2.4%
中央市	135	3.2%	53	1.3%	53	2.7%
市川三郷町	101	2.4%	41	1.0%	41	2.1%
早川町	57	1.4%	25	0.6%	25	1.3%
身延町	100	2.4%	54	1.3%	54	2.7%
南部町	98	2.3%	43	1.0%	43	2.2%
富士川町	102	2.4%	44	1.1%	44	2.2%
昭和町	115	2.8%	54	1.3%	54	2.7%
道志村	92	2.2%	28	0.7%	28	1.4%
西桂町	97	2.3%	38	0.9%	38	1.9%
忍野村	90	2.2%	50	1.2%	50	2.5%
山中湖村	92	2.2%	46	1.1%	46	2.3%
鳴沢村	99	2.4%	50	1.2%	50	2.5%
富士河口湖町	105	2.5%	56	1.3%	56	2.8%
小菅村	47	1.1%	24	0.6%	24	1.2%
丹波山村	26	0.6%	6	0.1%	6	0.3%
無回答	-	-	3	0.1%	1	0.1%
合計	4,173	100.0%	1,970	47.2%	1,968	100.0%

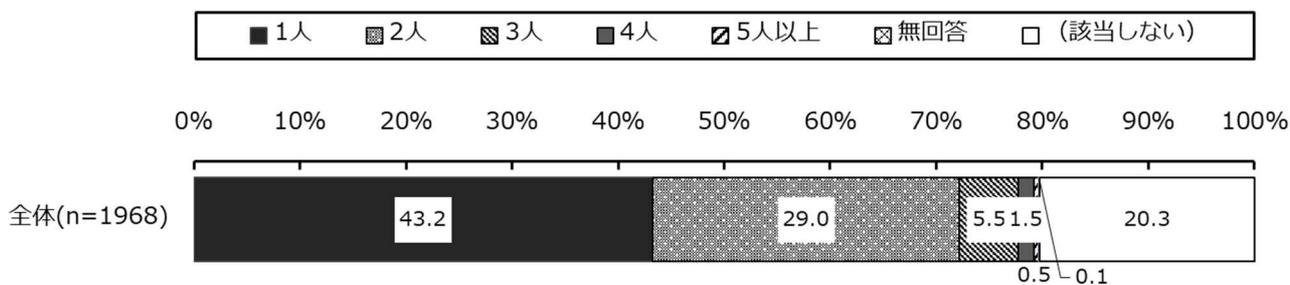
### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 一緒に住んでいる家族



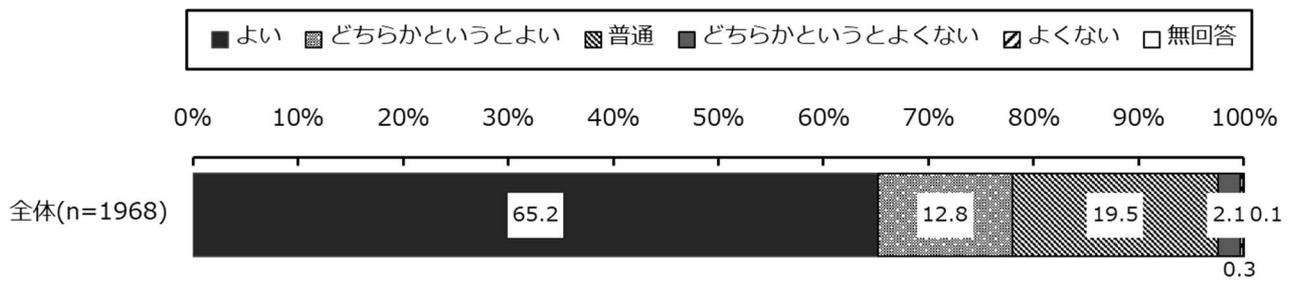
一緒に住んでいる家族は、「お母さん」が 97.4%と最も高く、次いで「お父さん」90.3%、「兄弟姉妹」79.6%と続いている。

#### 2. 兄弟姉妹の人数



兄弟姉妹の人数は、「1人」が 43.2%と最も高く、次いで「2人」29.0%と続いている。

### 3. 自身の普段の健康状態



自信の普段の健康状態は、「よい」が65.2%と最も高く、次いで「普通」19.5%、「どちらかというといよい」12.8%と続いている。

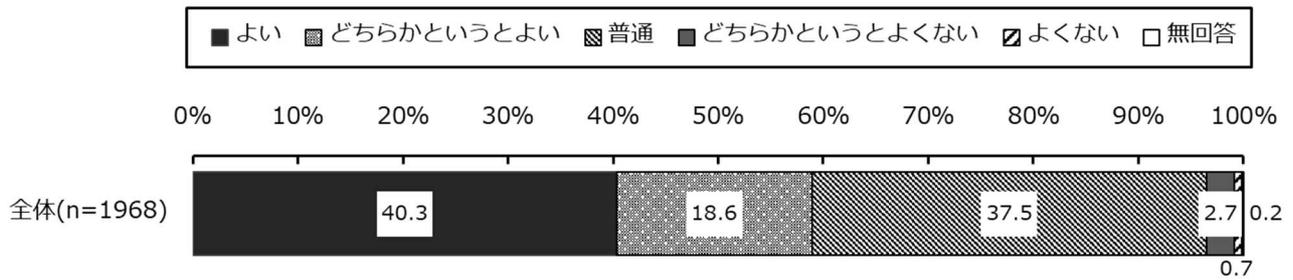
#### 【性別・年齢別】

		調査数	よい	どちらかというといよい	普通	どちらかというといよくない	よくない	無回答
全体		1968	65.2	12.8	19.5	2.1	0.3	0.1
性別	男	889	64.7	13.0	19.9	1.9	0.3	0.1
	女	1059	65.7	12.8	18.9	2.3	0.2	0.1
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	63.2	0.0	31.6	5.3	0.0	0.0
年齢	6歳	65	81.5	4.6	13.8	0.0	0.0	0.0
	7歳	156	78.8	8.3	11.5	0.6	0.6	0.0
	8歳	143	75.5	10.5	12.6	1.4	0.0	0.0
	9歳	145	71.0	11.7	15.9	1.4	0.0	0.0
	10歳	167	64.1	15.0	18.6	1.8	0.0	0.6
	11歳	176	64.2	12.5	22.2	0.6	0.6	0.0
	12歳	158	69.0	12.7	17.7	0.6	0.0	0.0
	13歳	145	64.1	12.4	21.4	0.7	1.4	0.0
	14歳	151	57.6	11.3	25.2	6.0	0.0	0.0
	15歳	140	62.1	15.0	20.7	2.1	0.0	0.0
	16歳	154	52.6	18.8	24.0	3.9	0.0	0.6
	17歳	159	58.5	11.9	25.2	4.4	0.0	0.0
	18歳	206	60.7	16.0	19.9	2.9	0.5	0.0
無回答	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	

性別では、男女ともに6割以上が「よい」と答えた。

年齢別では、6歳の「よい」が81.5%と最も高く、次いで7歳が78.8%、8歳が75.5%、9歳が71.0%と続いている。一方で、16歳の「よい」は52.6%と最も低く、6歳と比べると28.9ポイント差が開いた。

#### 4. 現在の暮らし向き(衣食住・レジャー等の物質的な生活基準)



暮らし向き(衣食住、レジャーなどの物質的な生活基準)については、「よい」が40.3%と最も高く、「普通」37.5%、「どちらかというといよい」18.6%と続いた。

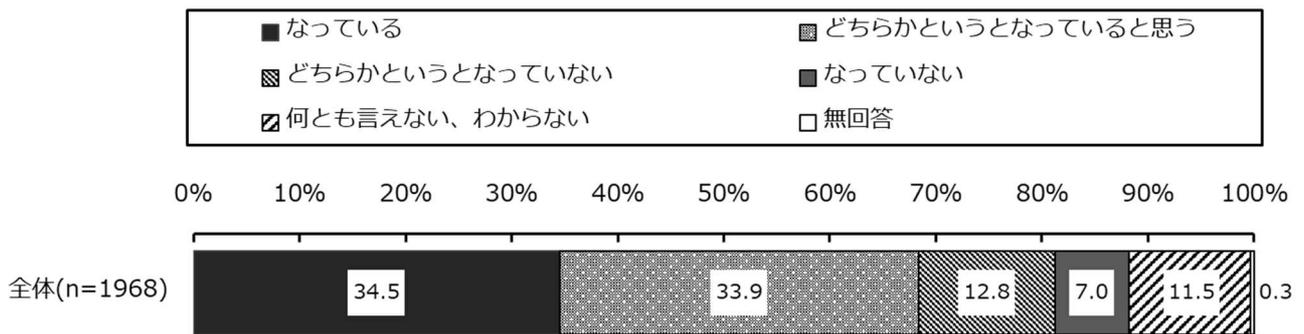
#### 【性別・年齢別】

		調査数	よい	どちらかというといよい	普通	どちらかというとよくない	よくない	無回答
全 体		1968	40.3	18.6	37.5	2.7	0.7	0.2
性別	男	889	38.0	18.2	39.3	3.4	0.9	0.2
	女	1059	42.4	18.9	35.9	2.2	0.5	0.2
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	31.6	21.1	47.4	0.0	0.0	0.0
年齢	6歳	65	30.8	24.6	44.6	0.0	0.0	0.0
	7歳	156	41.7	23.1	32.7	2.6	0.0	0.0
	8歳	143	45.5	19.6	31.5	3.5	0.0	0.0
	9歳	145	35.9	23.4	37.9	2.1	0.7	0.0
	10歳	167	45.5	11.4	38.9	3.0	1.2	0.0
	11歳	176	36.4	18.8	43.2	1.7	0.0	0.0
	12歳	158	46.8	15.8	33.5	1.9	1.3	0.6
	13歳	145	41.4	19.3	37.2	1.4	0.7	0.0
	14歳	151	38.4	15.9	41.1	4.0	0.7	0.0
	15歳	140	42.9	17.9	37.9	1.4	0.0	0.0
	16歳	154	33.1	22.7	40.3	3.2	0.6	0.0
	17歳	159	40.9	18.2	36.5	3.8	0.6	0.0
	18歳	206	40.8	16.5	35.0	4.4	1.9	1.5
	無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

性別では、「よい」と「どちらかというといよい」を合算すると、男性56.2%、女性61.3%となり、女性の方が5.1ポイント満足度の高い結果となった。

年齢別では、12歳の「よい」が46.8%と最も高く、次いで8歳と10歳の45.5%と続いている。「よい」と「どちらかというといよい」を合算するとすべての年齢で半数を超えるが、最も高い割合となったのは8歳の65.0%である。

## 5. 自身のやりたいこと(勉強、習い事、体験など)が十分に実現可能な環境か



自身のやりたいこと(勉強、習い事、体験など)が十分に実現可能な環境かは、「なっている」が34.5%と最も高く、次いで「どちらかというとなっていると思う」33.9%、「どちらかというとなっていない」12.8%と続いている。

### 【性別・年齢別】

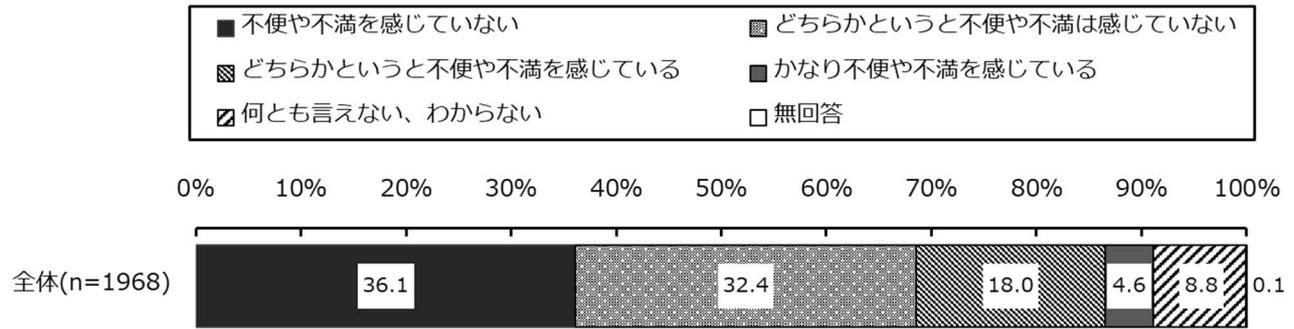
		調査数	なっている	どちらかというとなっていると思う	どちらかというとなっていない	なっていない	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	34.5	33.9	12.8	7.0	11.5	0.3
性別	男	889	34.1	35.1	12.5	6.9	11.4	0.1
	女	1059	35.2	32.6	13.1	7.1	11.5	0.5
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	15.8	47.4	10.5	5.3	21.1	0.0
年齢	6歳	65	20.0	41.5	15.4	3.1	20.0	0.0
	7歳	156	25.6	41.7	10.3	8.3	14.1	0.0
	8歳	143	41.3	32.9	13.3	3.5	9.1	0.0
	9歳	145	40.0	37.2	11.0	3.4	8.3	0.0
	10歳	167	43.7	29.3	8.4	7.2	10.8	0.6
	11歳	176	34.1	31.8	11.9	6.8	14.8	0.6
	12歳	158	41.1	25.9	16.5	7.6	8.9	0.0
	13歳	145	35.9	35.2	12.4	4.1	12.4	0.0
	14歳	151	29.8	40.4	13.2	7.3	8.6	0.7
	15歳	140	34.3	34.3	11.4	7.1	12.9	0.0
	16歳	154	29.2	36.4	16.2	9.1	9.1	0.0
	17歳	159	37.1	25.2	15.1	9.4	13.2	0.0
	18歳	206	29.6	34.5	12.6	9.7	12.1	1.5
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

性別では、大きな差は見られなかった。

年齢別では、10歳の「なっている」が43.7%と最も高く、次いで7歳の「どちらかというとなっていると思う」41.7%、6歳の「どちらかというとなっていると思う」41.5%と続いている。

また、「なっている」と「どちらかというとなっていると思う」を合算すると、すべての年齢で6割を超える割合となった。

## 6. 住んでいる地域の生活のしやすさ



自身の住んでいる地域の生活のしやすさについては、「不便や不満を感じていない」が36.1%と最も高く、次いで「どちらかという不便や不満を感じていない」32.4%、「どちらかという不便や不満を感じている」18.0%の順が続いている。

### 【性別・年齢別】

		調査数	不便や不満を感じていない	どちらかという不便や不満を感じていない	どちらかという不便や不満を感じている	かなり不便や不満を感じている	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	36.1	32.4	18.0	4.6	8.8	0.1
性別	男	889	37.6	31.8	16.6	4.8	9.0	0.1
	女	1059	35.1	32.8	19.1	4.3	8.6	0.1
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	26.3	42.1	15.8	5.3	10.5	0.0
年齢	6歳	65	36.9	23.1	16.9	1.5	21.5	0.0
	7歳	156	36.5	31.4	13.5	2.6	15.4	0.6
	8歳	143	49.7	27.3	12.6	0.0	10.5	0.0
	9歳	145	42.1	40.0	9.0	0.7	8.3	0.0
	10歳	167	49.1	26.9	16.8	1.2	6.0	0.0
	11歳	176	44.9	28.4	14.2	2.8	9.7	0.0
	12歳	158	39.9	34.8	13.9	3.8	7.6	0.0
	13歳	145	31.0	33.1	15.9	9.0	11.0	0.0
	14歳	151	27.2	38.4	16.6	10.6	7.3	0.0
	15歳	140	33.6	33.6	22.1	5.0	5.7	0.0
	16歳	154	26.6	33.1	27.3	5.2	7.8	0.0
	17歳	159	27.7	34.6	27.0	6.9	3.8	0.0
	18歳	206	26.7	33.0	24.8	7.3	7.8	0.5
	無回答	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

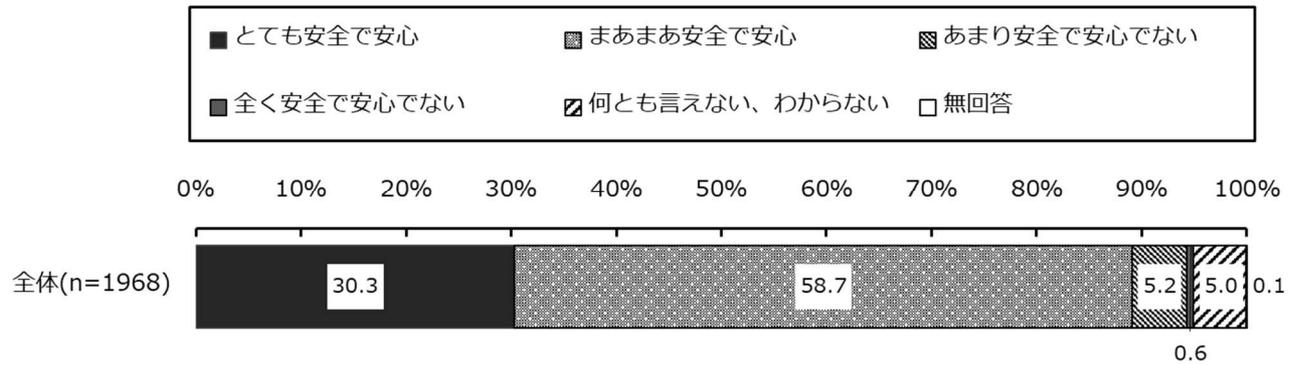
性別では、大きな差は見られなかった。

年齢別では、8歳の「不便や不満を感じていない」が49.7%と最も高く、次いで10歳の「不便や不満を感じていない」49.1%、11歳の「不便や不満を感じていない」の44.9%と続き、上位3つは「不便や不満を感じていない」に集結する結果となった。

「不便や不満を感じていない」と「どちらかというと不便や不満は感じていない」を合算すると、9歳が82.1%と最も高い。一方、18歳の59.7%が最も低くなるが、半数を超える満足度となっている。

「どちらかというと不便や不満を感じている」と「かなり不便や不満を感じている」を合算すると、11歳の17.0%から17歳の34.0%まで増加傾向にある。

## 7. 住んでいる地域が安全・安心とを感じるか



自身の住んでいる地域が安全・安心と感じるかについては、「まあまあ安全で安心」が 58.7%と最も高く、次いで「とても安全で安心」30.3%と続いている。

### 【性別・年齢別】

		調査数	とても安全で安心	まあまあ安全で安心	あまり安全で安心でない	全く安全で安心でない	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	30.3	58.7	5.2	0.6	5.0	0.1
性別	男	889	33.4	55.1	5.6	0.6	5.1	0.2
	女	1059	28.0	61.6	4.9	0.7	4.9	0.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	15.8	73.7	5.3	0.0	5.3	0.0
年齢	6歳	65	21.5	61.5	10.8	1.5	4.6	0.0
	7歳	156	25.6	57.7	9.0	0.6	7.1	0.0
	8歳	143	36.4	48.3	8.4	0.7	6.3	0.0
	9歳	145	29.0	57.9	4.8	0.7	6.9	0.7
	10歳	167	32.9	60.5	3.0	0.6	3.0	0.0
	11歳	176	24.4	65.3	4.5	0.6	5.1	0.0
	12歳	158	28.5	60.8	4.4	0.0	6.3	0.0
	13歳	145	31.0	57.2	4.1	0.0	6.9	0.7
	14歳	151	24.5	61.6	7.9	0.7	5.3	0.0
	15歳	140	40.0	51.4	5.0	0.7	2.9	0.0
	16歳	154	27.9	62.3	4.5	1.3	3.9	0.0
	17歳	159	37.1	58.5	1.9	0.6	1.9	0.0
	18歳	206	31.6	59.2	3.9	0.5	4.9	0.0
	無回答	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

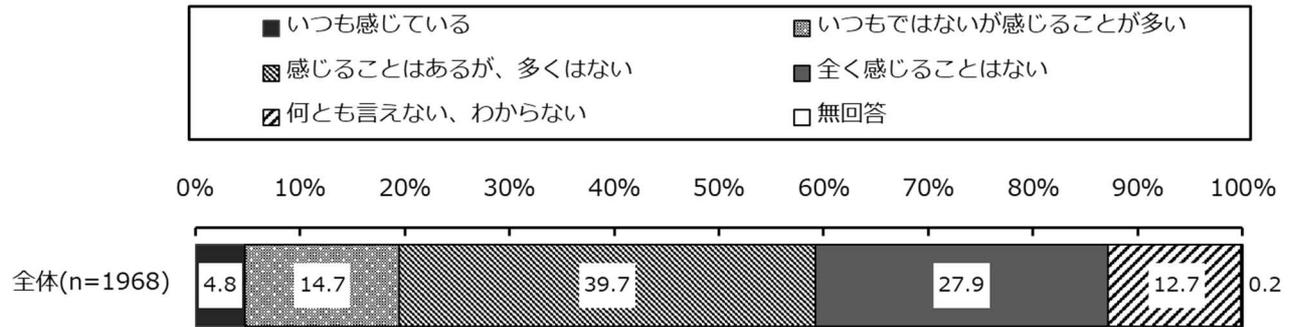
性別では、女性の「まあまあ安全で安心」が 61.6%と最も高く、男性の「まあまあ安全で安心」の 55.1%より 6.5ポイント高かったが、「とても安全で安心」と「まあまあ

安全で安心」、「あまり安全で安心でない」と「全く安全で安心でない」をそれぞれ合算すると、大きな差は見られなかった。

年齢別では、11歳の「まあまあ安全で安心」が65.3%と最も高く、次いで16歳の「まあまあ安全で安心」62.3%、14歳の「まあまあ安全で安心」61.6%、6歳の「まあまあ安全で安心」61.5%と続いている。

「とても安全で安心」と「まあまあ安全で安心」を合算すると、いずれの市町村も割合が8割から9割の満足度である。

## 8. 大人から「考えを押し付けられている」と感じるか



大人から「考えを押し付けられている」と感じるかについては、「感じることはあるが、多くはない」が39.7%と最も高く、次いで「全く感じることはない」の27.9%、「いつもではないが感じるが多い」が14.7%と続いている。

### 【性別・年齢別】

		調査数	いつも感じている	感じることはあるが、多くはない	いつもではないが感じるが多い	全く感じることはない	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	4.8	39.7	14.7	27.9	12.7	0.2
性別	男	889	6.7	39.4	15.7	25.9	12.1	0.1
	女	1059	3.0	40.4	13.6	29.7	13.0	0.2
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	19	10.5	21.1	26.3	26.3	15.8	0.0
年齢	6歳	65	6.2	40.0	15.4	18.5	20.0	0.0
	7歳	156	3.8	39.1	14.1	23.1	19.9	0.0
	8歳	143	4.9	31.5	14.0	32.2	17.5	0.0
	9歳	145	6.2	41.4	9.7	29.7	13.1	0.0
	10歳	167	3.6	35.9	11.4	37.1	12.0	0.0
	11歳	176	4.0	38.1	11.4	32.4	13.6	0.6
	12歳	158	4.4	36.1	17.7	30.4	11.4	0.0
	13歳	145	5.5	37.9	11.0	28.3	16.6	0.7
	14歳	151	5.3	34.4	20.5	26.5	13.2	0.0
	15歳	140	6.4	35.7	15.0	27.9	15.0	0.0
	16歳	154	3.2	47.4	17.5	23.4	8.4	0.0
	17歳	159	3.8	52.2	18.9	19.5	5.7	0.0
	18歳	206	5.8	44.7	15.0	27.7	6.3	0.5
	無回答	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0

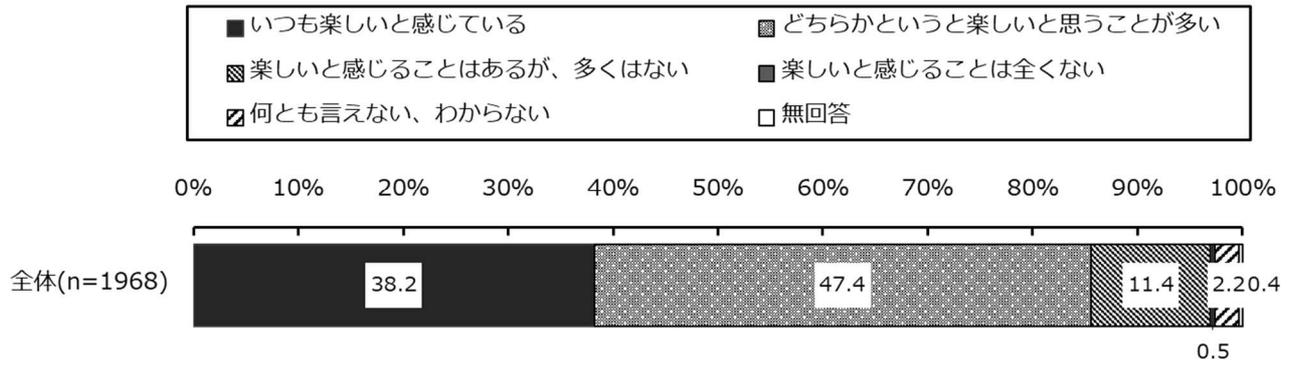
性別では、「全く感じることはない」と「感じることはあるが、多くはない」を合算すると、男性が65.2%、女性が70.2%となり、女性の方が5.0ポイント満足度の高い結果となった。

年齢別では、17歳の「感じることはあるが、多くはない」が52.2%と最も高く、次いで16歳の

「感じることはあるが、多くはない」47.4%、18歳の「感じることはあるが、多くはない」44.7%と続いている。

「全く感じることはない」と「感じることはあるが、多くはない」を合算すると、10歳の73.1%が最も高く、次いで18歳の72.3%、17歳の71.7%と続いている。6歳の58.5%が唯一5割台であるが、ほかの年齢ではいずれも6割から7割台と高い満足度である。

## 9. 日常生活が楽しいと感じているか



日常生活が楽しいと感じているかは、「どちらかというとなんか楽しいと思うことが多い」が47.4%と最も高く、次いで「いつも楽しいと感じている」38.2%、「楽しいと感じることはあるが、多くはない」11.4%と続いている。

### 【性別・年齢別】

		調査数	いつも楽しいと感じている	どちらかというとなんか楽しいと思うことが多い	楽しいと感じることはあるが、多くはない	楽しいと感じることは全くない	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	38.2	47.4	11.4	0.5	2.2	0.4
性別	男	889	38.7	46.1	11.6	0.4	2.6	0.6
	女	1059	38.0	48.3	11.1	0.5	2.0	0.2
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	31.6	52.6	15.8	0.0	0.0	0.0
年齢	6歳	65	46.2	43.1	7.7	0.0	1.5	1.5
	7歳	156	51.3	40.4	5.8	0.0	1.9	0.6
	8歳	143	51.7	39.9	6.3	0.0	1.4	0.7
	9歳	145	47.6	39.3	11.0	0.7	0.7	0.7
	10歳	167	46.1	44.3	7.2	0.0	1.2	1.2
	11歳	176	35.2	55.1	8.5	0.0	1.1	0.0
	12歳	158	41.8	49.4	5.7	0.6	2.5	0.0
	13歳	145	33.8	49.7	13.1	0.7	2.8	0.0
	14歳	151	35.8	41.7	16.6	2.0	4.0	0.0
	15歳	140	36.4	47.1	12.1	1.4	2.9	0.0
	16歳	154	20.8	61.7	14.3	0.6	2.6	0.0
	17歳	159	30.8	50.3	17.0	0.0	1.9	0.0
	18歳	206	28.6	48.1	18.9	0.0	3.9	0.5
	無回答	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

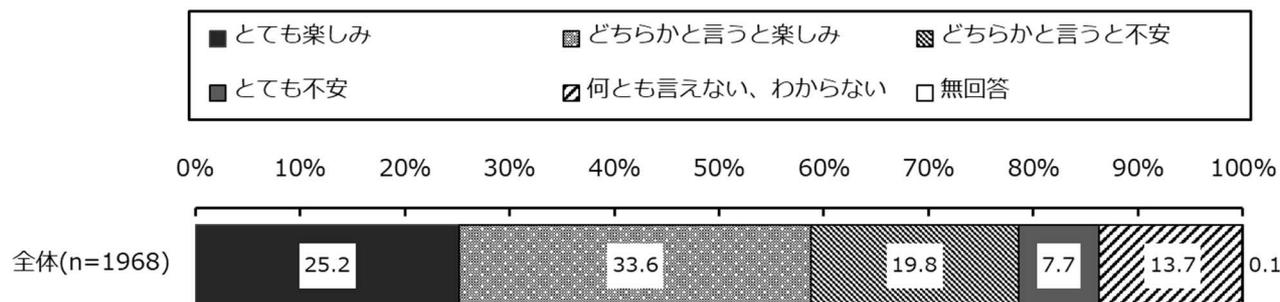
性別では、大きな差は見られなかった。

年齢別では、16歳の「どちらかというとなんか楽しいと思うことが多い」が61.7%と最も高く、次いで11

歳の「どちらかというとも楽しいと思うことが多い」55.1%、8歳の「いつも楽しいと感じている」51.7%、7歳の「いつも楽しいと感じている」51.3%と続いている。

「いつも楽しいと感じている」と「どちらかというとも楽しいと思うことが多い」を合算すると、いずれの年齢でも7割から9割と高い満足度である。

## 10. 大人になることについて



大人になることについては、「どちらかと言うと楽しみ」が33.6%と最も高く、次いで「とても楽しみ」が25.2%、「どちらかと言うと不安」が19.8%と続いている。

### 【性別・年齢別】

		調査数	とても楽しみ	どちらかと言うと楽しみ	どちらかと言うと不安	とても不安	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	25.2	33.6	19.8	7.7	13.7	0.1
性別	男	889	25.4	33.2	19.2	7.5	14.5	0.1
	女	1059	25.0	34.2	20.0	7.8	12.9	0.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	26.3	15.8	31.6	10.5	15.8	0.0
年齢	6歳	65	46.2	26.2	13.8	1.5	12.3	0.0
	7歳	156	38.5	30.1	10.9	4.5	16.0	0.0
	8歳	143	36.4	33.6	13.3	3.5	13.3	0.0
	9歳	145	33.8	32.4	17.9	4.8	11.0	0.0
	10歳	167	25.1	35.3	21.6	5.4	12.6	0.0
	11歳	176	23.9	39.2	19.3	2.8	14.8	0.0
	12歳	158	24.1	38.0	18.4	5.7	13.9	0.0
	13歳	145	17.9	34.5	23.4	7.6	16.6	0.0
	14歳	151	23.2	27.2	18.5	11.9	19.2	0.0
	15歳	140	21.4	35.7	21.4	7.1	14.3	0.0
	16歳	154	14.3	37.0	25.3	13.0	10.4	0.0
	17歳	159	20.1	32.1	22.0	14.5	11.3	0.0
	18歳	206	18.4	31.6	24.3	13.1	12.1	0.5
	無回答	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

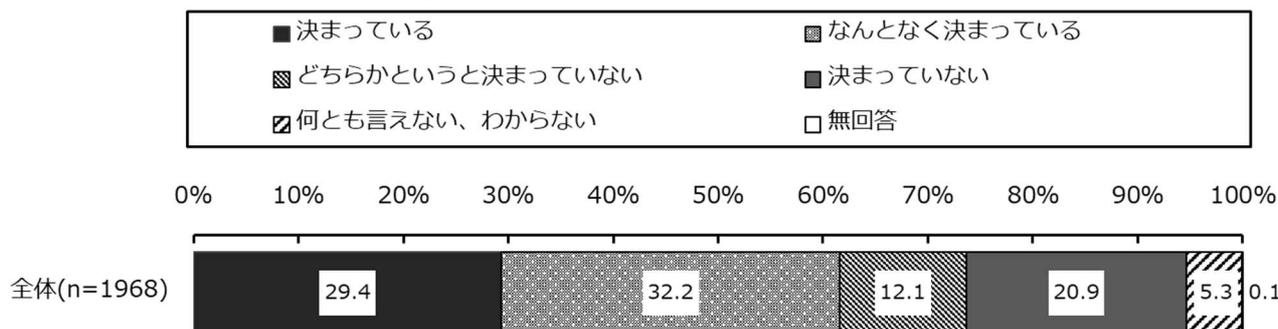
性別では、大きな差は見られなかった。

年齢別では、6歳の「とても楽しみ」が46.2%と最も高く、次いで11歳の「どちらかと言うと楽しみ」39.2%、7歳の「とても楽しみ」38.5%、12歳の「どちらかと言うと楽しみ」38.0%と続いている。

「とても楽しみ」と「どちらかと言うと楽しみ」を合算すると、6歳が72.3%、7歳が68.6%、8歳が69.9%と、若い年齢であるほど大人になることへの期待度が高い。

一方で「どちらかと言うと不安」と「どちらかと言うと不安」を合算すると、16歳の38.3%が最も高く、次いで18歳の37.4%、17歳の36.5%と、成人に近くなるにつれ不安度が高くなる傾向がある。

## 11. 将来のやりたい仕事は決まっているか



将来のやりたい仕事は決まっているかについては、「なんとなく決まっている」が32.2%と最も高く、次いで「決まっている」が29.4%、「決まっていない」が20.9%と続いている。

### 【性別・年齢別】

		調査数	決まっている	なんとなく決まっている	どちらかというが決まっていない	決まっていない	何とも言えない、わからない	無回答
全体		1968	29.4	32.2	12.1	20.9	5.3	0.1
性別	男	889	28.0	29.7	12.8	23.1	6.3	0.1
	女	1059	30.6	34.4	11.2	19.2	4.6	0.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	19	21.1	31.6	26.3	21.1	0.0	0.0
年齢	6歳	65	29.2	27.7	16.9	18.5	7.7	0.0
	7歳	156	44.9	16.0	9.0	22.4	7.7	0.0
	8歳	143	42.0	24.5	11.9	15.4	6.3	0.0
	9歳	145	38.6	26.2	14.5	17.9	2.8	0.0
	10歳	167	29.3	39.5	10.8	12.6	7.8	0.0
	11歳	176	19.9	37.5	8.5	26.7	6.8	0.6
	12歳	158	25.9	36.1	9.5	25.3	3.2	0.0
	13歳	145	16.6	29.7	14.5	31.7	7.6	0.0
	14歳	151	14.6	33.8	12.6	31.8	7.3	0.0
	15歳	140	24.3	31.4	12.1	28.6	3.6	0.0
	16歳	154	19.5	38.3	16.2	20.8	5.2	0.0
	17歳	159	34.0	31.4	15.7	15.7	3.1	0.0
	18歳	206	40.8	39.3	8.7	8.7	2.4	0.0
	無回答	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

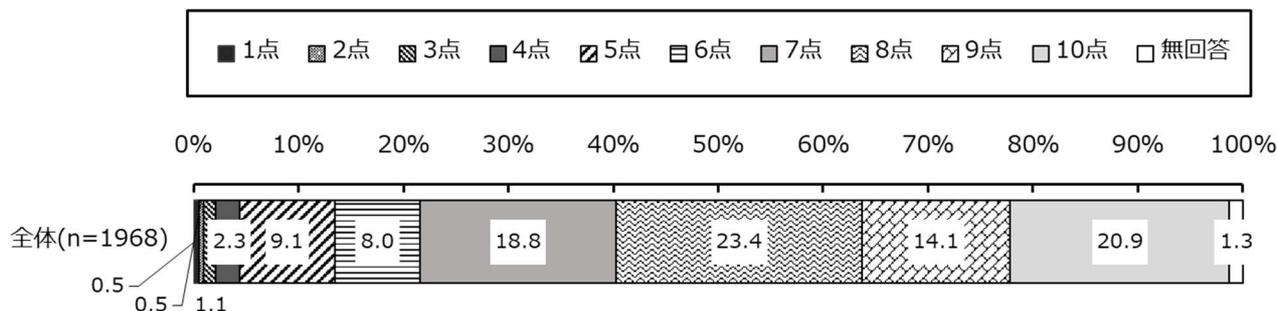
性別では、「決まっている」と「なんとなく決まっている」を合算すると、男性が57.7%、女性が65.0%と、女性の方が7.3ポイント高い結果となった。

年齢別では、7歳の「決まっている」が44.9%と最も高く、次いで8歳の「決まっている」42.0%、

18歳の「決まっている」40.8%と続いている。

「どちらかというが決まっていない」と「決まっていない」を合算すると、10歳の23.4%から13歳の46.2%まで増加していき、次に18歳の17.5%まで下降する山なりを描いている。このことから、13歳をピークに仕事を意識する子どもが増え、成人年齢に向かうにつれ、具体化したり目標を持ったりしていく様子が見えてくる。

## 12. 現在の生活に対する満足度



現在の生活に対する満足度は、「8点」が23.4%と最も高く、次いで「10点」が20.9%、「7点」が18.8%と続いている。また、平均点は7.6点であった。

### 【性別・年齢別】

		調査数	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体		1968	0.5	0.5	1.1	2.3	9.1	8.0	18.8	23.4	14.1	20.9	1.3	7.6
性別	男	889	0.8	0.4	0.8	2.4	10.7	8.0	17.4	23.4	12.0	22.2	1.9	7.5
	女	1059	0.3	0.5	1.4	2.3	8.0	8.0	19.5	23.1	16.1	20.0	0.7	7.7
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	36.8	42.1	0.0	10.5	0.0	7.6
年齢	6歳	65	0.0	0.0	0.0	3.1	7.7	4.6	18.5	23.1	3.1	38.5	1.5	8.0
	7歳	156	0.6	0.0	0.6	0.6	7.7	3.8	9.6	21.2	17.9	36.5	1.3	8.3
	8歳	143	0.0	0.7	0.0	0.7	8.4	4.2	9.1	23.8	14.7	37.8	0.7	8.3
	9歳	145	1.4	0.0	1.4	3.4	9.7	2.8	11.7	25.5	17.9	26.2	0.0	7.9
	10歳	167	0.6	0.0	1.2	1.8	8.4	2.4	14.4	25.1	18.6	27.5	0.0	8.1
	11歳	176	0.0	0.0	0.0	1.1	10.2	6.8	18.2	26.1	20.5	15.3	1.7	7.7
	12歳	158	1.3	1.3	0.6	1.9	6.3	5.7	15.8	26.6	19.6	20.3	0.6	7.8
	13歳	145	0.0	0.0	1.4	2.1	12.4	9.7	19.3	23.4	14.5	15.9	1.4	7.4
	14歳	151	0.0	0.7	1.3	5.3	13.2	9.9	21.9	21.2	11.9	13.2	1.3	7.1
	15歳	140	0.0	0.7	0.0	2.1	7.9	10.7	21.4	29.3	7.1	17.9	2.9	7.4
	16歳	154	0.6	0.0	2.6	2.6	9.1	13.6	27.3	20.8	13.0	9.1	1.3	7.1
	17歳	159	0.6	1.9	2.5	3.8	8.2	12.6	29.6	18.9	7.5	12.6	1.9	6.9
	18歳	206	1.0	0.5	1.9	1.9	8.7	13.6	24.3	20.9	10.7	14.6	1.9	7.2
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	

性別では、大きな差は見られなかった。

年齢別の平均点では7歳と8歳で8.3点、次いで10歳が8.1点と続いた。最も低い平均点でも17歳の6.9点であり、最高平均点との差は1.4ポイント程度であった。

以上



山梨県子ども計画（案）策定に係るアンケート調査について

No	区分	調査項目	回答対象	選択	回答内容
1	回答者属性	この調査にご回答いただく方についてお答えください。		単一	①父親 ②母親 ③それ以外
2	回答者属性	現在お住まいの市町村についてお答えください。		単一	※27市町村
3	回答者属性	現在の市町村にどのくらいお住まいかお答えください。		単一	①1年未満 ②1年以上3年未満 ③3年以上6年未満 ④6年以上
4	回答者属性	ご回答いただいている方の年齢についてお答えください。		単一	①20歳未満 ②20歳以上25歳未満 ③25歳以上30歳未満 ④30歳以上35歳未満 ⑤35歳以上40歳未満 ⑥40歳以上45歳未満 ⑦45歳以上50歳未満 ⑧50歳以上
5	回答者属性	ご回答いただいている方の年間所得額（手取り額）についてお答えください。		単一	①0円 ②1円以上100万円未満 ③100万円以上200万円未満 ④200万円以上300万円未満 ⑤300万円以上400万円未満 ⑥400万円以上500万円未満 ⑦500万円以上600万円未満 ⑧600万円以上700万円未満 ⑨700万円以上800万円未満 ⑩800万円以上900万円未満 ⑪900万円以上1000万円未満 ⑫1000万円以上
6	回答者属性	ご回答いただいている方のお仕事についてお答えください。		単一	①自営（農林漁業） ②自営（商工サービス業） ③従業員50人未満の会社・団体等の正社員 ④従業員50人以上の会社・団体等の正社員 ⑤公務員 ⑥パートタイマー、派遣 ⑦家内労働 ⑧学生、無職、失業中 ⑨その他（ ）
7	回答者属性	ご回答いただいている方の土日祝日のお仕事の状況についてお答えください。	6の⑧、⑨以外選択者	単一	①ほぼない（10%未満） ②あまりない（10%以上40%未満） ③時々ある（40%以上60%未満） ④かなりある（60%以上90%未満） ⑤ほぼある（90%以上）
8	回答者属性	ご回答いただいている方の18時以降のお仕事の状況についてお答えください。	6の⑧、⑨以外選択者	単一	①ほぼない（10%未満） ②あまりない（10%以上40%未満） ③時々ある（40%以上60%未満） ④かなりある（60%以上90%未満） ⑤ほぼある（90%以上）
9	育休について	ご回答いただいている方が、全ての子の出生に当たって取得した育児休業期間の合計についてお答えください。		単一	①なし ②1か月未満 ③1か月以上3か月未満 ④3か月以上6か月未満 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上
10	配偶者情報	この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。		単一	①配偶者はいない ②配偶者がいる（婚後3年未満） ③配偶者がいる（婚後3年以上5年未満） ④配偶者がいる（婚後5年以上7年未満） ⑤配偶者がいる（婚後7年以上10年未満） ⑥配偶者がいる（婚後10年以上）
11	配偶者情報	配偶者の方の年齢についてお答えください。	10の①以外選択者	単一	①20歳未満 ②20歳以上25歳未満 ③25歳以上30歳未満 ④30歳以上35歳未満 ⑤35歳以上40歳未満 ⑥40歳以上45歳未満 ⑦45歳以上50歳未満 ⑧50歳以上
12	配偶者情報	ご配偶者の年間所得額（手取り額）についてお答えください。	10の①以外選択者	単一	①0円 ②1円以上100万円未満 ③100万円以上200万円未満 ④200万円以上300万円未満 ⑤300万円以上400万円未満 ⑥400万円以上500万円未満 ⑦500万円以上600万円未満 ⑧600万円以上700万円未満 ⑨700万円以上800万円未満 ⑩800万円以上900万円未満 ⑪900万円以上1000万円未満 ⑫1000万円以上
13	配偶者情報	ご配偶者が、全ての子の出生に当たって取得した育児休業期間の合計についてお答えください。	10の①以外選択者	単一	①なし ②1か月未満 ③1か月以上3か月未満 ④3か月以上6か月未満 ⑤6か月以上1年未満 ⑥1年以上2年未満 ⑦2年以上3年未満 ⑧3年以上

No	区分	調査項目	回答対象	選択	回答内容
14	配偶者情報	ご配偶者のお仕事についてお答えください。	10の①以外選択者	単一	①自営（農林漁業） ②自営（商工サービス業） ③従業員50人未満の会社・団体等の正社員 ④従業員50人以上の会社・団体等の正社員 ⑤公務員 ⑥パートタイマー、派遣 ⑦家内労働 ⑧学生、無職、失業中 ⑨その他（ ）
15	配偶者情報	ご配偶者の土日祝日のお仕事の状況についてお答えください。	14の⑧、⑨以外選択者	単一	①ほぼない（10%未満） ②あまりない（10%以上40%未満） ③時々ある（40%以上60%未満） ④かなりある（60%以上90%未満） ⑤ほぼある（90%以上）
16	配偶者情報	ご配偶者の18時以降のお仕事の状況についてお答えください。	14の⑧、⑨以外選択者	単一	①ほぼない（10%未満） ②あまりない（10%以上40%未満） ③時々ある（40%以上60%未満） ④かなりある（60%以上90%未満） ⑤ほぼある（90%以上）
17	子どもについて	お子さんの人数についてお答えください。		単一	※1～7人以上
18	子どもについて	すべてのお子さんの年齢についてお答えください。		単一	※空欄を7個用意。7人以上の場合は、7個目に残りを記載してもらう。
19	子どもについて	お子さんのうち双子や三つ子などの多胎児はいらっしゃいますか。		単一	①いる ②いない
20	子どもについて	現在のお子さんの人数は希望の人数以上となっているかお答えください。		単一	①なっている ②なっていない
21	子どもについて	現在のお子さんの人数が希望の人数になっていない理由として、あてはまる理由を全てお選びください。	20の②選択者	全て	①これから妊娠・出産予定のため ②希望しているができないため（不妊のため） ③身体的な負担に不安があるため ④精神的な負担に不安があるため ⑤経済的な負担に不安があるため ⑥年齢的な不安があるため ⑦健康上の理由があるため ⑧仕事上の理由があるため ⑨住宅事情があるため ⑩看護、介護などの家庭事情があるため ⑪配偶者が家事や育児に協力してくれないため ⑫その他（ ）
22	男性育児について	男性の育児休業取得の推進が進められていますが、次のうち考えが近いものについて、全てお選びください。		単一	①とても期待している ②どちらかと言うと期待している ③どちらとも言えない ④どちらかと言うと期待していない ⑤全く期待していない
23	男性育児について	男性の育児休業取得の推進について期待していない理由として該当するものがあれば全てお選びください。	22の④、⑤選択者	全て	①男性に家事・育児に対するやる気がないため ②男性に家事・育児の知識・技術がないため ③男性の職場の制度的に実現が難しいため ④男性の職場の人員的に実現が難しいため ⑤男性の職場の雰囲気に実現が難しいため ⑥収入的に生活が厳しくなるため ⑦その他（ ）
24	子育て状況	ご家庭における育児の分担状況についてお答えください。		単一	①専ら（80%以上）自分がやる ②主に（60%以上80%未満）自分がやる ③自分と配偶者で半々（40%以上60%未満） ④主に（60%以上80%未満）配偶者がやる ⑤専ら（80%以上）配偶者がやる ⑥その他（ ）
25	子育て状況	ご家庭における家事の分担状況についてお答えください。		単一	①専ら（80%以上）自分がやる ②主に（60%以上80%未満）自分がやる ③自分と配偶者で半々（40%以上60%未満） ④主に（60%以上80%未満）配偶者がやる ⑤専ら（80%以上）配偶者がやる ⑥その他（ ）
26	子育て状況	配偶者以外の家族・親族から受ける子育て支援についてお答えください。		単一	①定期的に受けている ②ときどき受けている ③ほとんど受けていない ④全く受けていない
27	子育て状況	どのような子育て支援を受けているか該当するものを全てお選びください。	26の④以外選択者	全て	①子どもの相手、預かり ②子どもの送り迎え ③食料の支援 ④家事の支援 ⑤金銭的な支援（誕生日や進級などのお祝いは含めない） ⑥物質的支援（誕生日や進級などのお祝いは含めない） ⑦その他（ ）
28	生活状況	ご家庭の1か月あたりの食費についてお答えください。（※学校等の給食費分は含めず、食材の購入及び外食で使う金額についてお答えください。）		単一	①0円 ②1円以上1万円未満 ③1万円以上2万円未満 ④2万円以上3万円未満 ⑤3万円以上4万円未満 ⑥4万円以上5万円未満 ⑦5万円以上6万円未満 ⑧6万円以上7万円未満 ⑨7万円以上8万円未満 ⑩8万円以上9万円未満 ⑪9万円以上10万円未満 ⑫10万円以上
29	生活状況	恒常的に看護・介護をする必要がある方が、ご家庭やご親族にいらっしゃるかどうかお答えください。		単一	①いる ②いない
30	主観的評価	お住まいの地域における「子育てのしやすさ」について、10点満点で評価してください。		単一	※0～10点 （0点…全く子育てしやすすくない→10点…とても子育てしやすい）

No	区分	調査項目	回答対象	選択	回答内容
31	主観的評価	「結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援（支援が必要だと思ったときに、使える支援が十分にある状態）」が実現されていると思うか、10点満点で評価してください		単一	※0～10点（0点…全く感じない→10点…とても感じる）
32	主観的評価	「子育てのしやすさ」について考えたときに、お住まいの地域において、足りていないと感じることについて全てお選びください。		全て	①使えるサービス等に関する情報の得やすさ ②子育てについて気軽に相談できる窓口 ③子育てを直接的に手助けしてくれる人的サービス ④発達障害や医療的ケアなど要配慮児童等に対する適切な支援 ⑤買い物や通勤・通学などの普段の生活の利便性 ⑥出産や病気の時に困らないだけの受診・通院先 ⑦公園など、子どもの遊び場 ⑧同世代の子どもを持つ親と交流できる場・機会 ⑨保育所、放課後児童クラブなど子どもの預け先 ⑩子どもが望む習い事ができる場（塾やスポーツクラブなど） ⑪同世代の子ども・若者が交流できる場・機会 ⑫子育てに対する経済的支援 ⑬妊娠するための経済的支援 ⑭出産に対する経済的支援 ⑮住んでいる地域の治安や安全性 ⑯その他（ ）
33	主観的評価	「子ども・子育てについて社会全体から支えられている」と思うか、10点満点で評価してください。		単一	※0～10点（0点…全く感じない→10点…とても感じる）
34	主観的評価	どのようになると「子ども・子育てについて社会全体から支えられている」と感じるようになると思うか、特に必要だと考えるものを3つまでお選びください。		3つ	①行政からの十分な支援が感じられる ②困ったときに、すぐに助けが得られる ③定期的に気にかけてくれる人や存在がいる ④子どもや子育てについて、周りから非難するような視線を感じない ⑤子どもや子育てを理由に、職場で申し訳なさを感じなくて済む ⑥子どもの存在を理由に利用できない施設やサービスがなくなる ⑦子どもの存在を理由に特典が得られる施設やサービスが増える ⑧その他（ ）
35	主観的評価	お住まいの地域は「子どもが十分能力を伸ばせる環境が整っている」と思うか、10点満点で評価してください。		単一	※0～10点（0点…全く感じない→10点…とても感じる）
36	主観的評価	どのようになると、お住まいの地域が「子どもが十分能力を伸ばせる環境が整っている」と思えるようになるか、特に必要だと考えるものを3つまでお選びください。		3つ	①子どもが思いきり遊べる公園や広場が充実する ②子どもが通える塾や習い事が充実する ③保育園や幼稚園、認定こども園などでより良いサービスが行われるようになる ④小学校、中学校でより良い教育が行われるようになる ⑤県内の高校でより良い教育が行われるようになる ⑥県内により多くの進学の選択肢が用意される ⑦要配慮児童などについて、それぞれに合わせた支援がされるようになる ⑧地域において子どもが参加できるイベントなどの機会が増える ⑨その他（ ）
37	主観的評価	子育ての中で感じる楽しさについて、10点満点で評価してください。		単一	※0～10点（0点…全く楽しさは感じない→10点…楽しさしか感じない）
38	主観的評価	子育ての中で感じる負担、辛さについて、10点満点で評価してください。		単一	※0～10点（0点…全く負担、辛さは感じない→10点…負担、辛さしか感じない）
39	主観的評価	子育ての中で感じる負担、辛さの理由として、特に大きなものを3つまでお選びください。		3つ	①子育てで出費がかさみ、生活費が足りないことがある ②子育てで出費がかさみ、自分のやりたいことをする余裕がない ③自分の自由な時間がとれない ④仕事が多忙でできない ⑤子どもの看護などを理由に急なスケジュール変更が発生する ⑥子どもの生活上の世話をする必要がある ⑦子どもの学業に対する面倒をみる必要がある ⑧子どもの社会生活への適応（不登校や友達づきあいなど）に気を配る必要がある ⑨子育てに関して配偶者の協力が少ない ⑩配偶者と子育てに関して意見が合わない ⑪自分の子育てに対する、まわりの見方や評価 ⑫配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいない ⑬子育てに対する自分の負担や辛さを理解してもらえない ⑭子どもの他に面倒をみなければならない人がいる ⑮子どもにマルトリートメント（不適切な養育）をしてしてしまう ⑯その他（ ）
40	待機児童ゼロ	希望した時期から保育園等を利用できたかお答えください。（第1子の時の状況についてお答えください）		単一	①希望した時期から利用できた（4月からの利用開始） ②希望した時期から利用できた（4月以外からの利用開始） ③希望した時期からは利用できなかった ④保育園等の利用を希望していない ⑤その他（ ）
41	待機児童ゼロ	利用した保育園等の希望状況と満足度について該当するものをお選びください。	40の①、②選択者	単一	①第1希望に入所できた ②第1希望以外の入所だったが不満はない ③第1希望以外の入所だったため不満があった ④その他（ ）
42	待機児童ゼロ	第1希望以外への入所について、どのような部分に不満を感じましたか、該当するものについて全てお選びください。	41の③選択者	全て	①第1希望より送迎に不便 ②第1希望より受け入れ時間が短い ③第1希望より保育の内容が劣る ④第1希望より保育に係る経費が高い ⑤その他（ ）
43	レスパイト	夜間勤務やレスパイト（子育てから一時的に離れて休息を取る）のため、夜間も預かってくれる保育サービスがあれば利用したいと思うか、お答えください。		単一	①ぜひ利用したい ②利用したいが実際に利用するかわからない ③利用したいと思わない ④その他（ ）
44	レスパイト	夜間も預かってくれる保育サービスについて、利用するとしたら、お子さまがどのくらいの年齢までサービスを利用したいと思うか、お答えください。	43の①、②選択者	単一	※0～12歳以上

No	区分	調査項目	回答対象	選択	回答内容
45	レスパイト	夜間も預かってくれる保育サービスについて、「利用したいと思わない」または「利用したいが実施に利用するかわからない」と回答した理由として該当するものをお選びください。	43の②、③選択者	全て	①必要と思わないため ②利用料金によっては利用ができないため ③周りからどう見られるか心配なため ④利用が必要な状況になるかわからないため ⑤その他( )
46	レスパイト	ベビーシッターや家事代行などのサービスについて、利用したい、もしくは利用したかったと思うかお答えください。		単一	①ぜひ利用したい(したかった) ②利用したい(したかった)が実際に利用するかわからない ③利用したいと思わない ④その他( )
47	レスパイト	ベビーシッターや家事代行などのサービスについて、利用するとしたら、お子さまがどのくらいの年齢までサービスを利用したいと思うか、お答えください。	46の①、②選択者	単一	※0～12歳以上
48	レスパイト	ベビーシッターや家事代行などのサービスについて、「利用したいと思わない」または「利用したいが実施に利用するかわからない」と回答した理由として該当するものをお選びください。	46の②、③選択者	全て	①必要と思わないため ②利用料金によっては利用ができないため ③サービス提供者に不安を感じるため ④家に人を入れることに抵抗があるため ⑤周りからどう見られるか心配なため ⑥利用が必要な状況になるかわからないため ⑦その他( )
49	孤立防止	現在、子育てについて気軽に相談できる相手がいるかお答えください。		単一	①いる ②いない ③その他( )
50	孤立防止	子育てについて気軽に相談できる相手として該当する選択肢について全てお選びください。	49の①選択者	全て	①配偶者 ②親 ③友人 ④保育園・幼稚園の先生 ⑤学校の先生 ⑥親族 ⑦職場の人 ⑧医療機関の人 ⑨市町村保健師 ⑩子育て支援センター等の人 ⑪近所の人 ⑫その他( )
51	体験格差	これまで子どもに体験をさせてきたものとして、該当するものをお選びください。		全て	①定期的なスポーツ、運動系の習い事 ②定期的な文化的な習い事(音楽、演芸、語学、習字、プログラミングなど) ③定期的な学習活動(塾、通信教育、そろばんなど) ④単発で行う自然体験活動(キャンプ、登山、海水浴など) ⑤単発で行う社会体験活動(ボランティア、職業体験など) ⑥単発で行う文化体験活動(旅行、観劇、地域のお祭りなど) ⑦その他( )
52	体験格差	子どもに体験させたいと思うが、実現が難しいと思っていることがありますか。		単一	①ある ②ない
53	体験格差	子どもに体験させたいと思うが、実現が難しいと思っていることとして、該当するものをお選びください。	52の①選択者	全て	①定期的なスポーツ、運動系の習い事 ②定期的な文化的な習い事(音楽、演芸、語学、プログラミングなど) ③定期的な学習活動(塾、通信教育、そろばんなど) ④単発で行う自然体験活動(キャンプ、登山、海水浴など) ⑤単発で行う社会体験活動(ボランティア、職業体験など) ⑥単発で行う文化体験活動(旅行、観劇、地域のお祭りなど) ⑦その他( )
54	体験格差	子どもに体験させたいと思うが、実現が難しいと思っている理由として、最も大きい理由に該当することをお選びください。	52の①選択者	単一	①経済的理由 ②こどもの時間的理由 ③親の時間的理由 ④近くにそうした環境がない ⑤その他( )
55	体験格差	希望する(理想の)子どもの最終学歴についてお答えください。		単一	①中学 ②高校 ③短大、専門学校、高等専門学校 ④大学 ⑤大学院
56	体験格差	子どもの希望(理想)最終学歴を実現するにあたって課題と感じていることがあるかお答えください。		単一	①ある ②ない
57	体験格差	子どもの希望(理想)最終学歴を実現するにあたって課題と感じていることとして該当するものをお選びください。	56の①選択者	全て	①受験もしくは入学資金 ②学費 ③就学中の生活費 ④入学するための学力 ⑤その他( )
58	施策認知度	次のうち知っている公的支援制度があれば、全てお選びください。		全て	①就学援助制度 ②高等学校等奨学金給付金 ③高等学校等入学準備サポート ④生活保護 ⑤生活福祉資金貸付金 ⑥母子父子寡婦福祉資金貸付金 ⑦スクールソーシャルワーカー活用事業 ⑧放課後子ども教室 ⑨放課後児童クラブ ⑩地域子育て支援拠点 ⑪一時預かり ⑫ファミリーサポートセンター ⑬産前産後ケアセンター ⑭ひとり親家庭等日常生活支援事業 ⑮ひとり親家庭医療費助成事業 ⑯母子父子家庭自立支援給付金 ⑰ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ⑱母子家庭等就業・自立支援センター事業 ⑲チャレンジマガジン就職支援事業 ⑳自立支援員によるひとり親家庭等の相談 ㉑自立相談支援事業 ㉒その他( )

No	区分	調査項目	回答対象	選択	回答内容
59	施策利用実績	次のうち使ったことのある公的支援制度があれば全てお選びください。		全て	①就学援助制度 ②高等学校等奨学給付金 ③高等学校等入学準備サポート ④生活保護 ⑤生活福祉資金貸付金 ⑥母子父子寡婦福祉資金貸付金 ⑦スクールソーシャルワーカー活用事業 ⑧放課後子ども教室 ⑨放課後児童クラブ ⑩地域子育て支援拠点 ⑪一時預かり ⑫ファミリーサポートセンター ⑬産前産後ケアセンター ⑭ひとり親家庭等日常生活支援事業 ⑮ひとり親家庭医療費助成事業 ⑯母子父子家庭自立支援給付金 ⑰ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ⑱母子家庭等就業・自立支援センター事業 ⑲チャレンジマザー就職支援事業 ⑳自立支援員によるひとり親家庭等の相談 ㉑自立相談支援事業 ㉒その他( )
60	施策満足度	使用したことのある公的支援制度に関する満足度として、該当するものをお選びください。	59で1つでも選択した者	単一	①全てのサービスに満足した ②不満を感じたサービスがある ③全てのサービスに不満を感じた ④その他( )
61	施策満足度	次のうち不満を感じたサービスについて全てお選びください。	60で②、③選択者	全て	①就学援助制度 ②高等学校等奨学給付金 ③高等学校等入学準備サポート ④生活保護 ⑤生活福祉資金貸付金 ⑥母子父子寡婦福祉資金貸付金 ⑦スクールソーシャルワーカー活用事業 ⑧放課後子ども教室 ⑨放課後児童クラブ ⑩地域子育て支援拠点 ⑪一時預かり ⑫ファミリーサポートセンター ⑬産前産後ケアセンター ⑭ひとり親家庭等日常生活支援事業 ⑮ひとり親家庭医療費助成事業 ⑯母子父子家庭自立支援給付金 ⑰ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ⑱母子家庭等就業・自立支援センター事業 ⑲チャレンジマザー就職支援事業 ⑳自立支援員によるひとり親家庭等の相談 ㉑自立相談支援事業 ㉒その他( )
62	その他	自由記述		記述	記述式

### 山梨県子ども計画（案）策定に係るアンケート調査について

※通知があったお子さんが、小学校1年生以上の場合に回答をお願いします。

※お手数ですが、お子さんからご回答いただけるよう御協力をお願いします。

No	区分	調査項目	回答対象	選択	回答内容
1	回答者属性	あなたの年齢をお答えください。		単一	※6～18歳
2	回答者属性	現在住んでいる市町村をお答えください。		単一	※27市町村
3	回答者属性	あなたの性別についてお答えください。		単一	①男 ②女 ③その他（ ）
4	回答者属性	あなたと一緒に住んでいるご家族を全て選んでください。		全て	①お父さん ②お母さん ③おじいさん ④おばあさん ⑤兄弟姉妹 ⑥その他（ ）
5	回答者属性	あなた以外の兄弟姉妹の人数をお答えください。	4で⑤を選択	単一	①1人 ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人以上
6	主観的評価	あなたの普段の健康状態について、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①よい ②どちらかというといよい ③普通 ④どちらかといえばよくない ⑤よくない
7	主観的評価	あなたの現在の暮らし向き（衣食住、レジャーなどの物質的な生活基準）は、他の人たちと比べて、次のどれに当たると思われますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①よい ②どちらかというといよい ③普通 ④どちらかといえばよくない ⑤よくない
8	主観的評価	あなたが住んでいる地域は、あなたのやりたいこと（勉強、習い事、体験など）が十分に実現できる環境になっていると思えますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①なっている ②どちらかというとなっていると思う ③どちらかと言うとなっていない ④なっていない ⑤何とも言えない、わからない
9	主観的評価	あなたは住んでいる地域の生活のしやすさについて、どのように感じていますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①不便や不満を感じていない ②どちらかというとい不便や不満を感じていない ③どちらかというとい不便や不満を感じている ④かなり不便や不満を感じている ⑤何とも言えない、わからない
10	主観的評価	あなたは住んでいる地域について、どのくらい安全で安心して暮らせると感じていますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①とても安全で安心 ②まあまあ安全で安心 ③あまり安全で安心でない ④全く安全で安心でない ⑤何とも言えない、わからない
11	主観的評価	あなたは普段の生活の中で、大人から「考えを押し付けられている」と感じるものがどれくらいありますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①いつも感じている ②いつもではないが感じることが多い ③感じることはあるが、多くはない ④全く感じることはない ⑤何とも言えない、わからない
12	主観的評価	あなたは普段の生活の中で楽しいと感じることがどれくらいありますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①いつも楽しいと感じている ②どちらかというとい楽しいと思うことが多い ③楽しいと感じることはあるが、多くはない ④楽しいと感じることは全くない ⑤何とも言えない、わからない
13	主観的評価	あなたは大人になることについてどのように思っていますか、次の中からあてはまるものをお選びください。		単一	①とても楽しみ ②どちらかというとい楽しみ ③どちらかというとい不安 ④とても不安 ⑤なんとも言えない、わからない
14	主観的評価	あなたは将来のやりたい仕事が決まっていますか		単一	①決まっている ②なんとなく決まっている ③どちらかというとい決まっていない ④決まっていない ⑤なんとも言えない、わからない
15	主観的評価	現在の生活に対するあなたの満足度について10点満点で点数をつけてください。		単一	※0～10点 (0点…全く満足していない→10点…とても満足している)
16	その他	自由記述		記述	記述式